

はじめに

平成17年10月15日に開館した山梨県立博物館もおかげをもちまして平成22年度で開館5周年度目という節目の年を迎えることができました。これもひとえに県内外の大勢の皆様の御協力のおかげと厚くお礼申し上げます。

さて、昨年度を振り返ってみますと、平成23年3月に発生した東日本大震災は私達に対し、「自然と人のかかわり」はどのようにあるべきか、その価値観について根底から問い直しを迫る出来事でした。当館では「山梨の自然と人」を基本テーマに様々な事業活動を実施してきましたが、あらためてその重要性について再認識させられたところです。

また、大震災からの復興にあたって重要なのは、その地域が大切にしてきた精神的な拠り所です。そうした中、地域の歴史・文化を保存・継承する博物館の果たすべき役割はこれまで以上に重要なものとなるでしょう。地域の問題について学術的視点から調査研究を行い、その成果を広く一般に情報発信し、地域再生のための原動力となり得る施設は博物館において他にありません。

地域の中の博物館として歩むべき方向性とは何かということを絶えず問いかけながら、当館の運営を行ってまいりたいと考えております。

具体的に昨年度の活動を振り返りますと、開館5周年度を記念しまして、当館を特色づける様々な事業を実施しました。展示では「甲斐源氏一列島を駆ける武士団―」展や「チンギス・ハーンとモンゴルの至宝」展を実施することで、山梨と全国、或いはアジア全域に視野を広げることの意義について情報発信をしました。

新たな試みとして「やまなし研究ひろば」という県民参画型の展示会を開催したことも昨年度の成果です。こうした事業を今後も継続的に実施することで「交流のセンターを目指す」という当館の使命実現を図ってまいります。

さらに、開館5周年度記念の一環として、当館が立地する笛吹市と協定を締結し、博学連携・生涯学習・観光・文化等の諸側面において連携を図ることとしました。社会に開かれた博物館を実現するためには、地域の皆様と深く協力関係を築くことはますます重要となるでしょう。

『平成22年度山梨県立博物館年報』では博物館運営の大きな区切りともいべき年の事業活動成果をとりまとめました。開館してから平成22年度までの当館運営に対する評価をまとめた『山梨県立博物館総合評価報告書』も別途、公刊します。今後もより良い博物館運営を進めてまいりますので、引き続き皆様の御協力をお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 平川 南

目次

はじめに

第Ⅰ編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度 …… 1

- (1) 県立博物館の使命 …… 1
- (2) 県立博物館の評価制度 …… 1

第2章 通信簿ツアーの実施 …… 2

- (1) 通信簿ツアーの内容 …… 2
- (2) 通信簿ツアーの結果 …… 4

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス …… 13

- (1) 運営・ミュージアムサービスの方針 …… 13
- (2) 平成22年度利用者状況一覧 …… 13

第2章 調査・研究 …… 17

- (1) 外部資金による調査研究 …… 17
- (2) 県費による調査研究 …… 18
- (3) 個別調査・研究 …… 20
- (4) 調査・研究成果の公表 …… 21
- (5) 大韓民国 国立清州博物館との
学術交流協定について …… 23
- (6) 富士山世界文化遺産学術調査・研究への協力 …… 24

第3章 資料の収集・保管・活用 …… 25

- (1) 資料収集の方針 …… 25
- (2) 資料の収集 …… 25
- (3) 資料の整理・目録（データ）化 …… 26
- (4) 資料の修復・管理 …… 27
- (5) 資料の活用 …… 28

第4章 展示 …… 29

- (1) 常設展示 …… 29
- (2) 企画展・シンボル展等 …… 37
- (3) 展覧会関係刊行物 …… 53

第5章 企画交流事業 …… 54

- (1) 生涯学習サービス事業 …… 54
- (2) 博学連携事業 …… 56
- (3) 博物館同士のネットワーク …… 60
- (4) 広報 …… 60

第6章 施設の整備・管理 …… 61

- (1) 安全快適な施設づくり …… 61
- (2) 施設開放 …… 61

第7章 情報の発信と公開 …… 62

- (1) 資料閲覧室の利用状況 …… 62
- (2) 博物館総合情報システム …… 63
- (3) 博物館ホームページ …… 64

第8章 県民参画 …… 65

- (1) NPOとの連携 …… 65
- (2) 博物館協力会（ボランティア）との連携 …… 66

第9章 組織・人員 …… 67

- (1) 職員の資質向上 …… 67
- (2) 第三者委員会 …… 67

第10章 外部支援と連携 …… 70

- (1) 外部支援 …… 70
- (2) 外部との連携 …… 70

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿 …… 71

2 平成22年度予算額 …… 73

3 年間日誌 …… 73

4 外国人の利用実績 …… 73

凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については平成17年度年報を参照。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、断りなき限り、全て平成22年度におけるものである。
- ・断りなき限り、各種名簿の順序は順不同である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て当山梨県立博物館館のことを指す。

第 I 編 山梨県立博物館の目指すところ

第 1 章 県立博物館の評価制度

(1) 県立博物館の使命

使命 1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わりを学ぶこと」は、現在はもとより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

使命 2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館では、県内各地の様々な文化施設・史跡・自然はもとより、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

(2) 県立博物館の評価制度

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなで作る博物館協議会」（以下「みんなつく」、第 II 編第 9 章参照）において、県立博物館の評価制度について検討が加えられた。このみんなつくでの検討結果については、平成19年9月19日（水）に開催された第 8 回山梨県立博物館運営委員会（以下「運営委員会」、第 II 編第 9 章参照）に付議をして了承を得、平成19年10月10日（水）に館長決裁を行い、正式に県立博物館の評価制度として決定した。

県立博物館の評価制度は、上に掲げた県立博物館の二つの使命を実現させるために制定されたものである。評価制度の全体像と詳細については平成19・20年度年報に掲載されているので、御参照いただきたい。

第2章 通信簿ツアーの実施

(1) 通信簿ツアーの内容

■平成22年度における通信簿ツアーの特徴

平成22年8月8日(日)及び同18日(水)に、県民参画事業(第II編第8章参照)の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する(県立博物館の「通信簿」を付ける)という利用者参加型の評価方法である(本事業の概要は平成18年度県立博物館年報第I編第2章参照)。

平成22年度の特徴は次のとおりである。

- ・各事業の満足度を数量的に把握できるよう10点満点による採点式の設問を導入した。
- ・あわせて、これまでとおり記述式の設問も残し、多様な利用者からの声をすい上げる仕組みとした。
- ・当日の参加者数は188名であり、過去最高の参加者数を得た。

■通信簿ツアー評価項目

A 山梨県立博物館(かいじあむ)に到着するまでの、道のりは順調でしたか?

1. 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか?

10点満点中 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 (以下、10点満点方式の設問には「10点満点」とのみ表記)
ご意見

2. 最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですでしょうか? 10点満点 ご意見

3. カーナビをお使いの方、県立博物館がのっていましたか? はい いいえ ご意見

B いよいよ館内に入ります。

1. チケット売り場はすぐにわかりましたか? 受付(総合案内)や案内スタッフの対応はいかがでしたか? 10点満点 ご意見

2. 案内パンフレットは使いやすいですか? 10点満点 ご意見

3. 入場が必要なおとところとそうでないところの区別はすぐわかりましたか? 10点満点 ご意見

4. 途中で館外に出ても当日なら再入場できますが、そのことはすぐわかりましたか? 10点満点 ご意見

5. 館内マップやサイン(案内表示)はわかりやすいですか? 10点満点 ご意見

6. エントランス(入り口)にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか?

気づいたものに○をつけていただけますか? ご意見もあればお聞かせください。(複数回答可)

- ・次回企画展とイベントの案内・県立博物館紹介の新聞スクラップ
- ・エントランス中庭(石舞台)の説明案内
- ・館内の禁止事項の案内

7. 広いエントランスホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら?」という提案があったらお書きください。 ご意見

8. 博物館の入り口の竹林に風鈴(ふうりん)がかけられています。気づきましたか? 10点満点 ご意見

C 館内は快適ですか?

1. 資料保存のために空調を寒くしているのですが、館内の温度については快適ですか? 10点満点 ご意見

2. 暑さ対策、寒さ対策に案はありますか? ご意見

3. 小さな子が楽しめそうなところやサービスはありましたか? 10点満点 ご意見

4. 視聴覚障害者向けサービスは充実していると思いますか? 10点満点 ご意見

5. 外国人に対応したサービスは充分だと思いますか? 10点満点 ご意見

6. 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか? 10点満点 ご意見

7. 館内に自動販売機があります。どこに置かれているか気づきましたか? はい いいえ ご意見

8. 館内のどこでなら、飲み物を飲んで良いか知っていますか? 10点満点 ご意見

D さて、展示室です。(常設展示について)

1. まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真(「山梨の舞台」)。自分のまちが見つかりましたか? はい いいえ ご意見

2. 常設展はどのテーマから見てもいいように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという人のために、「順路1」というような表示があります。うまく順路をたどれましたか? 10点満点 ご意見

3. 展示室内は20分ごとに暗くなり、大きな木製のかべに特別映像が上映されます(おみゆきさんなどの映像)。気づきましたか? 10点満点 ご意見

4. 展示品のタイトルや解説類の文字の大きさはちょうどよかったですか? 10点満点 ご意見

5. 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、気づきましたか？ 10点満点 ご意見
- D 展示は楽しめましたか？ 何かを学ぶことができましたか？
6. 衛星写真「山梨の舞台」の置くにある賑やかな展示場は実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナーです。体験した楽しみ具合は？ 10点満点 ご意見
7. 体験展示のコーナーだけは実は「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？ はい いいえ ご意見
8. 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？ 10点満点 ご意見
9. ところで、常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行っています。常設展のおすすめ資料を紹介したパネルに気づきましたか？ そのできればは？ 10点満点 ご意見
10. 特に興味や関心をもった展示はどれでしたか？ その理由を教えてください。 ご意見
- D 展示は楽しめましたか？ 何かを学ぶことができましたか？（企画展示について）
- 平成22年8月30日まで「近くて懐かしい昭和展」を開催中です。
1. 今回の企画展は面白かったですか？ 具体的にどんなところが？ 感想を聞かせてください。 10点満点 ご意見
2. 昭和展の展示物に関して思い出のエピソードを教えてください。
- E 「資料閲覧室」や「地域インデックス」の充実度は？
- ◎もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ。
1. 資料閲覧室は誰でも自由に使えますが、使ってみた感想は？ 10点満点 ご意見
2. 博物館で収蔵している実物の古文書を見たい方、閲覧手続きの方法はわかりやすいですか？ 10点満点 ご意見
3. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）というサービスがあるということがわかりやすかったですか？ 10点満点 ご意見
4. 今年度から毎月「古文書相談日」が開かれています。その情報はわかりやすかったですか？ 10点満点 ご意見
5. もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？ はい いいえ ご意見
6. 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末（パソコン）を知っていましたか？ 使い勝手はいかがですか？ 10点満点 ご意見
- ◎山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ
7. 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？ 10点満点 ご意見
8. 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたくと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？ 10点満点 ご意見
- F ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？
1. ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫などもありましたか？ 10点満点 ご意見
2. レジの対応はいかがでしょう？ 10点満点 ご意見
3. 買ったもの、買いたいものはありましたか？ 10点満点 ご意見
4. 現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？ ご意見
5. レストランの雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段など、総合してよかったですか？ 10点満点 ご意見
6. レストランのメニューを山梨県立博物館のホームページで紹介していますが、ご存じですか？ 10点満点 ご意見
7. オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。 10点満点 ご意見
8. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、体験した方、満足度は？ 10点満点 ご意見
- G イベントや普及プログラムに興味がありますか？
1. 館で行われているイベントプログラムは参加しやすいですか？ 10点満点 ご意見
2. こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？ ご意見
3. 博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です） はい いいえ ご意見
- H 館で働く人たちと交流できましたか？
1. 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？ 10点満点 ご意見
2. 展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞けましたか？ 10点満点 ご意見
3. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着ています。あなたもなってみてみたいですか？ はい いいえ ご意見
4. 今年から毎週土曜日午前11時から展示交流員が常設展示全体の見どころを紹介する「スルーガイド」、毎週日曜日午前11時から体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」を開催しています。ご存知でしたか？ また、参加方は御感想を。10点満点 ご意見
- I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？

1. 県立博物館のホームページを見たことがありますか？ある方、満足度は？ 10点満点 ご意見
2. 今日、博物館に来る前にどのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）
・ホームページ ・かいじあむ通信「交い」 ・ちらし ・新聞 ・テレビ ・その他（ ）

J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。

1. 館の愛称は、「かいじあむ」。知っていましたか？名前の感想は？ 10点満点 ご意見
2. 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？ 10点満点 ご意見
3. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる年間パスポート（ミュージアム甲斐in券）の存在をご存知でしたか？
はい いいえ
4. 値段は安い、あるいは高いと思いますか？ 10点満点 ご意見
5. これまでの通信簿ツアーの結果を踏まえて、お盆期間中（8月13日～16日）は午後6時まで開館時間を延長しています。ほかにも平成20年4月から次のとおり開館日や開館時間を変更しました。ご存知でしたか？また、開館時間や休館日などの変更希望がありましたら、お書きください。
○開館時間 9時30分から→9時から（30分早く開館しました）
○休館日 原則として毎週月曜日→原則として毎週火曜日
はい いいえ ご意見
6. 以前に来館したことがある方、以前よりよくなっていると思ったところがありますか？評価すると？ 10点満点
ご意見
7. 県内の人・県外の人に関係なく、博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいとどのくらい
思いましたか？ 10点満点 ご意見
8. もう一度、この館に来たいとどのくらい思いましたか？ 10点満点 ご意見

(2) 通信簿ツアーの結果

■通信簿ツアー評価結果抜粋

紙幅の都合上、ここでは評価結果の一部を抜粋という形で掲載することとする。

| 回答番号 | 質問内容・意見 | 評価者No. |
|------|--|--------|
| A | 山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？ | |
| A01 | 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？ | |
| A01 | 事前にインターネットで地図を見てきた。道中に博物館までの道案内があまりなかった。 | 164 |
| A02 | 最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですでしょうか？ | |
| A02 | 学生は100円になる事を教えて欲しかった。バスの本数が少ないのもっと増やしてほしい。 | 21 |
| A02 | 本数が非常に少ない。富士急行バスの場合、石和温泉駅入り口までが遠い。 | 167 |
| A03 | カーナビをお使いの方、県立博物館がのっていましたか？ | |
| A03 | ナビが古いので載っていない。104で電話番号を聞いたら、山梨県立博物館での登録は無いとのことでした。 | 162 |
| B | いよいよ館内に入ります。 | |
| B01 | チケット売り場はすぐにわかりましたか？受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたでしょうか？ | |
| B01 | チケット売り場が右側で目に入りにくいと思います。スタッフは良いです。 | 97 |
| B02 | 案内パンフレットは使いやすいですか？ | |
| B02 | 楽しくて良いと思います。写真の画質が少し気になりました。 | 86 |
| B03 | 入場料が必要なところと、そうでないところの区別はすぐわかりましたか？ | |
| B03 | いまいちわからない。 | 68 |
| B03 | 表示はあるのかな？ | 97 |
| B04 | 途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？ | |
| B04 | どこに書いてありますか？購入するときに教えてください。 | 18 |
| B05 | 館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？ | |
| B05 | 全部はわからない。トイレの表示を大きくしてほしい。（ふりがなをふる） | 37 |
| B06 | エントランス（入り口）にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？ご意見もあればお聞かせください。 | |

| | | |
|-----|--|-----|
| B06 | ○次回企画展とイベントの案内（同回答 71名） | 8 |
| B06 | ○県立博物館紹介のスクラップ（同回答 20名） | 52 |
| B06 | ○エントランス中庭（石舞台）の説明案内（同回答 26名） | 7 |
| B06 | ○館内の禁止事項の案内（同回答 19名） | 19 |
| B07 | 広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用法がよかった」という意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。 | |
| B07 | 体験や参加できるものがあるといい。 | 50 |
| B07 | 無料コンサートなど開かれるといい。 | 54 |
| B07 | 孫、子供が遊べる様な用具を置いておくのはどうか？ | 111 |
| B08 | 博物館の入り口の竹林に、風鈴（ふうりん）がかけられています。気づきましたか？ | |
| B08 | 四季を感じられて良いと思います。季節ごとに考えているなと感じました。がんばってください。 | 8 |
| C | 館内は快適ですか？ | |
| C01 | 資料保存のために空調を寒くしているのですが、館内の温度については快適ですか？ | |
| C01 | 少し寒かったです、OKです。 | 15 |
| C01 | 少し寒い。高齢者には足が寒い。 | 22 |
| C01 | 私は、カーディガンをもってきて着用しました。 | 60 |
| C02 | 暑さ対策、寒さ対策に案はありますか？ | |
| C02 | 資料保存の適温で良いのでは？ | 29 |
| C02 | お年寄り、車椅子の方にヒザかけがあれば。 | 60 |
| C02 | 入口に室内の温度表示をするのは如何でしょうか？ | 148 |
| C03 | 小さな子が楽しめそうなところやサービスはありましたか？ | |
| C03 | テレビや積み木、イベント情報が置いてある机の形なども面白い仕組みだと思いました。 | 86 |
| C04 | 視聴覚障害者向けサービスは充実していると思いますか？ | |
| C04 | 聴力障害者と来ましたが、チケット購入の時に話が伝わってませんでした。 | 18 |
| C04 | まだ不十分だと思う。 | 169 |
| C05 | 外国人に対応したサービスは充分だと思いますか？ | |
| C05 | 英和、中国、ハングルくらいは必要な。 | 41 |
| C05 | 英語表記少ない。 | 109 |
| C06 | 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？ | |
| C06 | 椅子が所々にあってすぐに休憩できていい。 | 19 |
| C06 | 展示場内にももう少しあるといい。 | 50 |
| C07 | 館内に自動販売機があります。どこに置かれているか気づきましたか？ | |
| C07 | わかりづらい。 | 30 |
| C07 | 言われないと気づきませんでした。 | 86 |
| C08 | 館内のどこでなら、飲み物を飲んで良いか知っていますか？ | |
| C08 | どこならいいのか、エリア書いといて。 | 158 |
| C08 | 展示室以外で、と思っているので特に気にしなかった。 | 159 |
| C08 | 初めての人にはわかりにくいかもしれません。もっと表示を大きくしたほうが良い。 | 162 |
| D | さて、展示室です。（常設展示） | |
| D01 | まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。自分のまちが見つかりましたか？ | |
| D01 | 主な駅の場所や市の名前があるとわかりやすいと思う。 | 19 |
| D01 | どこがどの場所なのかを数ヶ所でもいいのでわかりやすいようにしておけば盛り上がりそうだ。 | 21 |

| | | |
|-----|--|-----|
| D02 | 常設展はどのテーマから見てもいいように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという人のために、「順路1」というような表示があります。うまく順路をたどれましたか？ | |
| D02 | 周りを見れば順路の立て札があるのでわかる。 | 19 |
| D02 | 見る順番があった方がいいし、見やすいと思います。 | 138 |
| D03 | 展示室内は20分ごとに暗くなり、大きな木製のかべに特別映像が上映されます（おみゆきさんなどの映像）。気づきましたか？ | |
| D03 | 言われないと気づかない。 | 23 |
| D03 | 私以外にも見入っている来館者の方がおられました。 | 167 |
| D04 | 展示品のタイトルや解説類の文字の大きさはちょうどよかったですか？ | |
| D04 | もう少し大きい方が良い。 | 138 |
| D04 | 館内が暗いのもっと大きく。 | 162 |
| D05 | 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、気づきましたか？ | |
| D05 | 引き出しは、少しわかりづらい所にもある。特に「山に生きる」の所、ジオラマにだけ目がいってしまう。タッチパネルは触れればいろんな情報がわかる。床下も展示の一部となっていて、たまに視線をずらせばいろんなものが見えてくる。 | 19 |
| D05 | 引き出しの存在に気づかなかった。「引き出しを開けてください」はもっと目立つものにしてほしい。 | 21 |
| D05 | 引き出しを開かせる工夫が欲しい。少し先に引き出すとか？ | 165 |
| D06 | 衛星写真「山梨の舞台」の置くにある賑やかな展示場は実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナーです。体験の仕方は分かりましたか？ | |
| D06 | ゲームやルームランナー、昔の教室など面白かったです。 | 86 |
| D06 | 子供向けが多いと感じた。 | 165 |
| D07 | 体験展示のコーナーだけは実は「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？ | |
| D07 | 歴史衣装などの現場にカメラ係を置いて「撮りましょうか」など声をかけてくれれば、思い出作り感覚で写真を撮りそうだ。誰もいないと気づかない。 | 21 |
| D07 | 入口に撮影制限の看板を立てればよいかと思う。 | 59 |
| D08 | 展示室理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？ | |
| D08 | 常設の展示は、どんなものがあるか事前に知りたい。 | 22 |
| D08 | オヤマの実物大が見てみたい。人形がいっぱい使用して立体感があり、わかりやすい。赤ちゃんをおんぶしたお母さんとか、嫁入りの様子とか、お見合いとか、デートの様子なんかも→この時代のなれそめ。どんな風に結婚したのかetc | 41 |
| D09 | ところで、常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行っていますが、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルに気づきましたか？ | |
| D09 | 気づけなかった。 | 21 |
| D09 | マークが可愛い。 | 23 |
| D09 | すごく良い。毎回楽しみ。 | 50 |
| D10 | 特に興味や関心をもった展示はどれでしたか？その理由を教えてください。 | |
| D10 | 富士山関係資料。伝説で聖徳太子が富士山に登った初めての人だと言われている。このことを今日初めて知った。有名な聖徳太子が山梨にも関係があると思うと、少し山梨に愛着が持てる。 | 19 |
| D10 | 武田家関連の物があればもう少し見たい。 | 138 |
| D10 | 戦国時代のブース、もう少し詳しくてもよかった。 | 152 |
| D10 | 全て見てもらおうと考えすぎている点が気になる。「また来てください」ではだめなのか？ | 165 |
| D | 展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示） （平成22年8月30日まで「近くて懐かしい昭和展」を開催中です。） | |
| D01 | 今回の企画展は面白かったですか？具体的にどんなところが？感想を聞かせてください。 | |
| D01 | つまらない。もう少し雰囲気があっても良いと思う。 | 18 |
| D01 | 自分が生れてなくても懐かしく感じられ、当時の様子がその頃の自分に自分がいたように感じた。 | 53 |

| | | |
|-----|---|-----|
| D01 | ビックリするほど、期待したほどではありませんでした。動きが少なかつたように思えます。写真の展示方法に変化が少なく、ストーリー性をもっとたせて欲しかった。 | 60 |
| D01 | タイムスリップした様で楽しく興味深かったのだが、何のためにどのように使用したかわからない道具があったので、説明書きをしてくれると良いと思った。 | 148 |
| D01 | 壁に貼られたレトロなチラシ、雰囲気のある照明、実際に入る事ができるセットが面白かったです。写真もたくさんあって迫力がありました。「昭和の子どもたち」の写真には思わず涙ぐんでしまいました。 | 167 |
| D02 | 昭和展の展示物に関して思い出のエピソードを教えてください。 | |
| D02 | レールに耳をあてる子供達の写真を見て、お婆ちゃんが「ああ、こわかったよ」って言ってました。展示を見ている人達も「なつかしい」「これあった」「やった」など懐かしがっていたので、よかったと思う！ | 17 |
| D02 | 50代、ちょうど子供の頃のことなのでとても懐かしく思い出されました。ゆっくり流れる時代。成長しようと忙しくする時代。もう一度母と来ます。 | 97 |
| D02 | 亡父が話していたボロ電を（写真で）初めて見ました。父を思い出しました。 | 128 |
| E | 「資料閲覧室」や「地域インデックス」の充実度は？ ◎もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ。 | |
| E01 | 資料閲覧室は誰でも自由に使えますが、使ってみた感想は？ | |
| E01 | キレイで静かで外の景色も見えて良かったです。 | 86 |
| E01 | 対応が丁寧。ありがたい。 | 127 |
| E01 | 武田氏に関する資料が少ない。 | 162 |
| E02 | 博物館で収蔵している実物の古文書を見たい方、閲覧手続きの方法はわかりやすいですか？ | |
| E02 | すぐにわかるという感じではないが、わかった。 | 50 |
| E03 | 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）というサービスがあるということがわかりやすかったですか？ | |
| E03 | もう少し大きく書いてもいいのでは。 | 23 |
| E06 | 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末（パソコン）を知っていましたか？ | |
| E06 | もっと多くの資料をデジタル化してほしい。 | 23 |
| E06 | 司書の方に教えていただきました。拡大も出来てよく閲覧できました。 | 167 |
| E07 | 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？ ◎山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ | |
| E07 | 情報がたくさんあって、山梨の新たな魅力がみつけられる。 | 19 |
| E07 | 不足している。雑誌の方が詳しく載っている。 | 98 |
| E08 | 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたくと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？ | |
| E08 | とても詳しい。 | 19 |
| E08 | NPO法人のガイドと一緒にやるのはどうだろうか。 | 164 |
| F | ショップやレストラン、お庭散策も楽しめましたか？ | |
| F01 | ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫などもありましたか？ | |
| F01 | 企画展のショップの会計の位置が気になりました。（図でミュージアムショップの桔梗屋様のブースに矢印）ここに会計があるので、レストランにいくお客さんなど、後ろの通路を通る人にお金が丸見えでした。 | 86 |
| F01 | 何が目玉かわからなかった。 | 98 |
| F03 | 買ったもの、買いたいものはありましたか？ | |
| F03 | まちミューのパンフレットを買った。 | 23 |
| F03 | 展示に関連した書籍の紹介がありがたい。 | 127 |
| F04 | 現在、県立博物館オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？ | |
| F04 | 橋無鑑のグッズをたくさん作ってくれると（大人向け、小人向け）より、よろこばれると思います。絵はがきがあればよい。立派な作品で、もっと多くの人に知られるように。 | 5 |
| F04 | 昨年、京都国立博物館でやっていたハズブルグ展のグッズがすごく良かった。常設のグッズもすごく良い。ハンカチやピンバッジなど、もっと手ごろなのがほしい。デザインもかわいいものがよい。 | 23 |
| F05 | レストランの雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段など、総合してよかったですか？ | |

| | | |
|-----|---|-----|
| F05 | 美味しいけど、もう少し安い方がうれしい。 | 37 |
| F05 | 展覧会にあわせたメニューは楽しい。 | 50 |
| F05 | メニュー少ない。 | 98 |
| F05 | 地産の様子が見えました。サービス、対応が丁寧。 | 127 |
| F06 | レストランのメニューを山梨県立博物館のホームページで紹介していますが、ご存じですか？ | |
| F06 | 子供の食べる量を考えた食事が必要。 | 22 |
| F06 | 価格が少し高い。量が少ない。 | 165 |
| F07 | オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。 | |
| F07 | 自然の中で、四季により景色が違うのでとても心地よいです。 | 37 |
| F07 | 季節のいいときにまた来たい。外に屋台があればなお楽しい。 | 50 |
| F07 | 知らない。 | 111 |
| F08 | 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？ | |
| F08 | そのような企画がなくても楽しめるような庭にしてほしい。殺風景。 | 23 |
| F08 | 体験していないが楽しそう。できれば参加してみたい。 | 50 |
| F08 | 今一つ魅力が無い。山梨県に関する植物の説明があったり、イベントやツアーを積極的にやると良いのではないか。 | 164 |
| G | イベントや普及プログラムに興味がありますか？ | |
| G01 | 館で行われているイベントプログラムは参加しやすいですか？ | |
| G01 | その日、もしくはその日のイベントの情報が入ってすぐにわかると便利。 | 50 |
| G01 | 情報不足、それ目当てには無理がある。 | 165 |
| G02 | こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか | |
| G02 | 日本の漢方医学と薬草等、養生についての資料等。 | 22 |
| G02 | 昔の時代のお菓子作り。昔の人の靴を履いてみたい。(服を着てみたい) | 37 |
| G02 | やはり歴史、郷土の良さをPRするもの。 | 145 |
| G03 | 博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です） | |
| G03 | 戦国時代の歴史を知りたい。 | 20 |
| H | 館で働く人たちと交流できましたか？ | |
| H01 | 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？ | |
| H01 | 説明はGood。ただし、私の知らないことはなかった。→もっと工夫を。 | 24 |
| H01 | 入口からの案内がよかった。 | 50 |
| H01 | あまり説明が良くされない。人が多い割には誘導がない。 | 111 |
| H01 | 親切な雰囲気が感じられました。 | 145 |
| H01 | 常設展内の説明が少ない。 | 165 |
| H02 | 展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞けましたか？ | |
| H02 | 疑問に思ったことがすぐに聞けてよかった。若い人なので話しかけやすかった。 | 50 |
| H02 | 自ら説明してくれ、質問もいろいろ応えてくださった。 | 159 |
| H02 | 挨拶があったのがよかった。 | 168 |
| H03 | 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のスタジャンを着ています。あなたもなってみてみたいですか？ | |
| H03 | ボランティアのスタッフがわからなかった。 | 20 |
| H03 | 交流員と何が違うのですか。 | 23 |

| | | |
|-----|---|-----|
| H03 | 面白そうです。 | 126 |
| H03 | 時間との兼ね合い。 | 145 |
| H04 | 今年から毎週土曜日午前11時から展示交流員が常設展示全体の見どころを紹介する「スルーガイド」、毎週日曜日午前11時から体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」を開催しています。ご存知でしたか？また、参加方は御感想を。 | |
| H04 | 知らなかった。 | 20 |
| H04 | 気がつかなかった。 | 50 |
| H04 | 江戸時代の価値がわかるお買物ごっこは大人、子どもでも楽しんでよかったです。 | 148 |
| I | 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？ | |
| I01 | 県立博物館のホームページを見たことがありますか？ある方、満足度は？ | |
| I01 | 最新の情報が入ってないように思う。館員の生の声が聞けるブログのようなものがあると親近感がわく。 | 50 |
| I01 | 主人が情報を得て、何回か来ています。 | 60 |
| I01 | 可もなく不可もなく、バスの時間がのっていたのはよかったです。 | 86 |
| I02 | 今日、博物館に来る前にどのよう広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可） | |
| I02 | ○ホームページ（同回答 11名） | 49 |
| I02 | ○ちらし（同回答 12名） | 1 |
| I02 | ○新聞（同回答 2名） | 50 |
| I02 | ○テレビ（同回答 33名） | 8 |
| I02 | ○かいじあむ通信[交い]（同回答 3名） | 37 |
| I02 | ○その他（市内でポスター） | 24 |
| I02 | ○その他（学校からのパスポート） | 55 |
| I02 | ○その他（ホテルのパンフレット） | 99 |
| I02 | ○その他（雑誌）→戦国武将の歴史をまわられるマップ雑誌。タイトル忘れしました。 | 136 |
| J | 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。 | |
| J01 | 館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？ | |
| J01 | 親しみもてる名前。 | 45 |
| J01 | ミュージアムとかいじあむを掛けたと思いますが、もっとインパクトがある名前でも良いと思う。 | 138 |
| J01 | 地名（県名）とMuseumの造語。いいのではないのでしょうか。 | 145 |
| J02 | 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？ | |
| J02 | もうちょい安いといいです。県立だし。 | 136 |
| J02 | 常設展のみですが、払った以上のボリュームだと思います。 | 160 |
| J02 | 1000円以下というのは良い。 | 164 |
| J04 | （ミュージアム甲斐in券の）値段は安い、あるいは高いと思いますか？ | |
| J04 | 少し高い。 | 23 |
| J04 | 適当。 | 145 |
| J05 | これまでの通信簿ツアーの結果を踏まえて、お盆期間中（8月13日～17日）は午後6時まで閉館時間を延長しています。ほかにも平成20年4月から次のとおり閉館日や閉館時間を変更しました。ご存知でしたか？また、閉館時間や休館日などの変更希望がありましたら、お書きください。 ○閉館時間 9時30分から→9時から（30分早く閉館しました） ○休館日 原則として毎週月曜日→原則として毎週火曜日 | |
| J05 | 夏の延長はもう少し日数を増やしてもいいかも。外でのイベントもあると（灯を使うなどの）楽しい。 | 50 |
| J06 | 以前に来館したことがある方、以前よりよくなっていると思ったところがありますか？評価すると？ | |
| J06 | 少しずつ変化し、良くなっている。ただ、変化したところを告知しないと気のせいでおわってしまう。 | 23 |
| J06 | スタッフが立っているだけでなく、入り口の方を見て来館者に対応していることが増えた。 | 37 |
| J06 | 以前より関心が出てきました。 | 52 |

| | | |
|-----|--|-----|
| J06 | 以前は賑わっていた。 | 60 |
| J06 | モノや人が増えたイメージ。 | 127 |
| J06 | より積極的に案内や解説をしていると感じました。 | 167 |
| J07 | 県内の人・県外の人に関係なく、博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？ | |
| J07 | 山梨をもっと知るとような工夫が欲しい。 | 89 |
| J07 | 来館した事で、歩いてみたいに直結はしませんでした。 | 145 |
| J07 | オススメのスポットの案内あると良いですね。地図と一緒に。 | 158 |
| J08 | もう一度、この館に来たいですか？ | |
| J08 | 企画に応じて、一步入って体感できるもの。 | 76 |
| J08 | 特にもう一度とは思わなかったが、内容が濃く、凝っていて造りが面白かった。他とは違うと思った。 | 159 |
| J08 | 常設展でも特集で、今は〇〇としてそのガイドがおこなうなど、何回も足を運ぶしかけがあれば良いと思う。 | 165 |
| | その他 | |
| | 質問が多過ぎます。 | 16 |
| | 展示方法の工夫。出来事:A、BとするとA1B1B2A2A3B3B4A4を時間だとする。出来事、例えば‘Ai、Bg’ とすると、AはA1A2A3A4という並べ方ですが、時代でAi、Bgとまとめてみる方法もあります。 | 24 |
| | アンケートにお金をかけ、この様なノートとペンを一人一冊つけるとなるとコストがかかる。他にまわしたらどうでしょう。 | 98 |
| | 一般客に求めるアンケートとしては内容が多すぎ。 | 123 |

※1 「評価者No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものであることを示す。
 ※2 記述式の回答が得られなかった設問については、設問項目そのものの掲載を省略している。

■山梨県立博物館の諸サービスの満足度一覧

満足度が平均以上のサービス

| 設問番号 | 設 問 内 容 | 10満点での満足度(点) |
|------|---|--------------|
| A01 | 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？ | 8.9 |
| B01 | チケット売り場はすぐにわかりましたか？受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしょう？ | 8.8 |
| C01 | 資料保存のために空調を寒くしているのですが、館内の温度については快適ですか？ | 8.6 |
| B02 | 案内パンフレットは使いやすいですか？ | 8.5 |
| F01 | ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫などもありましたか？ | 8.2 |
| D05 | 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、気づきましたか？ | 8.1 |
| J01 | 館の愛称は、「かいじあむ」。知っていましたか？名前の感想は？ | 7.9 |
| D04 | 展示品のタイトルや解説類の文字の大きさはちょうどよかったですか？ | 7.9 |
| D08 | 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？ | 7.9 |
| J08 | もう一度、この館に来たいとどのくらい思いましたか？ | 7.9 |
| B03 | 入場料が必要なところとそうでないところの区別はすぐわかりましたか？ | 7.8 |
| D02 | 常設展はどのテーマから見てもいいように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという人のために、「順路1」というような表示があります。うまく順路をたどれましたか？ | 7.8 |
| B08 | 博物館の入り口の竹林に風鈴（ふうりん）がかけられています。気づきましたか？ | 7.8 |
| E01 | 資料閲覧室は誰でも自由に使えますが、使ってみた感想は？ | 7.8 |
| C06 | 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？ | 7.8 |
| J06 | 以前に来館したことがある方、以前よりよくなっていると思ったところがありますか？ | 7.8 |

| | | |
|-------|---|-----|
| F02 | レジの対応はいかがでしょう？ | 7.8 |
| J02 | 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？ | 7.7 |
| J07 | 県内の人・県外の人に関係なく、博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいとどのくらい思いましたか？ | 7.7 |
| E02 | 博物館で収蔵している実物の古文書を見たい方、閲覧手続きの方法はわかりやすいですか？ | 7.7 |
| 企画D01 | 今回の企画展は面白かったですか？具体的にどんなところが？感想を聞かせてください。 | 7.7 |
| E08 | 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？ | 7.6 |
| H01 | 館内スタッフの案内や誘導は上手ですか？ | 7.6 |
| F07 | オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみたい方はご感想を。 | 7.5 |
| H02 | 展示交流員（女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞けましたか？ | 7.5 |
| G01 | 館で行われているイベントプログラムは参加しやすいですか？ | 7.5 |
| E03 | 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）というサービスがあるということがわかりやすかったですか？ | 7.4 |
| C03 | 小さな子が楽しめるようなところやサービスはありましたか？ | 7.4 |
| B05 | 館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？ | 7.4 |

満足度が平均以下のサービス

| 設問番号 | 設 問 内 容 | 10満点での満足度（点） |
|------|--|--------------|
| F05 | レストランの雰囲気やサービス、メニューやお味、お値段など、総合してよかったですか？ | 7.3 |
| F03 | （ショップで）買ったもの、買いたいものはありましたか？ | 7.3 |
| E04 | 今年度から毎月「古文書相談日」が開かれています、その情報はわかりやすかったですか？ | 7.2 |
| I08 | 県立博物館のホームページを見たことがありますか？ある方、満足度は？ | 7.2 |
| E07 | 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？ | 7.2 |
| D09 | ところで、常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行っていますが、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルに気づきましたか？そのできればは？ | 7.2 |
| C05 | 外国人に対応したサービスは充分だと思えますか？ | 7.0 |
| E06 | 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることのできる検索端末（パソコン）を知っていましたか？使い勝手はいかがですか？ | 7.0 |
| F08 | 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、体験した方、満足度は？ | 6.9 |
| J04 | （ミュージアム甲斐in券の）値段は安い、あるいは高いと思えますか？ | 6.8 |
| C04 | 視聴覚障害者向けサービスは充実していると思えますか？ | 6.8 |
| H04 | 今年から毎週土曜日午前11時から展示交流員が常設展示全体の見どころを紹介する「スルーガイド」、毎週日曜日午前11時から体験イベント「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」を開催しています。ご存知でしたか？また、参加方は御感想を。 | 6.7 |
| D06 | 衛星写真「山梨の舞台」の置くにある賑やかな展示場は実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナーです。体験した楽しみ具合は？ | 6.6 |
| D03 | 展示室内は20分ごとに暗くなり、大きな木製のかべに特別映像が上映されます（おみゆきさんなどの映像）。気づきましたか？ | 6.4 |
| B04 | 途中で館外に出ても当日なら再入場できますが、そのことはすぐ分かりましたか？ | 6.2 |
| C08 | 館内のどこでなら、飲み物を飲んで良いか知っていますか？ | 5.8 |
| A02 | 最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですでしょうか？ | 4.8 |

■評価結果の分析

本通信簿ツアーも平成18年度に実施して以来、本年度で5回目を迎えた。本事業の実施によって寄せられた利用者からの声に対しては、その都度、可能な限り対応をし、より親しみ易い博物館づくりを継続的に実施してきた。

本年度の通信簿ツアーの特色は、設問に当館が提供するサービスの満足度を10点満点で評価いただき、相対的に満足度の高いサービスと低いサービスとを把握し易くするための工夫を行った。その結果をまとめたのが上表の「山梨県立博物館の諸サービスの満足度一覧」である。同表の「10点満点での満足度」において数値が高いサービス程、満足度が高く、低い場合はその逆ということになる。本満足度を集計した結果、7.4点が平均点であり、平均点以上を相対的に満足度の高いサービス、平均点未満を低いサービスと考えられる。

満足度の結果が良好であったものの中、注目されるのが、「J08 もう一度、この館に来たいとどのくらい思いましたか？」や「J06 以前に来館したことがある方、以前よりよくなっていると思ったところがありますか？」の結果がいずれも良かったことである。

これまで実施してきた通信簿ツアーの分析結果では、当館の提供するサービスそのものが利用者の中でよく認知されておらず、リピーター獲得のための様々な改善もその効果が十分には発揮されてこなかった。だが、今回の通信簿ツアーでは、J06の設問には「より積極的に案内や解説をしていると感じました」、「少しずつ変化し、良くなっている」という回答がなされ、J08の設問に対しても「特にもう一度とは思わなかったが、内容が濃く、凝っていて造りが面白かった。他とは違うと思った」とあり、注文は寄せられたものの、ある一定の満足は得られたことが読み解ける。

全体的にこれまでの改善成果が現れ始めており、今後も継続して改善の努力を続け、リピーターの確保につながるレベルでの満足度の高い利用者サービスの提供を心がけることとしたい。

一方、満足度の低いサービスについては、本年度から新規に始めた常設展スルーガイド・「遊ぼう！学ぼう！寺子屋ひろば」(H04)の認知度が低いこと、また、当日の再入場制度(B04)や飲料可能エリア(C08)等の基本的なサービスについてもいまだ利用者には知られていないことが明らかとなった。更なる広報強化に努める必要がある。

なお、本ツアーの手法そのものに対して「一般客に求めるアンケートとしては内容が多すぎ」という声も散見されるようになり、設問数や回答方法等について、見直しの時期にきているといえる。利用者の声を適切に拾い上げる方法について、あらためて工夫を重ねることが今後の課題である。

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス

(1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査・研究」(第Ⅱ編第2章参照。以下、章のみ)
- ・「資料の収集と保存」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流活動」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。14頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連しあいながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図る(第7章)こととする。

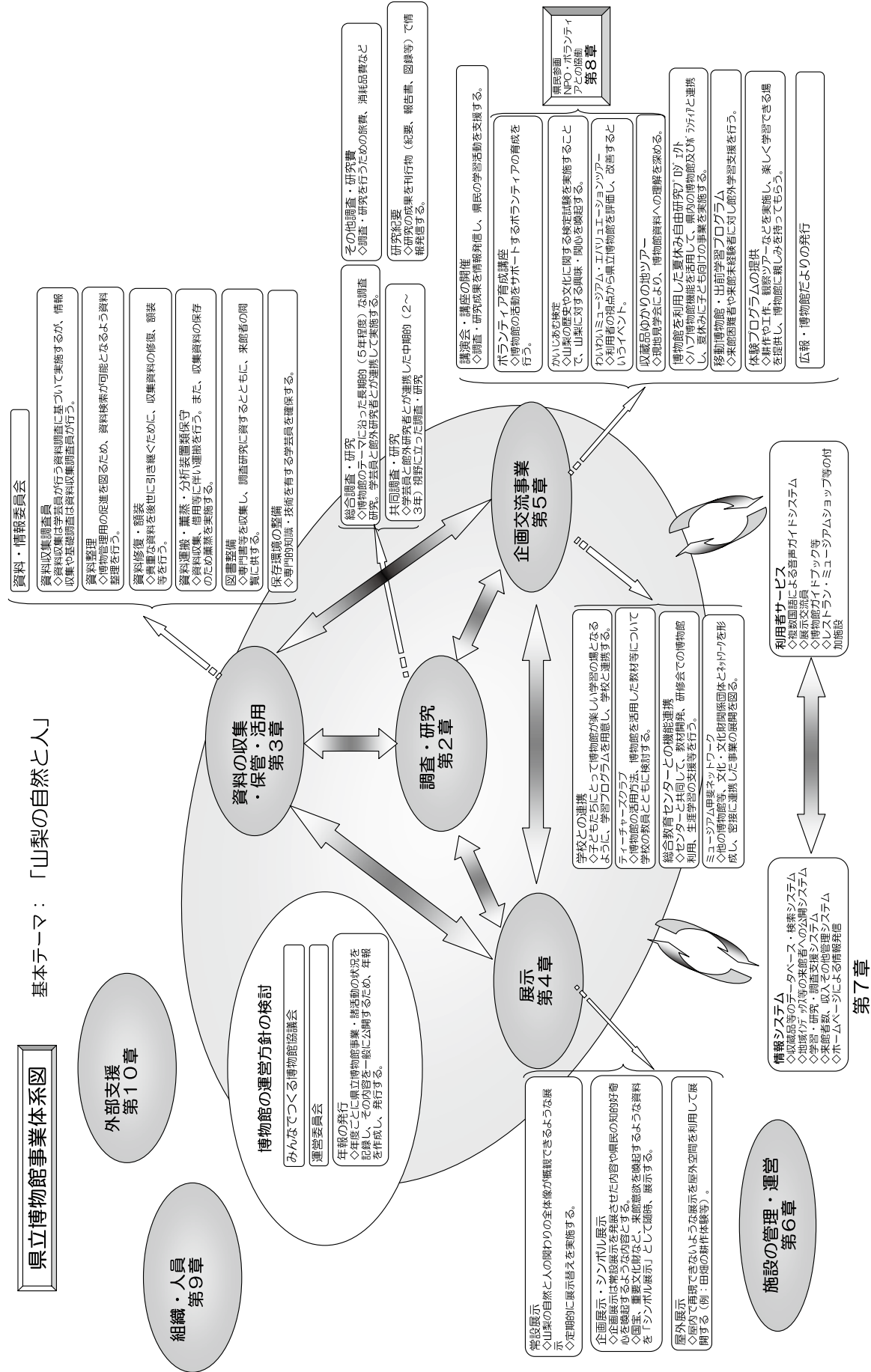
また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時にネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

(2) 平成22年度利用者状況一覧

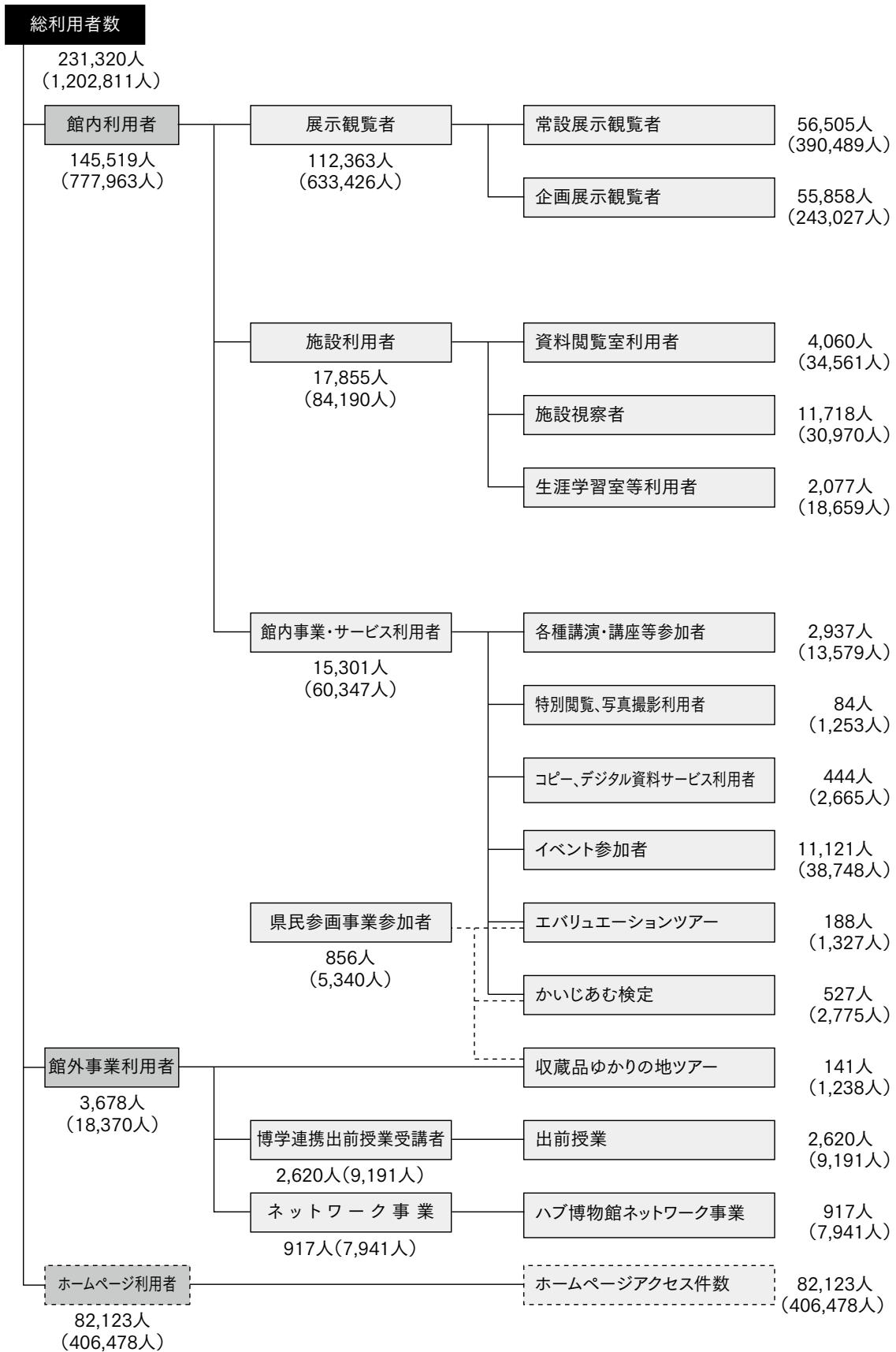
県立博物館の事業・諸活動は調査・研究、資料の収集・保管・活用、展示、企画交流活動、施設整備・管理、情報の発信と公開、県民参画事業など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが15頁の「県立博物館利用状況一覧」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していくものである。

- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は平成22年度分(平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)の実績である。なお()内の数値は平成17年度分から平成22年度分の実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、交流拠点形成事業及びわいわいミュージアムは平成18年度で終了した。替わりに平成19年度からはかいじあむ検定、わいわいミュージアム・エバリュエーションツアーが新規に実施された(第8章)。このため、平成17~22年度までの実績を示すにあたり、かいじあむ検定の場合は平成18年度迄の交流拠点形成事業の実績を、わいわいミュージアム・エバリュエーションツアーの場合は平成18年度迄のわいわいミュージアムの実績をそれぞれ集計した。



■平成22年度 県立博物館利用者状況



※ () 内の数値は平成17年度分から平成22年度分までの実績数値の総計である。

■開館年度（平成17年度）から平成22年度までの年度別統計

| 総利用者 | 館内利用者 (a + b + c) | | | | | | | | | | | 館外利用者 | | | | | ムジ ー 用 者 | | | | |
|------|------------------------------|--------------------------------------|-----------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--|--|--|---|--|---------------------------------------|--|--|--------------------------------------|----------------------------|-------------------|---|--|--|--|
| | 展示利用者 (a) | | | 施設利用者 (b) | | | 館内事業・サービス利用者 (c) | | | | | 博士 出 前 授 業 受 講 者 | ハブ 博 物 館 ホ ン グ リ ン フ ラ ン ク ス タ ン ド 受 講 者 (夏休み自由研究 プロジェクト) | ホ ン グ リ ン フ ラ ン ク ス タ ン ド 受 講 者 | | | | | | | |
| | 常設 展示 (券 数) | 企 画 展 示 (券 数) | 施 設 利 用 者 | 資 料 閱 覧 室 利 用 者 | 観 望 室 施 察 者 | 設 立 生 産 学 習 室 等 利 用 者 | 講 座 ・ 特 別 開 覧 ・ コ ビ ー デ ジ タ ル イ ベ ン ト 参 加 者 | エ リ エ ー シ ョ ン ツ ア ー 検 定 | か い じ ゃ む か い じ ゃ む | 講 演 会 ・ 特 別 開 覧 ・ コ ビ ー デ ジ タ ル イ ベ ン ト 参 加 者 | エ リ エ ー シ ョ ン ツ ア ー 検 定 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 常設 展示 (券 数) | 企 画 展 示 (券 数) | 施 設 利 用 者 | 資 料 閱 覧 室 利 用 者 | 観 望 室 施 察 者 | | 設 立 生 産 学 習 室 等 利 用 者 | 講 座 ・ 特 別 開 覧 ・ コ ビ ー デ ジ タ ル イ ベ ン ト 参 加 者 | エ リ エ ー シ ョ ン ツ ア ー 検 定 | か い じ ゃ む か い じ ゃ む |
| 17年度 | 143,415 | 114,412 | 98,578 | 66,274 | 32,304 | 10,889 | 6,085 | 1,190 | 3,614 | 4,945 | 1,321 | 92 | 209 | 2,911 | 180 | 232 | 433 | 282 | 151 | 0 | 28,570 |
| 18年度 | 221,107 | 149,254 | 124,182 | 92,277 | 31,905 | 16,043 | 7,957 | 3,674 | 4,412 | 9,029 | 2,604 | 263 | 479 | 5,213 | 345 | 125 | 1,451 | 195 | 156 | 1,100 | 70,402 |
| 19年度 | 203,261 | 126,055 | 105,596 | 66,291 | 39,305 | 13,908 | 7,306 | 3,486 | 3,116 | 6,551 | 1,515 | 219 | 496 | 3,861 | 240 | 220 | 4,833 | 166 | 1,317 | 3,350 | 72,373 |
| 20年度 | 169,893 | 97,551 | 73,419 | 49,634 | 23,785 | 12,461 | 4,754 | 4,262 | 3,445 | 11,671 | 1,649 | 265 | 549 | 8,613 | 143 | 452 | 2,781 | 180 | 1,076 | 1,525 | 69,561 |
| 21年度 | 233,815 | 145,172 | 119,288 | 59,508 | 59,780 | 13,034 | 4,399 | 6,640 | 1,995 | 12,850 | 3,553 | 330 | 488 | 7,029 | 231 | 1,219 | 5,194 | 274 | 3,871 | 1,049 | 83,449 |
| 22年度 | 231,320 | 145,519 | 112,363 | 56,505 | 55,858 | 17,855 | 4,060 | 11,718 | 2,077 | 15,301 | 2,937 | 84 | 444 | 11,121 | 188 | 527 | 3,678 | 141 | 2,620 | 917 | 82,123 |
| 計 | 1,202,811 | 777,963 | 633,426 | 390,489 | 243,027 | 84,190 | 34,561 | 30,970 | 18,659 | 60,347 | 13,579 | 1,253 | 2,665 | 38,748 | 1,327 | 2,775 | 18,370 | 1,238 | 9,191 | 7,941 | 406,478 |

■22年度 県立博物館利用者状況（月別集計）

| 総利用者 | 館内利用者 (a + b + c) | | | | | | | | | | | 館外利用者 | | | | | ムジ ー 用 者 | | | | | |
|------|------------------------------|--------------------------------------|-----------------------|--------------------------------------|----------------------------|---|--|--|--|---|--|---------------------------------------|--|--|--------------------------------------|----------------------------|-------------------|---|--|--|--|---|
| | 展示利用者 (a) | | | 施設利用者 (b) | | | 館内事業・サービス利用者 (c) | | | | | 博士 出 前 授 業 受 講 者 | ハブ 博 物 館 ホ ン グ リ ン フ ラ ン ク ス タ ン ド 受 講 者 (夏休み自由研究 プロジェクト) | ホ ン グ リ ン フ ラ ン ク ス タ ン ド 受 講 者 | | | | | | | | |
| | 常設 展示 (券 数) | 企 画 展 示 (券 数) | 施 設 利 用 者 | 資 料 閱 覧 室 利 用 者 | 観 望 室 施 察 者 | 設 立 生 産 学 習 室 等 利 用 者 | 講 座 ・ 特 別 開 覧 ・ コ ビ ー デ ジ タ ル イ ベ ン ト 参 加 者 | エ リ エ ー シ ョ ン ツ ア ー 検 定 | か い じ ゃ む か い じ ゃ む | 講 演 会 ・ 特 別 開 覧 ・ コ ビ ー デ ジ タ ル イ ベ ン ト 参 加 者 | エ リ エ ー シ ョ ン ツ ア ー 検 定 | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | 常設 展示 (券 数) | 企 画 展 示 (券 数) | 施 設 利 用 者 | 資 料 閱 覧 室 利 用 者 | 観 望 室 施 察 者 | | 設 立 生 産 学 習 室 等 利 用 者 | 講 座 ・ 特 別 開 覧 ・ コ ビ ー デ ジ タ ル イ ベ ン ト 参 加 者 | エ リ エ ー シ ョ ン ツ ア ー 検 定 | か い じ ゃ む か い じ ゃ む | 講 演 会 ・ 特 別 開 覧 ・ コ ビ ー デ ジ タ ル イ ベ ン ト 参 加 者 |
| 4月 | 17,880 | 10,269 | 8,524 | 4,647 | 3,877 | 952 | 275 | 527 | 150 | 793 | 151 | 4 | 44 | 594 | 0 | 0 | 271 | 0 | 271 | 0 | 0 | 7,340 |
| 5月 | 41,564 | 33,856 | 22,829 | 9,926 | 12,903 | 4,522 | 440 | 3,749 | 333 | 6,505 | 357 | 8 | 31 | 6,109 | 0 | 0 | 105 | 0 | 105 | 0 | 0 | 7,603 |
| 6月 | 12,290 | 5,257 | 3,896 | 3,896 | 0 | 815 | 335 | 305 | 175 | 546 | 346 | 14 | 47 | 139 | 0 | 0 | 424 | 0 | 424 | 0 | 0 | 6,609 |
| 7月 | 22,042 | 12,699 | 10,726 | 4,743 | 5,983 | 1,424 | 453 | 742 | 229 | 549 | 167 | 9 | 62 | 311 | 0 | 0 | 1,031 | 0 | 234 | 0 | 797 | 8,312 |
| 8月 | 49,280 | 39,246 | 33,573 | 12,176 | 21,397 | 2,821 | 1,018 | 1,671 | 132 | 2,852 | 213 | 6 | 48 | 2,397 | 188 | 0 | 140 | 0 | 140 | 0 | 0 | 9,894 |
| 9月 | 10,034 | 3,817 | 2,850 | 2,850 | 0 | 380 | 199 | 63 | 118 | 587 | 524 | 6 | 26 | 31 | 0 | 0 | 80 | 0 | 80 | 0 | 0 | 6,137 |
| 10月 | 20,128 | 12,120 | 10,075 | 5,386 | 4,689 | 986 | 298 | 563 | 125 | 1,059 | 730 | 10 | 33 | 82 | 0 | 204 | 248 | 43 | 205 | 0 | 0 | 7,760 |
| 11月 | 19,133 | 12,156 | 9,688 | 4,744 | 4,944 | 1,778 | 362 | 1,231 | 185 | 690 | 144 | 11 | 41 | 494 | 0 | 0 | 598 | 42 | 556 | 0 | 0 | 6,379 |
| 12月 | 7,965 | 3,392 | 2,595 | 1,713 | 882 | 704 | 151 | 342 | 211 | 93 | 0 | 5 | 29 | 59 | 0 | 0 | 70 | 0 | 70 | 0 | 0 | 4,503 |
| 1月 | 9,989 | 4,082 | 2,605 | 2,605 | 0 | 394 | 222 | 92 | 80 | 1,093 | 143 | 6 | 33 | 657 | 0 | 254 | 339 | 56 | 163 | 120 | 0 | 5,558 |
| 2月 | 10,118 | 4,239 | 2,046 | 2,046 | 0 | 1,907 | 184 | 1,569 | 154 | 286 | 67 | 4 | 32 | 114 | 0 | 69 | 272 | 0 | 272 | 0 | 0 | 5,607 |
| 3月 | 10,897 | 4,376 | 2,956 | 1,773 | 1,183 | 1,172 | 123 | 864 | 185 | 248 | 95 | 1 | 18 | 134 | 0 | 0 | 100 | 0 | 100 | 0 | 0 | 6,421 |
| 計 | 231,320 | 145,519 | 112,363 | 56,505 | 55,858 | 17,855 | 4,060 | 11,718 | 2,077 | 15,301 | 2,937 | 84 | 444 | 11,121 | 188 | 527 | 3,678 | 141 | 2,620 | 917 | 0 | 82,123 |

第2章 調査・研究

平成22年度における県立博物館の調査・研究では、外部資金による調査研究として、文部科学省・日本学術振興会 学術研究費補助金（科研費）による調査研究「日韓内陸地域における雑穀農耕の起源に関する科学的研究（基盤研究B）」（平成25年度まで継続）、「前近代の治水・利水技術と環境変化に関する研究（若手研究B）」（平成25年度まで継続）の2件が採択された。県費による調査・研究としては、総合調査・研究「日韓内陸地域における生業の歴史に関する研究」（平成25年度まで継続）、共同調査・研究「万福寺と山梨の浄土真宗」（平成25年度まで継続）、「博徒の活動と近世甲斐国における社会経済的特質」（平成24年度まで継続）、「甲斐金山における金製錬技術に関する自然科学的研究」（平成22年度終了）の4件を実施した。

このうち今年度終了の「甲斐金山における金製錬技術に関する自然科学的研究」では、甲斐を中心とする金生産技術に関する新知見が数多く見出され、その成果は『山梨県立博物館 調査・研究報告5』にまとめられた。

また、各博物館職員がそれぞれの専門分野に応じ個別調査・研究を行っている。それらの結果については、『山梨県立博物館研究紀要』第5集にまとめられている。

（1）外部資金による調査研究

①科学研究費補助金 基盤研究B「日韓内陸地域における雑穀農耕の起源に関する科学的研究」

■調査・研究の目的

近年、大型植物遺存体、微化石、植物圧痕などの自然科学的研究法が発達し、縄文時代の利用植物の中に、栽培植物と考えられる存在も注目されるようになってきた。本研究では、日本の内陸地域における縄文～弥生時代の植物化石の調査を行い、雑穀類の出現と展開を明らかにするとともに、石器などの道具類の分析を通じて、その収穫形態や農耕様式を明らかにする。また、日本国外から渡来した雑穀農耕を明らかにするため、韓国内の先史～青銅器時代の植物化石、石器等の分析研究を行う。

以上の調査を踏まえて、改めて両地域の内陸地域における雑穀農耕の起源とその農耕形態を解明することを目的とする。

■研究体制

研究代表者 中山誠二（学芸・企画交流課長）

研究分担者 外山秀一（皇學館大学）、庄田慎矢（独立行政法人奈良文化財研究所）、網倉邦生（山梨県立博物館）

研究協力者 秋山圭子（釈迦堂遺跡博物館）、石神孝子（山梨県立考古博物館）、植月 学（山梨県立博物館）、間間俊明（韮崎市教育委員会）、佐野 隆（北杜市教育委員会）、長沢宏昌（日本考古学協会）、中沢道彦（日本考古学協会）、原田 幹（愛知県教育委員会）、保阪太一（南アルプス市教育委員会）、金炳燮（慶南発展研究院）、俞 炳瑛（ウリ文化財研究院）

■活動記録

【国内調査】

- ・平成22年7月～平成23年3月 山梨県、長野県内を中心とした植物圧痕土器の選定、圧痕土器の写真撮影、実体顕微鏡による圧痕写真撮影、圧痕土器の拓本図面作成、レプリカ作成、レプリカのSEM観察
- ・平成22年12月 山梨県内の縄文時代、弥生時代の石器の使用痕調査

【韓国内調査】

- ・平成22年7月24日（土）～29日（金） 韓国内の研究協力依頼および予備調査
国立清州博物館、ウリ文化財研究院、慶南発展研究院、国立ソウル大学、円光大学、中部考古学研究所、漢江文化財研究院
- ・平成22年8月24日（火）～28日（土）
ウリ文化財研究院・慶南発展研究院において、韓国新石器時代新安遺跡、サルレ遺跡の植物圧痕、プ

ラント・オパール分析、石器使用痕分析

・平成22年11月 サルレ遺跡、新安遺跡のレプリカの電子顕微鏡による観察、調査

■活動内容と成果

植物圧痕調査では、国内で山梨県釈迦堂遺跡、宮ノ前遺跡、石之坪遺跡、外ガイト遺跡、談合坂遺跡、御坂中丸遺跡、隠岐殿遺跡、一の沢遺跡、韓国でサルレ遺跡、新安遺跡の調査を進めた。プラント・オパール分析調査では、韓国サルレ遺跡の調査、石器使用痕分析では山梨県金の尾遺跡、横堀遺跡、油田遺跡、十五所遺跡、堂の前遺跡、塩部遺跡、上横屋遺跡、坂井南遺跡、屋敷添遺跡、下横屋遺跡、堀ノ内遺跡、高畑遺跡、六科丘遺跡、平野遺跡、韓国サルレ遺跡、新安遺跡、希谷里遺跡、也音洞遺跡の調査をそれぞれ実施した。

この内、山梨県内の石器使用痕分析の結果については、『山梨県立博物館研究紀要5』に、御坂中丸遺跡、隠岐殿遺跡の植物圧痕調査および韓国也音洞遺跡の石器使用痕分析の結果は、それぞれの遺跡調査報告書に報告文を掲載した。

②科学研究費補助金 若手研究B「前近代の治水・利水技術と環境変化に関する研究」

■調査・研究の目的

中世から近世にかけての甲府盆地周辺地域を対象にして、人々が自らの生活基盤を守るために育んだ治水・利水技術の変遷・伝播や、それらを駆使して行われた開発行為によって引き起こされた自然環境の変化の状況などを考察し、前近代社会における自然と人間との関係を探る。

■研究体制

研究代表者 西川広平（学芸員）

研究協力者 関間俊明（韮崎市教育委員会）、数野雅彦（山梨郷土研究会）、斎藤秀樹（南アルプス市教育委員会）、田中大輔（南アルプス市教育委員会）、畑 大介（帝京大学山梨文化財研究所）、平山 優（山梨県立博物館）、保阪太一（南アルプス市教育委員会）、村石眞澄（山梨県世界遺産推進課）、山下孝司（韮崎市教育委員会）

■活動記録

- ・平成23年2月8日（火）から2月10日（木）まで 資料調査
- ・ 同 2月12日（土） 打ち合わせ
- ・ 同 3月3日（木）から3月30日（水）まで 資料データの整理

■活動内容と成果

本研究は、平成19年度から21年度まで行った当館共同調査・研究「甲斐の治水・利水と景観の変化」の成果をふまえて、本年度新たに開始した研究である。本年度は、改めて調査・研究の具体的方針を検討し、参加者による打ち合わせで、その内容を確認した。

また、18世紀前半に甲斐国を統治した甲府藩柳沢家に関する資料の中から、治水・利水関係資料の所在を確認するために、奈良県大和郡山市教育委員会が所蔵する豊田家史料、及び財団法人郡山城史跡・柳沢文庫保存会の収蔵資料を調査した。さらに、17世紀に作成された甲斐国内各村の検地帳の内容を整理し、データ入力を行った。

今後は、調査対象地域の検地帳のデータを整理するとともに、山梨県内外において治水・利水関係資料の所在を確認していく予定である。

(2) 県費による調査研究

①総合調査・研究「日韓内陸地域における生業の歴史に関する研究」

■調査・研究の目的

日韓内陸地域における植物栽培と家畜利用の歴史を比較検討することによって、内陸地域の生業の特質とその成立過程を比較文化的観点から明らかにする。科研費による調査に加え、動物の使用に関する視点を付加することによって、生業全体の復元をはかる。

■県立博物館担当職員

中山誠二（学芸課長）、植月 学（学芸員）、網倉邦生（学芸員）

■共同調査・研究員

秋山圭子（釈迦堂遺跡博物館）、石神孝子（山梨県立考古博物館）、関間俊明（韮崎市教育委員会）、佐野隆（北杜市教育委員会）、庄田慎矢（独立行政法人奈良文化財研究所）、外山秀一（皇學館大学）、長沢宏昌（日本考古学協会）、中沢道彦（日本考古学協会）、原田 幹（愛知県教育委員会）、保坂太一（南アルプス市教育委員会）

■活動記録

- ・平成22年6月12日（土）・13日（日）研究会の開催
- ・山梨県内の動物遺存体の基礎的研究

■活動内容と成果

縄文時代の植物利用、朝鮮半島をめぐる研究の現状と問題点、長野県松本市石行遺跡出土縄文晩期水Ⅰ式土器のアワ圧痕とその評価、植物圧痕の調査、植物珪酸体の研究、梅之木遺跡の植物遺存体、縄文・弥生時代の石器研究、石器使用痕分析と農耕研究、中部高地の弥生時代遺跡出土動物遺体の調査など、新石器時代の生業関連の現状と課題について議論し、科研費による研究の基礎とした。

②共同調査・研究「万福寺と山梨の浄土真宗」

■県立博物館担当職員

井澤英理子（学芸員）、近藤暁子（学芸員）、海老沼真治（学芸員）

■共同調査・研究員

高橋晶子（富士吉田市歴史民俗博物館学芸員）、布施光敏（富士吉田市歴史民俗博物館学芸員）

■活動記録

- ・平成20、21年度 事前の基礎調査として富士吉田市内浄土真宗三ヶ寺の調査を実施
- ・平成22年9月18日（土）～26日（日）シンボル展「特別公開 新指定重要文化財 法然上人絵伝」開催

■活動内容と成果

当館所蔵の万福寺旧蔵「法然上人絵伝」が重要文化財に指定されたことを機に、シンボル展「特別公開 新指定重要文化財 法然上人絵伝」を開催した。本年度は、他の真宗系の掛軸形式の法然上人絵伝の系譜と、法然伝が絵画化される典拠の変遷など、本資料の読み解きと典拠の探索を中心に調査研究を行った。

③共同調査・研究「博徒の活動と近世甲斐国における社会経済の特質」

■県立博物館担当職員

高橋 修（学芸員）

■共同調査・研究員

高橋 敏（国立歴史民俗博物館名誉教授）、樋泉 明（県立博物館資料収集調査員）

■活動記録

- ・平成22年5月31日（木）・30日（日）資料調査（於 中央市田富町東花輪、西八代郡市川三郷町鴨狩津向）
- 田中音次郎、津向文吉、三井仙一等にゆかりの資料・墓石調査
- ・同年6月23日（水）資料調査（於 中央市田富町東花輪）
- 三井仙一ゆかりの資料・碑文・墓石調査
- ・同年7月10日（日）博徒 勇天関係の古文書について県民から情報聴取
- ・同年10月1日（金）資料調査（於 甲州市塩山小田原）
- 博徒 勇天関係の古文書及び関連史跡調査。

■活動内容と成果

近世後期の甲斐国では幕藩制の制度的弛緩に伴って博徒集団の動きが活性化し、黒駒勝蔵や竹居吃安等

のように全国的にも著名な親分を輩出した地域として知られる。

こうした甲斐国の地域的特性を踏まえて本研究では、甲州博徒を代表する人物である黒駒勝蔵に焦点をあて、彼の勢力拡大の基盤となった博徒間のネットワークの特性について、彼と対決した清水次郎長の動向と対比させながら解明する。あわせて、その基盤づくりの前提となった知識・教養・情報をどのように蓄え、活用したのか、という観点から実証研究を行い、従来、触れられることの少なかった博徒の活動と地域文化との相互影響関係について明らかにすることを目的として設定された研究である。

平成22年度は上記の観点から博徒にかかわる子孫宅・墓地類の調査を重点的に実施した。調査結果については今後、調査・研究報告書としてとりまとめる予定である。

(3) 個別調査・研究

①職員の調査・研究成果

| 番号 | 調査・研究テーマ | 概要 | 担当職員 |
|----|--|---|--------------|
| 1 | 中部・関東地方における馬生産史に関する学際的研究 | 馬の系統、飼育法、用途、流通、死後の処理と加工など、馬生産・利用の諸側面とその変遷・地域性について考古学的手法により解明する。 | 植月 学 |
| 2 | 武田氏家臣関係資料に関する基礎的研究 | 未だ明らかにされていない部分が多い武田氏の家臣について、関連資料の調査を通じて武田家中における位置づけや武田氏滅亡後の展開を明らかにする。 | 海老沼真治 |
| 3 | 綿臙脂の再現に向けた基礎研究 | 本研究は、現在では失われた東洋の重要な絵画、染色材料である「綿臙脂」の再現の為に、現存する綿臙脂を調査、分析し、原料や具体的な製法を解明する。 | 沓名貴彦 |
| 4 | 近世後期における甲州博徒集団の活動基盤と地域社会・文化との関係についての実証研究 | 甲州博徒の活動基盤と地域文化との相互影響関係について考察する。 | 高橋 修 |
| 5 | 内陸地域の生業と農耕起源に関する研究 | 中部地方の縄文土器をレプリカ・セム法と呼ばれる手法で調査し、縄文時代の栽培植物や穀類の痕跡を検出することにより、中部山岳地域の植物および穀物栽培の実態を明らかにすることを目的としている。 | 中山誠二 網倉邦生 |
| 6 | 武田氏系図に関する研究 | 中世、近世につくられた甲斐源氏や武田氏に関する系図資料の成立状況を探るとともに、彼らの由緒がどのように形成され、受け継がれてきたのかを考察する。 | 西川広平 |

②調査・研究活動

| 年 月 日 | 内 容 | 担当職員 |
|-------------------|-------------------------------------|-------------------|
| 平成22年4月3日(土) | 永井天神社神楽調査 | 丸尾依子 |
| 4月4日(日) | 永井天神社神楽調査 | 丸尾依子 |
| 4月8日(木) | 南部町個人宅 所蔵資料の調査 | 海老沼真治 |
| 4月9日(金) | 甲府市宮前町個人宅資料の調査 | 小畑茂雄 |
| 4月11日(日) | 天津司舞調査 | 丸尾依子 |
| 4月15日(木) | 一宮浅間神社神楽調査 | 丸尾依子 |
| 5月3日(月・祝) | 黒平能三番調査 | 丸尾依子 |
| 5月13日(木) | 岡山大学附属図書館 甲斐国絵図及び駿河国絵図の2点を調査 | 高橋 修 |
| 5月17日(月)～8月30日(月) | 北杜市個人宅 国学者櫻井義令関係資料226点を調査、目録作成 | 高橋 修 |
| 5月26日(水) | 大阪府高槻市 本山寺文書の調査 | 西川広平 |
| 5月26日(水) | 瑜伽寺雨乞い仏像調査 | 丸尾依子 |
| 5月27日(木) | 徳島県板野郡藍住町 見性寺文書、三好長輝像、三好長基像の調査 | 西川広平 |
| 5月31日(木) | 中央市及び市川三郷町個人宅 博徒関係資料調査 | 高橋 修 |
| 6月2日(水) | 甲州市大和ふるさと会館環境調査 | 沓名貴彦 |
| 6月9日(水) | 韮崎市願成寺 阿弥陀三尊像調査 | 近藤暁子・西川広平ほか |
| 6月17日(木) | 甲州市放光寺 毘沙門天立像調査 | 近藤暁子・西川広平ほか |
| 6月23日(水) | 奈良県大和郡山市 柳沢文庫所蔵 清和源氏武田流甲斐国主系図の調査 | 西川広平 |
| 6月23日(水) | 中央市個人宅 博徒関係資料調査 | 高橋 修 |
| 6月24日(木) | 福井県勝山市 開善寺所蔵 加賀美遠光・小笠原長清像、小笠原貞宗像の調査 | 西川広平 |
| 7月4日(日) | 北杜市個人蔵 掛軸1点の調査・文字解読 | 高橋 修 |
| 7月5日(月) | 南アルプス市法善寺 大般若経ほか所蔵資料の調査 | 西川広平・近藤暁子 平山 優 |
| 7月18日(日) | 一之瀬高橋春駒カミタテ調査 | 丸尾依子 |
| 7月23日(金) | 甲府市個人蔵 近世期の書籍6点調査 | 高橋 修 |

| 年 月 日 | 内 容 | 担当職員 |
|----------------------------|--------------------------------------|--------------------|
| 7月24日(土) | 雷地区厄払い行事調査 | 丸尾依子 |
| 7月25日(日) | 雷地区厄払い行事調査 | 丸尾依子 |
| 8月4日(水) | 東京国立博物館 「後三年軍記」下巻の調査 | 井澤英理子・西川広平 |
| 8月16日(木) | 蕪崎市教育委員会 「甲斐国志」調査 | 高橋 修 |
| 8月19日(木) | 都留市円通院 所蔵資料の整理・調査 | 平山 優・海老沼真治 |
| 8月20日(金) | 都留市円通院 絵画・彫刻調査 | 井澤英理子・近藤暁子 |
| 8月23日(月) | 北杜市個人蔵 修験関係資料33点調査 | 高橋 修 |
| 8月29日(日) | 永井天神社神楽面調査 | 丸尾依子 |
| 9月5日(日) | 甲州市個人蔵 掛軸2点の調査・文字解説 | 高橋 修 |
| 10月1日(金) | 甲州市個人蔵 博徒関係古文書1点の調査・文字解説 | 高橋 修 |
| 10月9日(土) | 一之瀬高橋春駒カミタテ調査 | 丸尾依子 |
| 10月19日(火) | 忍野村承天寺 富士山世界遺産関連調査 | 井澤英理子・近藤暁子 |
| 10月20日(水) | 山中湖村寿徳寺・忍野村東円寺 富士山世界遺産関連調査 | 井澤英理子・近藤暁子 |
| 10月20日(水) | 千葉県個人蔵 祝詞1点の調査 | 高橋 修 |
| 10月20日(水)～10月31日(日) | 笛吹市個人蔵 郡役所関係資料他73点を調査、目録作成 | 高橋 修 |
| 10月21日(木) | 蕪崎市個人宅調査 | 高橋 修 |
| 10月28日(木) | 南アルプス市個人所蔵の日蓮真蹟断簡を調査 | 平山 優・海老沼真治 |
| 11月2日(火) | 韓国清州博物館との共同調査の一環として東京都国文学研究資料館を訪問・調査 | 朴 竣鎬・高橋 修 |
| 11月5日(金)～ 平成23年1月21日(金) | 埼玉県個人蔵 狐新居村関係資料他44点を調査、目録作成 | 高橋 修 |
| 12月1日(水)～12月4日(土) | 県内出土石製収穫具の調査 | 網倉 邦生 |
| 平成23年1月9日(日) | 一之瀬高橋春駒カミタテ調査 | 丸尾依子 |
| 1月10日(月) | 鳥谷原道祖神祭オヤマタテ調査 | 丸尾依子 |
| 1月13日(木) | 東京都古美術商 浅野幸長書状1点を調査 | 海老沼真治 |
| 1月13日(木) | 鳥谷原獅子舞古調査 | 丸尾依子 |
| 1月14日(金) | 鳥谷原道祖神祭調査 | 丸尾依子 |
| 1月15日(土) | 一之瀬高橋春駒道祖神祭調査 | 丸尾依子 |
| 1月16日(日) | 鳥谷原獅子舞家礼舞調査 | 丸尾依子 |
| 1月21日(金) | 甲府市入明寺 武田竜宝像の調査・撮影 | 平山 優・海老沼真治 |
| 1月21日(金) | 鳥谷原道祖神祭オヤマコロバシ調査 | 丸尾依子 |
| 2月8日(火) | 奈良県大和郡山市 豊田家史料の調査 | 中山誠二・西川広平 |
| 2月9日(水) | 奈良県大和郡山市 柳沢文庫収蔵資料の調査 | 中山誠二・井澤英理子 西川広平 |
| 3月5日(土) | 甲州市塩山上於曾個人宅資料の調査 | 小畑茂雄 |
| 3月22日(火)・23日(水) | 滋賀県東近江市 三枝家文書の調査・撮影 | 平山 優・海老沼真治 |

(4) 調査・研究成果の公表

①博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第II編第5章(1)を参照。

②博物館職員の調査・研究実績

■論文・調査報告など

| 氏 名 | 名 称 | 掲 載 誌 名 | 学会(発行者) | 発行年月日 |
|----------------------|--|----------------------------------|----------|-------------|
| 網倉邦生 | 山梨県都留市に所在する生出山山塊の弥生時代遺跡について | 『山梨県考古学協会誌』19 | 山梨県考古学協会 | 平成22年5月23日 |
| 網倉邦生 | 山梨県における弥生時代から古墳時代の収獲関連石器とその使用痕 | 『山梨県立博物館研究紀要』5 | 山梨県立博物館 | 平成23年3月31日 |
| 網倉邦生 西川広平 | 平成21年度山梨県地方史研究の動向 | 『信濃』62-6 | 信濃史学会 | 平成22年6月20日 |
| 植月 学 | 縄文時代晩期骨塚における動物遺体の形成過程 | 『動物考古学』27 | 動物考古学研究会 | 平成22年5月1日 |
| 植月 学 | 中部高地における弥生時代の動物資源利用の様相―大師東丹保遺跡I区から出土した動物遺体の位置づけ― | 『山梨県考古学協会誌』19 | 山梨県考古学協会 | 平成22年5月23日 |
| 津村宏臣 樋泉岳二 植月 学 | General Survey of Ras Jibsh (JBH) Shell Midden, Oman | 『インド考古研究』31 | インド考古研究会 | 平成22年7月31日 |
| 植月 学 | 海生魚類 | 『縄文時代の考古学4 人と動物の関わりあい―食料資源と生業圏―』 | 同成社 | 平成22年10月20日 |
| 植月 学 | 上っ原遺跡から出土したウシ遺体 | 『上っ原遺跡』 | 学校法人帝京大学 | 平成23年3月31日 |

第Ⅱ編 事業・諸活動

| 氏名 | 名称 | 掲載誌名 | 学会(発行者) | 発行年月日 |
|--------------|----------------------------|--|--------------|-----------------|
| 植月学 瀧川 渉 | 上っ原横穴墓出土人骨(予報) | 「上っ原遺跡」 | 学校法人帝京大学 | 平成23年3月31日 |
| 植月学 | 河原塚遺跡出土の脊椎動物遺体 | 「松戸市河原塚遺跡発掘調査報告書」 | 松戸市遺跡調査会 | 平成23年3月 |
| 植月学 | 笛吹市金地蔵遺跡出土のウマ遺体 | 「金地蔵遺跡(2次)」 | 山梨文化財研究所ほか | 平成22年3月15日 |
| 植月学 宮澤富美恵 | 甲州における幕末・明治期の海産物消費動向 | 「山梨県立博物館研究紀要」5 | 山梨県立博物館 | 平成23年3月31日 |
| 植月学 | 堂平遺跡出土の動物遺体 | 「堂平遺跡」 | 新潟県津南町教育委員会 | 平成23年3月31日 |
| 植月学 | 坂ノ上姥神遺跡出土の動物遺体 | 「坂ノ上姥神遺跡発掘調査報告書」 | 南アルプス市教育委員会 | 入稿中 |
| 海老沼真治 | 「富士北麓若彦路」再考 | 「山梨県立博物館研究紀要」5 | 山梨県立博物館 | 平成23年3月31日 |
| 小畑茂雄 | 甲府市新紺屋地区警防団関係資料について | 「山梨県立博物館研究紀要」5 | 山梨県立博物館 | 平成23年3月31日 |
| 峯名貴彦 | 出土資料の科学調査からみた中世甲斐における金生産技術 | 「山梨県立博物館調査・研究報告5 甲斐金山における金生産に関する自然科学的研究」 | 山梨県立博物館 | 平成23年3月25日 |
| 峯名貴彦 | 山梨県の地質と金鉱山、金生産関連遺跡 | 「山梨県立博物館調査・研究報告5 甲斐金山における金生産に関する自然科学的研究」 | 山梨県立博物館 | 平成23年3月25日 |
| 高橋 修 | 山梨県地方史研究の動向 | 「信濃」62-11 | 信濃史学会 | 平成22年11月 |
| 高橋 修 | 甲斐国年貢割付状との対話に向けて | 「山梨県立博物館研究紀要」5 | 山梨県立博物館 | 平成23年3月 |
| 高橋 修 | 山梨県立博物館のジオラマの楽しみ方44~55(連載) | 「まちミュージアの会報」64~75 | 特定非営利活動法人つなぐ | 平成22年4月~平成23年3月 |
| 中山誠二 | 「植物考古学と日本の農耕の起源」 | | 同成社 | 平成22年9月 |
| 中山誠二 | 韭崎市隠岐殿遺跡の植物圧痕 | 「韭崎市隠岐殿遺跡発掘調査報告書」 | 帝京大学山梨文化財研究所 | 平成23年3月 |
| 中山誠二 | 御坂中丸遺跡の植物圧痕 | 「笛吹市御坂中丸遺跡発掘調査報告書」 | 山梨県埋蔵文化財センター | 平成23年3月 |
| 西川広平 | 中世甲斐国における井堰の開発 | 「帝京大学山梨文化財研究所研究報告」14 | 帝京大学山梨文化財研究所 | 平成22年5月31日 |
| 西川広平 | 米沢藩土市河家の系図作成 | 「山梨県立博物館研究紀要」5 | 山梨県立博物館 | 平成23年3月31日 |
| 西川広平 | 中世の苗敷山 | 「苗敷山総合調査報告書」 | 韭崎市教育委員会 | 平成23年3月31日 |

■講演・シンポジウムなど

| 氏名 | 名称 | シンポジウム名・学会名 | 場所 | 開催年月日 |
|-----------------------|--|------------------------------------|---|----------------------|
| 原田 幹 網倉邦生 | 山梨県における弥生時代から古墳時代の収穫関連石器とその使用痕 | 第16回石器使用痕研究会 | 明治大学 | 平成23年3月19日(土) |
| 井澤英理子 | シリーズ笛吹学 「笛吹市の絵画について」 | 笛吹市市民講座 | 生涯学習センター | 平成23年1月23日(日) |
| 植月学 鳥越俊行 | 文化財用X線CTによる遺跡出土馬歯の計測 | 日本文化財科学会第27回大会 | 関西大学 | 平成22年6月26日(土) |
| 樋泉岳二 植月学 (以下3名) | オマーン・ラス・ジブス貝塚の古環境復原 | 日本文化財科学会第27回大会 | 関西大学 | 平成22年6月26日(土) |
| 植月学 | 動物遺体からみた江戸時代甲府城下町の食 | 山梨県考古学協会地域大会 | 甲府市総合市民会館 | 平成22年7月4日(日) |
| 植月学 | Taphonomic evidence of intensive deer (Cervus nippon) and wild boar (Sus scrofa) processing in the Final Jomon | 11th ICAZ International Conference | Pierre et Marie Curie University, Paris | 平成22年8月25日(水) |
| 覚張隆史 植月学 (以下6名) | Reconstructing Middle Age horse transport by isotope analysis | 11th ICAZ International Conference | Pierre et Marie Curie University, Paris | 平成22年8月25日(水) |
| 樋泉岳二 植月学 津村宏臣 | Shell midden formation and palaeoenvironment at Ra's Jibsh shell midden, Oman | 11th ICAZ International Conference | Pierre et Marie Curie University, Paris | 平成22年8月25日(水) |
| 植月学 | 貝塚から見た縄文人のくらしー松戸の貝塚を中心に | 松戸市立博物館講演会 | 松戸市立博物館 | 平成22年10月31日(日) |
| 植月学 | ニホンオオカミと人のかかわり | 第40回関東理科教育研究会理科部会講演会 | 山梨県総合教育センター | 平成22年11月19日(金) |
| 植月学 | 低地の貝塚における活動 | 中里貝塚国史跡指定10周年記念シンポジウム | 北区飛鳥山博物館 | 平成22年11月21日(日) |
| 海老沼真治 | 八ヶ岳山麓の戦国時代 | 大泉会総会 | 新宿ワシントンホテル | 平成23年2月19日(土) |
| 小畑茂雄 | 山梨県の歴史 明治以降の水害ー明治四十年の大水害を中心にー | 山梨の魅力メッセジャー事業 | 都留文科大学 | 平成22年11月5日(金) |
| 峯名弘美 峯名貴彦 | 綿織物の諸問題についてー中国雲南省における調査を中心にー | 文化財保存修復学会第32回大会 | 長良川国際会議場 | 平成22年6月12日(土)・13日(日) |
| 峯名貴彦 長崎 治 村上 隆 | 中世の金精錬技術に関する科学調査についてー長野県川上村粹久保金山遺跡を中心にー | 日本文化財科学会第27回大会 | 関西大学 | 平成22年6月26日(土) |
| 峯名貴彦 | 文化財の修復と保存科学 | 愛知県博物館協会保存・修復部門研修会 | 名古屋博物館 | 平成23年2月24日(木) |
| 峯名貴彦 | 金粒子付着資料(中山金山遺跡出土遺物)の科学調査からみた金製・精錬技術 | 湯之奥金山遺跡測量調査報告会 | 湯之奥金山博物館 | 平成23年2月27日(日) |
| 近藤暁子 | 甲斐源氏ーその信仰と美術ー | 笛吹市市民講座 | 県立博物館 | 平成22年11月25日(木) |
| 近藤暁子 | 仏像鑑賞の基礎的知識 | 笛吹市市民講座 山梨の仏像 | 県立博物館 | 平成23年2月16日(水) |
| 近藤暁子 | 現地視察 | 笛吹市市民講座 山梨の仏像 | 大善寺、放光寺、善光寺 | 平成23年2月23日(水) |
| 近藤暁子 | 笛吹市の仏像について | 笛吹市市民講座 シリーズ笛吹学〜ふえふきってどんなどこ | 学びの杜みさか | 平成23年2月27日(日) |
| 高橋 修 | 江戸時代の八日町ー高札場を中心にー | 八日町自治会 | ホテル甲斐路 | 平成22年4月25日(日) |
| 高橋 修 | おもてなしタクシー研修 | やまなし観光推進機構 | 県立博物館 | 平成22年6月30日(水) |
| 高橋 修 | 甲斐国年貢割付状との対話 | 近世史サマーセミナー | 大木山 | 平成22年7月17日(日) |
| 高橋 修 | 甲斐国という大地を捉える | 山梨学講座 | 県立男女共同参画推進センター | 平成22年10月26日(火) |
| 高橋 修 | 甲府城下と板垣退助 | 甲府城下と語る会 | 甲府市北公民館 | 平成22年10月31日(日) |
| 高橋 修 | 甲斐国という大地を捉える | 山梨学講座シンポジウム「開発と自然との共生」 | 県立男女共同参画推進センター | 平成22年11月19日(金) |
| 高橋 修 | 甲州博徒の群像 | 山梨学院生涯学習センター | 山梨学院大学 | 平成22年11月19日(金) |

| 氏名 | 名称 | シンポジウム名・学会名 | 場所 | 開催年月日 |
|------|-----------------------------|------------------|------------------|--|
| 高橋 修 | 甲府城下グルメ紀行～江戸時代の食文化～ | 甲府市職員研修 | 甲府市役所 | 平成22年12月13日(月) |
| 高橋 修 | 古文書講座 | 甲斐市講座 | 甲斐市敷島総合文化会館 | 平成23年1月22日(土)・ 2月19日(土)・ 3月5日(土) |
| 高橋 修 | 地域文化振興と博物館 | 千葉県美術館・博物館等職員研修会 | 千葉県立中央博物館 | 平成23年2月9日(金) |
| 高橋 修 | 山梨おもてなしタクシードライバー研修 | 山梨県タクシー協会 | 県立博物館 | 平成23年2月23日(水)・ 3月2日(水)・ 3月3日(木) |
| 中山誠二 | 縄文時代の植物栽培 | 成田市歴史講演会 | 成田市役所 | 平成22年12月4日(土) |
| 西川広平 | 甲斐源氏一列鳥を駆ける武士団一 | 笛吹市民講座 | 体験学習室 | 平成22年12月2日(木) |
| 西川広平 | 甲斐源氏一列鳥を駆ける武士団一 | 観光振興課ボランティア講座 | 生涯学習室 | 平成22年12月4日(土) |
| 西川広平 | 共同調査・研究「甲斐の治水・利水と景観の変化」について | 山梨郷土研究会 研究例会 | 藤村記念館 | 平成23年3月26日(土) |
| 丸尾依子 | 博物館の展示とボランティアについて | 郷土天文館サポーター養成講座 | 東京都中央区郷土天文館 | 平成22年7月29日(木) |
| 丸尾依子 | 現代社会と祭り | 山梨学院大学ともまなび講座 | 長野県岡谷市生涯学習活動センター | 平成22年9月11日(土) |
| 丸尾依子 | 一之瀬高橋の春駒 | 甲州市市民講座 | 甲州市中央公民館 | 平成22年10月25日(日) |

■県立博物館館内研究会

| 日時 | 報告者 | 内容 |
|---------------|-------------|----------------------------|
| 平成22年5月20日(木) | 海老沼真治・平山 優 | 真下家所蔵文書の伝来と山本氏の系譜・近世の山本菅助 |
| 平成23年2月16日(水) | 中山 誠二・網倉 邦生 | 日韓内陸地域における雑穀農耕の起源に関する科学的研究 |
| 3月10日(木) | 沓名 貴彦 | 山口県大内氏町並関連遺跡出土遺物の科学調査 |

③刊行物

| 名称 | 発刊日 | 体裁 |
|--|------------|----------|
| 『山梨県立博物館研究紀要』第5集 | 平成23年3月31日 | A4版、102頁 |
| 『山梨県立博物館調査・研究報告5 甲斐金山における金生産に関する自然科学的研究』 | 平成23年3月25日 | A4版、58頁 |

(5) 大韓民国 国立清州博物館との学术交流協定について

平成20年12月に大韓民国 国立清州博物館において締結された学术交流協定にもとづく交流事業は3年目を迎えた。今年度は科学研究費の調査に際して国立清州博物館を訪問し、今後の韓国国内での調査についての説明と依頼をおこなった。また、清州博物館より学芸研究士1名の派遣を受け入れ、古文書の研究手法に関する日韓の比較研究、県内の博物館、遺跡の視察をおこなった。

■国立清州博物館訪問

中山誠二 学芸課長・植月 学 学芸員 平成22年7月26日(月)

金成明 館長らと面会し、科学研究費による韓国国内での調査の説明と、協力の要請などをおこなった。

■清州博物館派遣職員と受入れ日程

朴竣鎬(パク・ジュンホ)学芸研究士 平成22年10月25日(月)～同年11月5日(金)

■日程

- ・平成22年10月25日(月)～同年11月5日(金)

県内の博物館、美術館、史跡などの視察をおこなった。

- ・平成22年11月2日(火)

当館学芸員とともに国立公文書館において調査をおこなった。

また、期間中当館所蔵の古文書類の調査を行い、当館学芸員と古文書の調査研究手法、特に花押や印鑑の研究について情報交換を行った。



清州博物館職員派遣に関する新聞記事
(平成22年11月19日(金)山梨日日新聞)

(6) 富士山世界文化遺産学術調査・研究への協力

■調査・研究の目的

富士山の世界文化遺産登録に向けて、平成20年度から山梨県が行っている富士山総合学術調査・研究に、22年度も継続して当館職員が調査員として参加し、各分野ごとに資料の調査及び打ち合わせを行った。

■県立博物館担当職員

- 網倉 邦生（学芸員、考古班）
- 海老沼真治（学芸員、文献班）
- 高橋 修（学芸員、文献班）
- 西川 広平（学芸員、文献班）
- 平山 優（副主幹、文献班）
- 宮澤富美恵（職員、文献班）
- 井澤英理子（学芸員、有形文化財班）
- 近藤 暁子（学芸員、有形文化財班）

■主な活動記録

- ・平成22年 4月21日（水） 打ち合わせ（有形文化財班）
- ・ 同 5月7日（金） 打ち合わせ（考古班）
- ・ 同 7月6日（火） 富士山総合学術調査・研究委員会
- ・ 同 10月19日（火）、20日（水） 資料調査（有形文化財班）
- ・ 同 12月3日（金） 打ち合わせ（文献班）
- ・ 同 12月24日（金） 打ち合わせ（考古班）
- ・平成23年 2月10日（木） 富士山総合学術調査・研究委員会

第3章 資料の収集・保管・活用

(1) 資料収集の方針

①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ①絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ②衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。

収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、7名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

| 氏名 | 勤務先・役職等 | 専門分野 |
|------|------------------|---------|
| 安達文夫 | 国立歴史民俗博物館教授 | 情報工学 |
| 飯田文彌 | 山梨郷土研究会常任理事 | 近世史・郷土史 |
| 大塚初重 | 山梨県立考古博物館元館長 | 考古学 |
| 清雲俊元 | 山梨郷土研究会理事長 | 郷土史・宗教史 |
| 笹本正治 | 信州大学副学長 | 中世史 |
| 濱田隆 | 山梨県立美術館元館長 | 美術史 |
| 堀内眞 | 富士吉田市教育委員会生涯学習課長 | 民俗学 |

■平成22年度の資料・情報委員会開催状況

- ・平成22年9月1日（水）第10回委員会を開催
3件の収集候補資料を審議した。
- ・平成23年2月17日（木）第11回委員会を開催
9件の収集候補資料を審議した。

(2) 資料の収集

平成22年度に収集した資料は、次表の通りである。

■寄贈

| | 資料名 | 特徴 | 制作期 | 員数 |
|---|------------|--|------------|----|
| 1 | 浅野幸長（長慶）書状 | 文禄5年（1596）、当時甲斐国を支配していた浅野幸長（長慶）が、都留郡支配を担当する重臣の浅野左衛門佐氏重に対して、甲州郡内などからあわせて200石の地を、大嶋彦十郎に与えるよう指示したものを。 | 文禄5年（1596） | 1点 |

| | 資料名 | 特徴 | 制作期 | 員数 |
|---|----------------------|---|----------------------------|------|
| 2 | 田中家資料 | 幕末から戦後までの笛吹市春日居町熊野堂村についての古文書類。特に同文書を伝えた田中氏は明治期に東山梨郡役場に勤めていたことから、近代行政文書類が伝存していることが特徴である。 | 江戸時代～近代 | 73点 |
| 3 | 馬淵家資料 | かつて狐新居村（笛吹市）に代々居住していた馬淵家に伝存した資料群。近代期においては師範学校教員として全国各地を赴任したことから、当時の教育・思想を知ることの出来る資料が含まれているのが特徴。 | 江戸時代～近代 | 44点 |
| 4 | 桂田家資料（甲府市新紺屋地区警防団資料） | 多数の俳諧関係の資料のほか、民間による防空活動をおこなった警防団に関する資料を含む資料群。 | 明治時代～昭和（警防団関係資料は、昭和13～22年） | 96点 |
| 5 | 東宮（大正天皇）山梨行啓写真 | 明治45年の東宮時代の大正天皇の行啓を迎える山梨県内の様子を撮した写真。 | 明治45年（1912） | 127点 |

■寄託

| | 資料名 | 特徴 | 制作期 | 員数 |
|---|------------------------|--|--------------------|-------|
| 1 | 短頸壺 | 篠井山山頂に埋められていたという伝承をもつ壺。平安時代末に愛知県渥美地方の古窯で生産されたもので、「藤原顕長」等の名文14行64文字が刻まれている。 | 平安時代（12世紀） | 1個 |
| 2 | 櫻井家資料 | 近代山梨を代表する国学者・教育者であった櫻井義令を輩出した櫻井家に関する資料群。櫻井家の家政及び同家のあった横手村の実像を知ることが出来る。 | 江戸時代～昭和時代（17～20世紀） | 226点 |
| 3 | 元亨積書 付版本元亨積書2巻 | 原本は鎌倉時代末期に虎関師錬が著わした仏教史書。全30巻。本資料は、写本は大永4年（1524）、向嶽庵の僧侶により執筆されたもので、版本は南北朝時代永和3年（1377）刊行、写本・版本あわせて20巻を伝える。 | 大永4年（1524） | 18冊 |
| 4 | 抜隊得勝像（大円禅師像） 傑叟自玄 贊 | 向嶽寺開山抜隊得勝の頂相。抜隊の七回忌に、向嶽寺の書記で抜隊の法嗣華林慧昌が、兄弟子の傑叟に師の自題を求めたもの。この頃華林は松泉寺の勧請開山となっており、新しい寺のために整えたとみられる。 | 明徳4年(1393) | 1幅 |
| 5 | 上條氏収集資料 | 上條氏が収集した近世～近代頃にかけての山梨県内各地に伝存した地方文書類。西島村の紙漉に関わる資料、西桂村の小沼然糸工場の経営関係資料など従来、知られていなかった資料を多く含むことが特徴。 | 江戸時代～近代 | 4247点 |
| 6 | 虚空蔵菩薩像 | 業海本浄が開いた棲雲寺に伝来した仏画。面貌、衣服、左手に持つ十字架など特異な画像であることから、様々な解釈がされている。 | 元時代（中国） 14世紀 | 1点 |

(3) 資料の整理・目録（データ）化

平成22年度は、新規収集した資料に加え、平成17年度に県立図書館より移管した資料（約85,000点）の整理と、目録（データ）化する作業を進めている。県立図書館移管資料については、平成23年度までの完了を目標として作業を進めている。また、登録データの公開作業も随時進めている。

■資料の整理

新規に収集した未整理の資料について、保管容器への収納、ナンバリングを行う作業である。平成22年度は、引き続き職員による作業を進めているほか、5～7月、12～2月の2回整理作業員を雇用し、新規収集資料の整理を実施した。

■収蔵資料のマイクロ化・デジタル化

県立図書館から移管した資料のうち、利用頻度が高い「甲州文庫」については、利便性を高めるため、平成16～17年度事業としてマイクロフィルムによる撮影、デジタル画像の作成を行い、全体の約9割が完了した。残りの資料については、さらに18～19年度の2ヶ年でマイクロ化・デジタル化を実施した。

本事業によって、甲州文庫資料のうち、古文書・図書・新聞雑誌類については、ほぼすべての資料のデジタル画像を公開した。

撮影数：23,019点（510,518コマ）

■図書資料のデータ登録

収集した図書・雑誌類のデータ登録を、職員により随時行っている。平成22年3月1日現在の登録件数は35,253点となっている。

(4) 資料の修復・管理

①資料の修復

■修復資料

「曾我物語図屏風」六曲一双のうち、左隻「夜討図」一隻 縦154.0×横364.4cm

■資料の重要性

源頼朝が富士山麓で行った巻狩を舞台とする曾我物語図は、富士の絵画を代表する題材の一つであり、甲斐源氏の活躍や武士の騎馬風俗の好資料である。いずれも当館の重要テーマであることから、企画展など様々な活用が可能な資料である。

■修復者

(株)墨仁堂 静岡県静岡市葵区大岩1-4-4 (修復作業所：同左)

■修復の内容

平成21年度の右隻「富士巻狩図」の修復に引き続き、左隻「夜討図」の修復を行った。解体して肌裏紙まで取り替える根本修理を行った。本紙の汚損をクリーニング、絵具の剥落留めを行った。他所へ移動し付着していた絵具を元の位置に戻し、欠損部に当てる補修紙を取り替え、裏打ち、補強を行った。下地骨、襲木(漆塗りの縁)、縁裂、唐紙、金具などの表具はすべて新調した。絵の一部が表具で隠れていたため、本紙に足し紙を施して端まで見えるように仕立てた。修復完了後、秋季展覧会「甲斐源氏」展に出品した。

②資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

■温湿度管理

山梨県立博物館では文化財の収蔵・展示のため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間(8時～22時)、空調を行っている。これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、毛髪式自記記録計、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

■空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫、展示室の空調設備に設置し、外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いている。

また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なものでは80ルクス以下、土器や金属器等あまり注意しなくてよいものは150ルクス程度の照明を行っている。

■生物被害管理

一時収蔵庫での燻蒸は、資料収集の関係上実施しなかった。資料個別に対する燻蒸については適宜燻蒸庫で行った。

(5) 資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民、博物館利用者の学習や調査研究等に活用するために、資料、情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日より開始した即日閲覧は、利用者に好評であり、57件184点を提供した。また、従来からの事前申請による原資料閲覧が、古文書等を中心として5件7点あった。

撮影は展示図録への掲載、調査研究などの目的で22件49点あり、書籍等への掲載、テレビ番組での使用などの資料写真の貸出は、116件466点となっている。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、5件21点の館外貸出を行った。

■平成22年度歴史資料等利用状況

| 月 | | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
|----------------------|----|-----|-----|-----|------|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 歴史資料等 即日閲覧 | 件数 | 4件 | 6件 | 9件 | 7件 | 4件 | 4件 | 7件 | 5件 | 4件 | 4件 | 3件 | 0件 | 57件 |
| | 点数 | 16点 | 15点 | 30点 | 23点 | 5点 | 8点 | 16点 | 11点 | 30点 | 21点 | 9点 | 0点 | 184点 |
| 歴史資料等閲覧 | 件数 | 0件 | 1件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 1件 | 2件 | 1件 | 0件 | 0件 | 0件 | 5件 |
| | 点数 | 0点 | 3点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 1点 | 2点 | 1点 | 0点 | 0点 | 0点 | 7点 |
| 歴史資料等撮影 | 件数 | 0件 | 1件 | 5件 | 2件 | 2件 | 2件 | 2件 | 4件 | 0件 | 2件 | 1件 | 1件 | 22件 |
| | 点数 | 0点 | 1点 | 8点 | 2点 | 9点 | 6点 | 2点 | 10点 | 0点 | 5点 | 5点 | 1点 | 49点 |
| 未登録歴史資料 | 照会 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 |
| | 複写 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 | 0点 |
| 歴史資料等使用 (フィルム使用等) | 件数 | 13件 | 6件 | 10件 | 11件 | 2件 | 9件 | 12件 | 15件 | 6件 | 10件 | 21件 | 1件 | 116件 |
| | 点数 | 17点 | 92点 | 16点 | 164点 | 2点 | 14点 | 20点 | 34点 | 11点 | 13点 | 82点 | 1点 | 466点 |
| 歴史資料等貸出 | 件数 | 0件 | 0件 | 0件 | 2件 | 0件 | 1件 | 0件 | 0件 | 1件 | 0件 | 0件 | 1件 | 5件 |
| | 点数 | 0点 | 0点 | 0点 | 6点 | 0点 | 1点 | 0点 | 0点 | 2点 | 0点 | 0点 | 12点 | 21点 |

第4章 展 示

(1) 常設展示

平成22年度の常設展示は、年間6回の展示替えを行ない、資料の保存に対応するとともに、各回ごとに展示テーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容とすることを図った。また、企画展非開催時の土曜日に「学芸員によるワンポイント展示解説」を実施し、学芸員が各回30分程度、来館者に常設展示の見どころをわかりやすく説明する機会を設けた。

■展示資料一覧

・展示期間

①平成22年2月24日（水）から同年4月19日（月）まで

展示テーマ「山梨の春は、桜と桃と信玄公」

②平成22年4月21日（水）から同年6月21日（月）まで

展示テーマ「山梨の馬～甲斐の黒駒から武田の騎馬隊まで～」

③平成22年6月23日（水）から同年8月23日（月）まで

展示テーマ「富士は日本一の山」

④平成22年8月25日（水）から同年10月25日（月）まで

展示テーマ「資料で巡る山梨の旅」

⑤平成22年10月27日（水）から同年12月20日（月）まで

展示テーマ「広重の富士三十六景」

⑥平成22年12月22日（水）から同年2月21日（月）まで

展示テーマ「お正月は、博物館で初詣」

⑦平成23年2月23日（水）から同年4月18日（月）まで

展示テーマ「山梨の春は、桜と桃と信玄公」

・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。

・所蔵者については、複製品は（ ）内に原資料所蔵者を記した。

・指定については、●は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。

・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行なっている。

【出品資料一覧】

●国宝 ◎国指定重要文化財 △国指定重要美術品 ○山梨県指定文化財 ◇市町村指定文化財

| 資 料 名 | 時 代 | 所 蔵 者 | 指定 | 展示期間 |
|----------------------|------|-------------------|----|-------------|
| 自然の森の中で | | | | |
| 桂野遺跡渦巻文土器 | 縄文中期 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 釈迦堂遺跡渦巻文土器 | 縄文中期 | 釈迦堂遺跡博物館 | ◎ | ①②③④(～10/3) |
| 甲州市重原遺跡出土縄文土器(藤内式土器) | 縄文中期 | 山梨県立考古博物館 | | ④(10/4～)⑤⑥⑦ |
| 縄文土器片、石器 | 縄文中期 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲斐の誕生 | | | | |
| 甲斐国分寺瓦(鬼瓦) | 奈良 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲斐国分寺瓦(平瓦・丸瓦) | 奈良 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲斐国分尼寺墨書土器 | 奈良 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 郷名墨書土器「石木東」 | 平安 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 郷名墨書土器「玉井郷長」 | 平安 | 笛吹市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」(複製) | 奈良 | 山梨県立博物館(佐久市教育委員会) | | ①②③④⑤⑥⑦ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|--------------------------|-------------|---------------------|----|---------|
| 刻書土器「甲斐国山梨郡表門」 | 奈良 | 甲府市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 寺本庵寺 瓦 | 白鳳 | 笛吹市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 天狗沢瓦窯跡 瓦 | 白鳳 | 甲斐市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①(複製) | 奈良 | 山梨県立博物館(奈良文化財研究所) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②(複製) | 奈良 | 山梨県立博物館(奈良文化財研究所) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③(複製) | 奈良 | 山梨県立博物館(奈良文化財研究所) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製) | 奈良 | 山梨県立博物館(奈良文化財研究所) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製) | 奈良 | 山梨県立博物館(奈良文化財研究所) | ◎ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製) | 奈良 | 山梨県立博物館(奈良文化財研究所) | ◎ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製) | 奈良 | 山梨県立博物館(奈良文化財研究所) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲斐国印(推定復元) | 奈良 | 山梨県立博物館(正倉院宝物) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 正倉院文書「甲斐国司解」(複製) | 奈良 | 山梨県立博物館(正倉院宝物) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 東畑遺跡金銅仏 | 奈良 | 甲府市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲斐の黒駒 | | | | |
| 大塚古墳出土横板鋌留短甲(複製) | 古墳 | 山梨県立博物館(市川三郷町教育委員会) | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 狐原遺跡 焼印 | 平安 | 上野原市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 古柳塚古墳 馬具 | 古墳 | 笛吹市教育委員会 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 塩部遺跡 馬下顎骨 | 古墳 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 伝豊富村 衝角付冑(複製) | 古墳 | 山梨県立博物館(東京国立博物館) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 伝豊富村 眉庇付冑(複製) | 古墳 | 山梨県立博物館(東京国立博物館) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平林2号墳 馬具 | 古墳 | 山梨県立考古博物館 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平林2号墳太刀、鉄鍔一括 | 古墳 | 山梨県立考古博物館 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製) | 奈良 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 正倉院文書「駿河国正税帳」(複製) | 天平10年(738) | 山梨県立博物館(正倉院宝物) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 日本書紀 | 享和3年(1803) | 個人 | | ② |
| 続日本紀(頼生文庫) | 明暦3年(1657) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 甲斐叢記 | 嘉永4年(1851) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 水に取り組む | | | | |
| 雨乞いの仏像 | | 清水寺 | | ①②③④⑤⑥ |
| 塩部遺跡 木製人形 | 平安 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 石尊祭の藁束 | 平成14年(2002) | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 測量器(複製) | 江戸 | 山梨県立博物館(個人) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 墨書土器「水神」 | 平安 | 忍野村教育委員会 | | ①②③④ |
| 宮沢中村遺跡網代護岸 | 鎌倉 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 御幸祭川除の石 | 平成15年(2003) | 山梨県立博物館 | | ①②③④ |
| 小物成山へ水神勘定願一札 | 永禄3年(1560) | 山梨県立博物館 | | ⑤⑥ |
| 甲斐四郡絵図(若尾資料) | 大正 | 山梨県立博物館 | | ①②③ |
| 甲斐国絵図(甲州文庫) | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ④⑤ |
| 日用算法歌(甲州文庫) | 文化2年(1805) | 山梨県立博物館 | | ⑥⑦ |
| 雨乞祈願和歌写し書(太田家資料) | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②③ |
| 大早魃に付牛雨乞の四ヶ村議定書(甲州文庫) | 天保10年(1839) | 山梨県立博物館 | | ④⑤⑥⑦ |
| 雨乞雨晴祈願の祓詞(頼生文庫) | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②③ |
| 四方津村四ヶ村組合牛雨乞に付諸入用控(甲州文庫) | 天保14年(1843) | 山梨県立博物館 | | ④⑤⑥⑦ |
| 戦国からのメッセージ | | | | |
| 武田勝頼書状(櫻林家資料) | 天正2年(1574) | 個人(寄託) | | ①②⑦ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|--------------------|-------------|---------|----|---------|
| 織田信長禁制（本庄家資料） | 天正10年（1582） | 山梨県立博物館 | | ③④⑤⑥ |
| 成瀬正成判物（櫻林家資料） | 慶長20年（1615） | 個人（寄託） | | ①②⑦ |
| 富士講経巻（藤原月旺御見抜書写本） | 天和3年（1683） | 山梨県立博物館 | | ③④⑤⑥ |
| 妙法寺記 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 平成21年度筒粥占標（小室浅間神社） | 平成20年（2008） | 山梨県立博物館 | | ① |
| 平成22年度筒粥占標（小室浅間神社） | 平成21年（2009） | 山梨県立博物館 | | ②③④⑤⑥ |
| 平成23年度筒粥占標（小室浅間神社） | 平成22年（2010） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 筒粥神事の道具 | 平成17年（2005） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 山に生きる | | | | |
| 武田家朱印状（田辺家資料） | 天正9年（1581） | 山梨県立博物館 | ○ | ①②③④ |
| 武田家朱印状（田辺家資料） | 永禄3年（1560） | 山梨県立博物館 | ○ | ⑤⑥⑦ |
| 穴山信君判物（佐野家資料） | 天正8年（1580） | 個人（寄託） | | ①②③④ |
| 穴山信友判物（佐野家資料） | 弘治3年（1557） | 個人（寄託） | | ⑤⑥⑦ |
| 江戸城西之丸御用検板（佐野家資料） | 天保9年（1838） | 個人（寄託） | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 市川御用紙入札につき覚（甲州文庫） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 慶長七寅年御実検御水帳（斎藤家資料） | 慶長7年（1602） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 経嶋村苅立畠定請之事（斎藤家資料） | 慶長7年（1602） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 大鋸 | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲斐叢記 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲州金（一分金 甲州文庫） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 焼畑衣装（再現品） | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 里にくらす | | | | |
| 煙草包装紙 | 明治22年（1889） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 煙草庖丁 | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 煙草箱 | 明治 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 千野村絵図（複製） | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 軍馬帽 | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 馬ブラシ | | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 馬ブラシ | | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 草鞋 | | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 草鞋 | | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 馬草鞋 | | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 屋敷見取図（萩原家資料） | 江戸 | 個人 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 地家相考察委記（萩原家資料） | | 個人 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 奇覚（堀内氏収集資料） | 文久2年（1862） | 個人 | | ① |
| 口演（上野晴朗氏収集資料） | 明治4年（1877） | 山梨県立博物館 | | ②③④⑤⑥⑦ |
| 差出申一札之事（上條氏収集資料） | 天保14年（1843） | 山梨県立博物館 | | ②③④⑤ |
| 御年玉袋（上條氏収集資料） | 江戸 | 個人 | | ⑥⑦ |
| 凶星の図写（堀内氏収集資料） | 江戸 | 個人 | | ① |
| 奉拝借肥代金之事（上條氏収集資料） | 明治2年（1869） | 山梨県立博物館 | | ②③④⑤⑥⑦ |
| 占書（堀内氏収集資料） | | 個人 | | ①②③④⑤ |
| 初学古状揃（上條氏収集資料） | 安政4年（1857） | 個人 | | ⑥⑦ |
| 養蚕の御札（上條氏収集資料） | | 個人 | | ①②③④ |
| 諸法秘密之伝（櫻井家資料） | 文政13年（1830） | 個人 | | ⑤⑥⑦ |
| 年始挨拶ニ付書状（渡辺家資料） | | 山梨県立博物館 | | ①②③④ |
| 四季法令（上條氏収集資料） | 文政7年（1824） | 個人 | | ⑤⑥⑦ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|----------------------|-------------|------------------|----|---------|
| 火災除ノ鶏図（河野家資料） | | 個人 | | ① |
| 差出申一札之事（上條氏収集資料） | 天保14年（1843） | 個人 | | ②③④⑤⑥⑦ |
| 他国替女入込差止方願書（甲州文庫） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 水車渡世願（上條氏収集資料） | 1795年 | 個人 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 城下町の賑わい | | | | |
| 稲荷曲輪出土瓦 | 江戸（17世紀） | | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲府城跡出土鯉瓦 | 江戸 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 高札 | 明治 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲府上水木筒 | | 甲府市水道資料館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 数寄屋曲輪出土大型円形瓦 | 室町（16世紀） | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 本丸出土花菱紋瓦 | 江戸（18世紀） | 山梨県立考古博物館 | | ①②③ |
| 松井氏写真（松井家資料） | 明治 | 個人 | | ④⑤⑥⑦ |
| 陸軍教導団編入ノ件ニ付通知（松井家資料） | 明治13年（1880） | 個人 | | ④⑤⑥⑦ |
| 輪宝 | 江戸（17世紀） | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 御高札写（甲州文庫） | 江戸 | 個人 | | ① |
| 印伝屋ちらし（上野晴朗氏収集資料） | 慶応3年（1867） | 山梨県立博物館 | | ②③④⑤⑥⑦ |
| 加藤清安墓誌文（加藤家資料） | 1771年 | 個人 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 徹典館絵図面 | 天保14年（1843） | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 軍刀（松井家資料） | 応永33年（1426） | | | ④⑤⑥⑦ |
| 道祖神祭礼御条目請印帳（甲州文庫） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 江戸火見櫓仕立方問書（甲州文庫） | 天保12年（1841） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤ |
| 時の鐘撞料前金受取（甲州文庫） | 安永3年（1774） | 山梨県立博物館 | | ⑥⑦ |
| 往来一札之事（堀内氏収集資料） | 嘉永2年（1849） | 個人 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 四季用文章（上條氏収集資料） | 江戸 | 個人 | | ①②③④⑤ |
| 甲州道祖神話（甲州文庫） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ⑥⑦ |
| 髪飾り（廣瀬家資料） | | 個人 | | ①②③ |
| 親族書上（松井家資料） | 応永33年（1426） | 個人 | | ④⑤⑥⑦ |
| 乍恐以書付奉御届申上候（上条氏収集資料） | 文久2年（1862） | 個人 | | ⑥⑦ |
| 変貌する景観 | | | | |
| 絹糸（蘭糸検査事務所資料） | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 山蘭の糸（蘭糸検査事務所資料） | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲府勸業試験場出土ワイン瓶 | 明治 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 堀田本七十一番職人歌合 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②⑥⑦ |
| 七十一番職人歌合 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ③④⑤ |
| 職人尽歌合 | 文政9年（1826） | 山梨県立博物館 | | ③④⑤⑥⑦ |
| 差出申一札之事（篠原家資料） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 入置申一札之事写（篠原家資料） | 明治3年（1870） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| みとものかず（櫻井家資料） | 1882年 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 生糸商標登録願及び商標見本（甲州文庫） | 明治17年（1884） | 山梨県立博物館 | | ① |
| 甲州生糸商標（甲州文庫） | | 山梨県立博物館 | | ②③④ |
| 増設工場見積書（上條氏収集資料） | 大正8年（1919） | 個人 | | ⑤⑥⑦ |
| 請負書（上條氏収集資料） | 大正7年（1918） | 個人 | | ⑤⑥⑦ |
| 信仰の足跡 | | | | |
| 役行者像（複製） | 平安（12世紀） | 山梨県立博物館（円楽寺） | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 甲斐勝沼粕尾尾経塚出土経筒（複製） | 康和5年（1103） | 山梨県立博物館（東京国立博物館） | ◎ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 金峰山出土品（釘、古銭、鏡、薙鎌） | 平安～明治 | 甲府市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥⑦ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|----------------------|-------------|----------------|----|-------------------|
| 地藏菩薩立像 | 乾元2年(1303) | 個人 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 富士山五合五勺経ヶ岳出土経巻(複製) | 平安 | 山梨県立博物館(個人) | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 富士山牛玉 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 愛染明王坐像(複製) | 平安(12世紀) | 山梨県立博物館(放光寺) | ◎ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 聖観音菩薩立像 | 鎌倉 | 山梨県立博物館 | | ① |
| 韋駄天像 | 南北朝 | 個人 | | ②③④⑤⑥⑦ |
| 蔵王権現立像 | 平安 | 山梨県立博物館 | ○ | ①②③④⑤⑥ |
| 甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図(甲州文庫) | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 甲斐を駆ける武士たち | | | | |
| 関東下知状(複製) | 応長元年(1311) | 山梨県立博物館(大善寺) | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 長寛勘文写本(複製) | 江戸 | 山梨県立博物館(熊野神社) | ◇ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 銅製経筒および付属品(複製) | 建久8年(1197) | 山梨県立博物館(個人) | ○ | ①②③⑦ |
| 大般若波羅蜜多経 卷四五八 | 貞治4年(1365) | 山梨県立博物館 | | ④⑤⑥ |
| 諏訪神号旗(複製) | 室町 | 山梨県立博物館(恵林寺) | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 孫子の旗(複製) | 室町 | 山梨県立博物館(恵林寺) | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 小桜韋威鎧 兜・大袖付(楯無鎧)復元品 | 平安・鎌倉 | 山梨県立博物館(菅田天神社) | ● | ①②③⑥⑦ |
| 聖観音菩薩立像 | 鎌倉 | 山梨県立博物館 | | ④⑤ |
| 武田晴信像(複製) | 室町 | 山梨県立博物館(持明院) | | ①③④⑤⑥⑦ |
| 武田二十四将図 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 武田二十四将図 | 江戸 | 南松院 | | ④⑤⑥ |
| 武田晴信書状 | 室町(16世紀) | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 土佐光起筆 武田信玄・上杉謙信像 | 元禄元年(1688) | 山梨県立博物館 | | ② |
| 木馬 | 江戸 | 長禅寺 | | ②③ |
| 南松院武田系図(南松院資料) | 江戸(17世紀) | 南松院 | | ④ |
| 南松院殿十七年忌香語(南松院資料) | 天正10年(1582) | 南松院 | ○ | ⑤ |
| 上杉景勝判物(市河家文書) | 室町(16世紀) | 山梨県立博物館 | ○ | ⑥ |
| 直江兼続書状(市河家文書) | 室町(16世紀) | 山梨県立博物館 | ○ | ⑥ |
| 曾我物語(大木家文書) | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ③④⑤ |
| 大久保忠高書状(三枝家資料) | 江戸(17世紀) | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 武田信玄像 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①(~4/6、13~) |
| 武田家朱印状 | 天正4年(1576) | 山梨県立博物館 | | ①(~4/6、13~)⑦ |
| 信玄公御屋形図 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①(~4/6、13~)②⑦ |
| 武田晴信条目(今沢家資料) | 弘治3年(1557) | 山梨県立博物館 | | ①(~4/6、13~)②③⑦ |
| 『小笠原流故実伝書』(水島ト也) | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①(~4/6、13~)②③④⑤⑥⑦ |
| 『犬追物図説』(伊勢貞丈) | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①(~4/6、13~)②③④⑤⑥⑦ |
| 武田晴信書状(市河家文書) | 弘治3年(1557) | 山梨県立博物館 | ○ | ①(4/7~12) |
| 武田家朱印状(市河家文書) | 永禄11年(1568) | 山梨県立博物館 | ○ | ①(4/7~12) |
| 上杉景勝朱印状(市河家文書) | 天正10年(1582) | 山梨県立博物館 | ○ | ①(4/7~12) |
| 小笠原長秀書下(市河家文書) | 応永7年(1400) | 山梨県立博物館 | ○ | ①(4/7~12) |
| 足利義満御判御教書(市河家文書) | 応永10年(1403) | 山梨県立博物館 | ○ | ①(4/7~12) |
| 山本勘助像 | 江戸(19世紀) | 山梨県立博物館 | | ①(4/7~12) |
| 川を彩る高瀬舟 | | | | |
| 鯉沢河岸跡 ガラス瓶 | 明治~大正 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 足半草鞋 | | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 鯉沢河岸跡出土遺物 | 江戸~明治 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|---------------------------------------|----------------------|-----------|----|---------|
| 鯨沢河岸跡出土動物遺体 | 江戸～明治 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 鯨沢河岸跡出土泥面子 | 明治 | 山梨県立考古博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 富士川舟運関係会社印鑑類 | 明治 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 富士川鯉淵工事記念碑銘（甲州文庫） | | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 水形難場有形図（甲州文庫） | | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 地理教育富士川唱歌（甲州文庫） | 明治34年（1901） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 諸事覚留（河野家資料） | 享保11年（1726） | 個人 | | ① |
| 納経帳（高野家資料） | 江戸 | 個人 | | ④⑤⑥⑦ |
| 道がつなく出会い | | | | |
| 木喰作 弘法大師坐像 | 寛政13年 （享和元年・1801） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 木喰作 千手観音菩薩坐像 | 寛政13年 （享和元年・1801） | 個人 | | ①②④⑤⑥ |
| 木喰作 不動明王像 | 寛政元年 （天明9年・1789） | 山梨県立博物館 | | ④⑤⑥ |
| 木食白道作 恵比寿大黒天像 | 江戸 | 個人 | | ①② |
| 葛飾北斎筆 『富嶽百景』初編 より「役ノ優婆塞富嶽草創」 | 天保5年（1834） | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 池大雅筆 富岳図 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 「不二日記」（富士日記写本） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 『滑稽富士詣 九』より 「英国のミンストル主従富士登山東海旅行の図」 | 万延元年（1860） | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 歌川貞秀筆 大日本富士山絶頂之図 | 安政4年（1857） | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 隔搔録（「富岳記聞」） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 黒駒太子像（富士曼荼羅図） | 室町 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 右左口人形 | 江戸 | 宿区 | ○ | ③ |
| 徳川家康朱印状（右左口区有文書及び関連資料一括） | 天正10年（1582） | 宿区 | ○ | ③ |
| 石櫃（右左口区有文書及び関連資料一括） | 江戸 | 宿区 | ○ | ③ |
| 鑑札（右左口区有文書及び関連資料一括） | 江戸 | 宿区 | ○ | ③ |
| 焼小手（右左口区有文書及び関連資料一括） | 江戸 | 宿区 | ○ | ③ |
| 猿橋模型 | 昭和59年（1984） | 山梨県立博物館 | | ④⑤⑥⑦ |
| 歌川広重筆 六十余州名所図会 甲斐 さるはし | 嘉永6年（1853） | 山梨県立博物館 | | ④ |
| 富岡鉄斎筆 甲斐猿橋図（大木コレクション） | 明治（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 歌川広重筆 甲陽猿橋之図 | 天保13年頃（1842） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 武田信玄陣立書 | 室町（16世紀） | 山梨県立博物館 | | ①②⑦ |
| 武田信玄出陣之図（甲州文庫） | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ①⑦ |
| 信州和田塩尻峠合戦図（甲州文庫） | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ①⑦ |
| 菱川辰政筆 川中島合戦図 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ② |
| 渥美短頸壺 | 平安（12世紀） | 個人 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 駒橋出土埋藏銭 | 室町 | 個人 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 新巻常滑大甗 | 室町 | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 青磁碗 | 室町 | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 染付皿 | 室町 | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 染付碗 | 室町 | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 灰釉皿 | 室町 | 個人 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 躰躰ヶ崎館跡出土陶磁器 | 室町 | 甲府市教育委員会 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 東原 常滑甗 | 鎌倉 | 山梨県立博物館 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 瀬戸瓶 | 鎌倉 | 山梨県立博物館 | ○ | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 無紋碗 | 室町 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|--------------------------------|-------------|---------|----|-----------|
| 江戸文化の往来 | | | | |
| 薄原村絵図（森嶋家資料） | 文化3年（1806） | 都留市 | ◇ | ① |
| 棚原村絵図（森嶋家資料） | 文化3年（1806） | 都留市 | ◇ | ② |
| 松山村絵図（森嶋家資料） | 文化3年（1806） | 都留市 | ◇ | ③ |
| 小野村絵図（森嶋家資料） | 文化3年（1806） | 都留市 | ◇ | ④ |
| 浅利村絵図（森嶋家資料） | 文化3年（1806） | 都留市 | ◇ | ⑤ |
| 大倉村絵図（森嶋家資料） | 文化3年（1806） | 都留市 | ◇ | ⑥ |
| 猿橋村絵図（森嶋家資料） | 文化3年（1806） | 都留市 | ◇ | ⑦ |
| 甲斐国志写本（甲州文庫） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 馬百態図 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 驥毛図解 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 飾馬図 | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 高久隆古筆 馬市図（大木コレクション） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 曾我物語図屏風（右隻「富士巻狩図」） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ② |
| 狩野宗信筆 富士図（大木コレクション） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 三枝雲岱筆 御嶽道絵巻 | 弘化4年（1847） | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 竹邨三陽筆 甲斐御嶽新道・御坂図 | 嘉永5年（1852） | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 竹邨三陽筆 群鹿図屏風（右隻）（大木コレクション） | 天保13年（1842） | 山梨県立博物館 | | ③ |
| 甲州道中図屏風 | 江戸 | 山梨県立博物館 | ○ | ④ |
| 歌川広重筆 不二三十六景 甲斐大月原 | 嘉永5年（1852） | 山梨県立博物館 | | ⑤（～11/16） |
| 歌川広重筆 不二三十六景 甲斐犬目峠 | 嘉永5年（1852） | 山梨県立博物館 | | ⑤（～11/16） |
| 歌川広重筆 不二三十六景 神奈川海上 | 嘉永5年（1852） | 山梨県立博物館 | | ⑤（～11/16） |
| 歌川広重筆 不二三十六景 信濃諏訪湖 | 嘉永5年（1852） | 山梨県立博物館 | | ⑤（～11/16） |
| 歌川広重筆 不二三十六景 駿河富士川 | 嘉永5年（1852） | 山梨県立博物館 | | ⑤（～11/16） |
| 歌川広重筆 富士三十六景 甲斐大月の原 | 安政6年（1859） | 山梨県立博物館 | | ⑤（11/18～） |
| 歌川広重筆 富士三十六景 甲斐犬目峠 | 安政6年（1859） | 山梨県立博物館 | | ⑤（11/18～） |
| 歌川広重筆 富士三十六景 東都隅田堤 | 安政6年（1859） | 山梨県立博物館 | | ⑤（11/18～） |
| 歌川広重筆 富士三十六景 東都目黒夕日か岡 | 安政6年（1859） | 山梨県立博物館 | | ⑤（11/18～） |
| 歌川広重筆 富士三十六景 さがみ川 | 安政6年（1859） | 山梨県立博物館 | | ⑤（11/18～） |
| 歌川広重筆 富士見百図 | 安政6年（1859） | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 源氏物語図屏風（大木コレクション） | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 富岡鉄斎筆 福祿寿像（大木コレクション） | 明治23年（1890） | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 福助図（大木コレクション） | | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 打出の小槌図（大木コレクション） | 大正13年（1924） | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 大黒天像（大木コレクション） | 20世紀 | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 三代歌川豊国筆 謙信武田ノ旗本へ乱入之図 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ① |
| 歌川芳貞筆 永禄四年九月川中嶋大合戦 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ① |
| 歌川芳虎筆 天文二十三年武田上杉川中嶋大合戦図 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ① |
| 歌川貞秀筆 川中嶋大合戦之図 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ① |
| 歌川芳綱筆 西条山（妻女山）引返之図 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ① |
| 歌川国芳筆 武田上杉川中嶋大合戦図 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ①⑦ |
| 三代歌川豊国筆 謙信武田ノ旗本へ乱入之図 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ①⑦ |
| 歌川貞秀筆 川中嶋合戦図 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 歌川国芳筆 武田上杉川中嶋大合戦の図 | 江戸（19世紀） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 歌川広重筆 甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧（複製） | | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 転換期に向き合う | | | | |
| 東京日々新聞（甲州文庫） | 1872年 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|-------------------------------------|-------------|---------|----|---------|
| 天保騒動の瓦版（甲州文庫） | 江戸 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 天保騒動の一揆進行の絵図（複製） | | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 堀田本七十一番職人歌合 | | 山梨県立博物館 | | ① |
| 上黒駒村宗盲人別改帳（渡辺家資料） | 正徳2年（1712） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 大小切騒立一件綴（甲州文庫） | 明治2年（1869） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 入墨之絵図（上條氏収集資料） | 江戸 | 個人 | | ①②③④⑤⑥ |
| 大小切強願之儀聞届済之達（甲州文庫） | 明治5年（1872） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 煙草入れ | | 個人 | | ①②③④⑤⑥ |
| 一ツとせいふし甲斐の評ばん大小切（甲州文庫） | 明治 | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 巨富を動かす | | | | |
| 甲州屋忠右衛門 日本最初の鉄道に乘車したことを記した書簡（篠原家文書） | 明治5年（1872） | 山梨県立博物館 | | ①②③④ |
| 小説練絲痕 公私月報第47号付録 | 昭和9年（1934） | 山梨県立博物館 | | ⑤⑥ |
| 篠原正次郎道中諸入用控帳（篠原家文書） | | 山梨県立博物館 | | ①②③④ |
| 練系痕につき宮武外骨宛小林一三書簡（古文書雑輯（2）） | 昭和戦前期 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 宮武外骨宛 小林一三書簡（古文書雑輯（2）） | 昭和3年（1928） | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 甲州屋の横浜進出に関する書簡（篠原家資料） | 安政6年（1859） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 甲州産物書上帳（篠原家資料） | 安政6年（1859） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 横浜外国人商館図面 | 江戸末期 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥ |
| 起業秀才明治百商伝 若尾逸平君伝（甲州文庫） | 明治13年（1880） | 山梨県立博物館 | | ①②③④ |
| 小林一三の著書類（甲州文庫ほか） | 昭和戦前期 | 山梨県立博物館 | | ⑤ |
| 若尾家の年賀状（幾造から民造宛）（甲州文庫） | 大正5年（1916） | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 新年会の招待状（甲州文庫） | 大正5年（1916） | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| お年賀の御礼状（甲州文庫） | 大正8年（1919） | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 若尾家の年始の挨拶（甲州文庫） | 大正5年（1916） | 山梨県立博物館 | | ⑥ |
| 鉄道敷設創立趣意書（甲州文庫） | 明治17年（1884） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 甲信鉄道起業目論見書（大木家文書） | 明治20年（1887） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 鉄道運輸開業広告（甲州文庫） | 明治22年（1889） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 風俗画報増刊 第337号 小金井名所図会 甲武鉄道（甲州文庫） | 明治23年（1890） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 中央鉄道敷設に付意見書（甲州文庫） | 明治31年（1898） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 中央鉄道甲府ステーション（大木家文書） | 明治36年（1903） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 富士身延鉄道創立に関する小野金六書簡（甲州文庫） | 明治45年（1912） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 富士身延鉄道沿線名所図絵（甲州文庫） | 昭和3年（1928） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 富士山麓電気鉄道株式会社開通記念郵便はがき（長谷川家文書） | 昭和4年（1929） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 中央線電化記念写真帖（甲州文庫） | 昭和6年（1931） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 甲府駅発車時間表（三井家文書） | 昭和4年（1929） | 山梨県立博物館 | | ⑦ |
| 共生する社会 | | | | |
| スチブナール | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 俺は地方病博士だ | 大正 | 山梨県立博物館 | | ①②③④ |
| 地方病克服（こくふく）に向けて使用された実物道具類 | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 地方病予防溝渠（こうきょ）プレート | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 御診断願（春日居村役場書類綴）（小松村飯島家文書） | | 山梨県立博物館 | | ②③④ |
| 宮入貝生息地表示ステッカー | 昭和戦後 | 山梨県立博物館 | | ①⑤⑥ |
| 水害時に使用した舟 | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 北海道移住者調（若尾資料） | 大正 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 満蒙開拓団引き揚げ関係書類 | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |

| 資料名 | 時代 | 所蔵者 | 指定 | 展示期間 |
|------------------------------|-------------|---------|----|---------|
| E46集束焼夷弾（模型） | — | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 明治四十年八月山梨県下水害地巡視日記（古文書雑輯（2）） | 明治40年（1907） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 水害見舞物品控（太田家文書） | 明治31年（1898） | 山梨県立博物館 | | ①②③④ |
| 恩賜林絵はがき | 大正 | 山梨県立博物館 | | ⑤⑥⑦ |
| 米機の撒いた宣伝ビラ | 昭和20年（1945） | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 戦時中の教科書（音楽）（樋口家資料） | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④ |
| 戦時中の教科書（修身）（樋口家資料） | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④⑤⑥⑦ |
| 戦時中の教科書（裁縫）（樋口家資料） | 昭和 | 山梨県立博物館 | | ①②③④ |
| 杉浦健造先生頌徳誌 | 昭和9年（1934） | 山梨県立博物館 | | ⑤⑥⑦ |
| 謝恩碑絵はがき | 大正 | 山梨県立博物館 | | ⑤⑥⑦ |
| 恩賜林の沿革 | 昭和4年（1929） | 山梨県立博物館 | | ⑤⑥⑦ |
| 御料局静岡支庁管内略図 | 明治 | 山梨県立博物館 | | ⑤⑥⑦ |
| 謝恩碑模型 | 大正 | 山梨県立博物館 | | ⑤⑥⑦ |

■学芸員によるワンポイント展示解説

| 開催日 | 担当者 | 内 容 | 展示コーナー |
|--------------|-----|------------------|------------|
| 平成22年4月3日（土） | 近 藤 | 武田家ゆかりの仏像 | 信仰の足跡 |
| 4月10日（土） | 西 川 | 山本勘助ゆかりの市河家文書 | 甲斐を駆ける武士たち |
| 6月5日（土） | 沓 名 | 博物館の展示環境 | メイン展示 |
| 6月12日（土） | 植 月 | 名馬のブランド、甲斐の黒駒 | 甲斐の黒駒 |
| 6月19日（土） | 海老沼 | 新発見！山本菅助の文書 | シンボル展示 |
| 6月26日（土） | 網 倉 | 中世の出土埋蔵銭 | 道がつなぐ出会い |
| 7月3日（土） | 小 畑 | これは富士山ではありません？ | 共生する社会 |
| 7月10日（土） | 近 藤 | 富士修験の開祖 役行者 | 信仰の足跡 |
| 9月14日（土） | 高 橋 | 甲州道中図屏風に見る江戸時代の旅 | 江戸文化の往来 |
| 9月11日（土） | 植 月 | 山梨に旅した魚たち | 川を彩る高瀬舟 |
| 9月25日（土） | 丸 尾 | ムラザカイの話 | メイン展示 |
| 10月2日（土） | 中 山 | 甲斐国の仏教文化伝来 | 甲斐の誕生 |
| 12月18日（土） | 井 澤 | 広重の富士三十六景 | 江戸文化の往来 |
| 平成23年1月8日（土） | 高 橋 | 幕絵のマジカルパワー | シンボル展示 |
| 1月15日（土） | 海老沼 | 都で働いた甲斐の人々 | 甲斐の誕生 |
| 1月22日（土） | 井 澤 | 甲府商家の縁起物 | 江戸文化の往来 |
| 1月29日（土） | 西 川 | 楯無鎧のナゾ | 甲斐を駆ける武士たち |
| 2月5日（土） | 丸 尾 | 「投げる」民俗 | メイン展示 |

(2) 企画展・シンボル展等

■開催企画展・シンボル展一覧

| | 展 覧 会 名 | 会 期 |
|----------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| ① 企 画 展 | i チングス・ハーンとモンゴルの至宝展 | 平成22年4月17日(土)から同年5月31日(月)まで |
| | ii 近くて懐かしい昭和展 | 平成22年7月17日(土)から同年8月30日(月)まで |
| | iii 甲斐源氏一列島を駆ける武士団一 | 平成22年10月9日(土)から同年12月6日(月)まで |
| | iv 北斎の富嶽三十六景 | 平成23年3月19日(土)から同年5月9日(月)まで |
| ② シ ン ボ ル 展 | i 実在した山本菅助 | 平成22年6月5日(土)から同年7月5日(月)まで |
| | ii 特別公開 新指定重要文化財 法然上人絵伝 | 平成22年9月18日(土)から同年9月26日(日)まで |
| | iii 甲府道祖神祭り 一江戸時代の甲府城下活性化プロジェクト | 平成22年12月15日(水)から平成23年1月31日(月)まで |
| ③ | やまなし研究広場 | 平成23年2月11日(金)から同年3月13日(日)まで |

※平成23年3月19日（土）から同年5月9日（月）まで実施した「北斎の富嶽三十六景」展については平成23年度年報にて詳述する。

①企画展

i 開館5周年記念特別展 甲斐国騎馬文化のルーツを探る
チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展

【会 期】平成22年4月17日(土)から5月31日(月)まで
会期日数45日間、開館日数39日間

【主 催】山梨県立博物館、山梨日日新聞社、山梨放送、チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展実行委員会

【後 援】中国大使館、朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【協 力】中国・内モンゴル自治区博物館、日本航空、株式会社 富士山マカイノ・テムジン、学校法人 駒澤学園 駒沢女子大学

【監修協力】早稲田大学文学学術院教授 吉田順一

【企画制作】東映

【会 場】企画展示室

【入場者数】21,059人

【担 当】学芸員 植月 学、網倉邦生

【概 要】

チンギス・ハーンのモンゴル帝国を中心に、紀元前から清の時代まで2,000年以上にわたって、モンゴル高原周辺で勃興を繰り返した騎馬遊牧民の歴史をたどることで、甲斐国の騎馬文化のルーツを探る。

【関連イベント】

■モンゴル・デー

(モンゴル衣装の試着、ゲル体験、モンゴルの占い、ミルクティーの試飲)

・日 時 平成22年4月17日(土)、24日(土)、5月1日(土)～5日(水)、8日(土)、15日(土)、22日(土)、29日(土) 午前11時～午後3時

・場 所 企画展ロビー、体験学習室

■かいじあむ子ども工房「ゲルを組み立てよう」 ペーパー・クラフトのゲル作り

・日 時 平成22年4月25日(日)、5月23日(日) 午前10時30分～午後3時

・場 所 企画展ロビー

■ガンビルを作ろう (モンゴルのお菓子作り)

・日 時 平成22年4月29日(木) 午前10時30分～午後3時

・場 所 体験学習室

■モンゴル・コンサート① モンゴル民謡のコンサート

・演 者 王凶雅 氏(山梨大学)

・日 時 平成22年5月2日(日) 午前11時～、午後2時～(それぞれ15分程度)

・場 所 企画展ロビー

■かいじあむ講座「武田の騎馬隊はポニーだった?～モンゴルの馬と山梨の馬～」

・講 師 植月 学(学芸員)

・日 時 平成22年5月9日(日) 午後1時30分～午後3時

・場 所 生涯学習室

■モンゴル・コンサート② 馬頭琴とホーミーのコンサート

・演 者 ガントラガ氏(モンゴル村テムジン)、王凶雅 氏

・日 時 平成22年5月15日(土) 午後2時～、午後3時～(それぞれ20分程度)



展覧会ちらし

・場 所 博物館 庭

■映画上映会「チャンドマニ～モンゴル ホームーの源流へ～」

・日 時 平成22年5月22日(土)、23日(日)、30日(日) ①午前10時30分～12時10分②午後2時～3時40分

・場 所 生涯学習室

■特別記念講演会「チンギス・カンの考古学」

・講 師 白石典之氏(新潟大学教授)

・日 時 平成22年5月23日(日) 午後1時30分～午後3時

・場 所 生涯学習室

■学芸員によるギャラリートーク

・日 時 平成22年4月18日(日)、5月2日(日)、5月5日(水)、5月16日(日)、5月30日(日)

午後3時から1時間程度

・場 所 企画展示室

■常設展開連特集展示「山梨の馬～甲斐の黒駒～武田の騎馬隊～」

・日 時 平成22年4月21日(水)から同年6月21日(月)まで

・場 所 常設展示室



展示風景

【出品資料一覧】

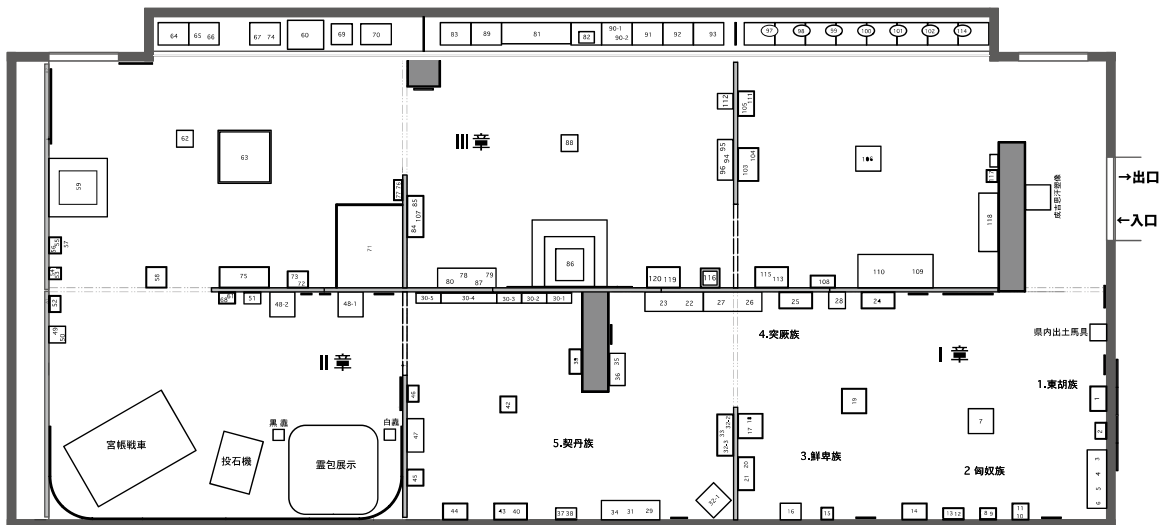
| | 資料名 | 年代 | 材質 | 法量 | 出土地点(表記のあるものはすべて中国内モンゴル自治区) |
|------|-----------------|------|--------|--------------------------|-----------------------------|
| I-1 | 東胡族 | | | | |
| 1-1 | 許季姜(人名)の青銅簋(食器) | 戦国時代 | 青銅製 | 高さ25.5cm、口径21.4cm、底径21cm | 赤峰市寧城県甸子郷小黒石溝出土 |
| 1-2 | 青銅曇 | 戦国時代 | 青銅製 | 高さ28cm、口径20.5cm | 赤峰市寧城県甸子郷小黒石溝出土 |
| 2 | 青銅冑 | 戦国時代 | 青銅製 | 高さ23cm、裾部19.5cm | 赤峰市ハラチン旗美麗河出土 |
| 3-1 | 動物文青銅短剣 | 戦国時代 | 青銅製 | 長さ28.5cm、幅3.6cm | 赤峰市寧城県出土 |
| 3-2 | 青銅製人物像柄曲刃短剣 | 戦国時代 | 青銅製 | 長さ31.7cm、幅4.2cm | 赤峰市寧城県南山根出土 |
| 4 | 青銅製馬面飾り | 戦国時代 | 青銅製 | 馬面の飾りの長さ23cm、幅9.8cm | 赤峰市寧城県小黒石溝出土 |
| 5 | 青銅製男根形柄勺 | 戦国時代 | 青銅製 | 長さ26.5cm、高さ8.5cm | 赤峰市寧城県甸子郷小黒石溝出土 |
| 6 | 人物馬車文飾り板 | 戦国時代 | 青銅製 | 長さ12cm、幅6cm | 赤峰市オンニュード旗解放営子村出土 |
| I-2 | 匈奴族 | | | | |
| 7 | 鷹形金冠飾り | 戦国時代 | 金製 | 冠の高さ7.1cm、重さ191.5g | オルドス市ハンギン旗阿魯柴登出土 |
| 8 | 銅製弩弓 | 漢代 | 銅製 | 長さ14.5cm、高さ18.3cm | オランチャブ市出土 |
| 9 | 銅製鏃 | 漢代 | 銅製 | 長さ3.5～15.6cm | オルドス市出土 |
| 10 | 水晶と瑪瑙の首飾り | 漢代 | 水晶、瑪瑙製 | 全長70cm | オルドス市西溝畔出土 |
| 11 | 匈奴貴婦人の髪飾り | 漢代 | 金・貝製 | 幅30cm×20cm | オルドス市西溝畔出土 |
| 12 | 青銅製鹿形装飾具 | 戦国時代 | 青銅製 | 高さ13cm～15.5cm | オルドス市ジュンガル旗連機溝出土 |
| 13-1 | 青銅製動物闘争文鍍金飾り板 | 戦国時代 | 青銅製 | 長さ8.9cm、高さ5.3cm | オランチャブ市涼城県停泉天子出土 |
| 13-2 | 青銅製駱駝文飾り板 | 戦国時代 | 青銅製 | 長さ10.6cm、幅6.1cm、厚さ0.2cm | オルドス市出土 |
| 13-3 | 青銅製怪獣文飾り板 | 戦国時代 | 青銅製 | 長さ7cm、幅4.9cm | オルドス市エジェンホロー旗陶亥召出土 |
| 13-4 | 青銅製臥羊形飾り板 | 戦国時代 | 青銅製 | 長さ6.5cm、幅4.8cm | オランチャブ市チャハル右翼後旗二蘭虎溝出土 |
| 13-5 | 青銅製群鹿文飾り板 | 漢代 | 青銅製 | 長さ6.5cm、幅4.8cm | オランチャブ市チャハル右翼後旗二蘭虎溝出土 |
| 13-6 | 青銅製動物闘争文飾り板 | 漢代 | 青銅製 | 長さ5cm、幅4.3cm、重さ75g | オランチャブ市チャハル右翼後旗二蘭虎溝出土 |
| 14 | 彩色木馬 | 漢代 | 木製 | 長さ60cm、幅12.5cm、高さ61cm | オルドス市出土 |
| I-3 | 鮮卑族 | | | | |
| 15-1 | 晋鮮卑屠義侯金印 | 西晋 | 金製 | 高さ2.65cm、長さ2.2cm×2.2cm | オランチャブ市涼城県小壩子灘出土 |
| 15-2 | 晋鮮卑率答中郎将銀印 | 西晋 | 銀製 | 高さ2.3cm、長さ2.2cm×2.1cm | オランチャブ市涼城県小壩子灘出土 |
| 16 | 金製鹿頭形冠飾り | 北朝 | 金製 | 高さ18.5cmと19.5cm | 包頭市ダルハン・モームヤンガン連合旗西河子出土 |
| 17 | 金製龍形首飾り | 北朝 | 金製 | 長さ125cm | 包頭市ダルハン・モームヤンガン連合旗西河子出土 |
| 18-1 | 金製四獣文騎七金飾り板 | 西晋 | 金製 | 長さ9.9cm、幅7cm | オランチャブ市涼城県小壩子灘出土 |
| 18-2 | 金製鹿形飾り板 | 東漢 | 金製 | 長さ6.7cm、幅4cm | オランチャブ市チャハル右翼後旗井灘村出土 |
| 19 | 銅製熊足形案 | 北朝 | 銅製 | 高さ8cm、口径46.7cm | オランチャブ市商都県出土 |
| 20 | 牽駱俑(駱駝牽き俑) | 北魏 | 陶製 | 男性像の高さ17.3cm | フフホド北魏墓出土 |
| 21 | 牽馬俑(馬牽き俑) | 北魏 | 陶製 | 人物の高さ19.5cm、馬の長さ30cm | フフホト市出土 |
| I-4 | 突厥族 | | | | |
| 22 | 金製獸面文冠飾り | 唐代 | 金製 | 長さ21cm、重さ12.3g | フフホト市トメド左旗水磨溝出土 |
| 23 | 金製狩獵文革帯飾り | 唐代 | 金製 | 長さ155cm | シリーゴル盟スノド右旗出土 |
| 24-1 | ベルシア製銀壺 | 唐代 | 銀製 | 高さ28cm | 赤峰市オーハン旗荷葉勿蘇出土 |
| 24-2 | 銀鍍金摩鴉文提壺 | 唐代 | 銀製 | 高さ42.5cm、底径16.8cm | 赤峰市ハラチン旗錦山出土 |
| 24-3 | 浮き彫り臥鹿文鍍銀皿 | 唐代 | 銀製 | 高さ2cm、直径46.6cm | 赤峰市ハラチン旗錦山出土 |
| 25 | 黄釉陶馬俑 | 唐代 | 陶製 | 長さ51.5cm、高さ49cm | フフホト市で収集 |
| 26 | 灰陶牛 | 唐代 | 陶製 | 長さ22cm、高さ5.5cm | フフホト市ホリングル県出土 |
| 27 | 黄釉陶鷓鴣形提壺 | 唐代 | 陶製 | 高さ19.5cm、底径8.9cm | フフホト市ホリングル県出土 |
| 28 | 緑釉長頸瓶 | 唐代 | 陶製 | 高さ58cm、口径9.5cm | フフホト市ホリングル県出土 |
| I-5 | 契丹族 | | | | |
| 29 | 銅鍍金牡丹文帯飾り・佩刀 | 遼代 | 銅製 | 帯の長さ60cm、刀の長さ37cm | 赤峰市出土 |

第II編 事業・諸活動

| | 資料名 | 年代 | 材質 | 法量 | 出土地点(表記のあるものはすべて中国内モンゴル自治区) |
|---------------------------|----------------------------|----|-----------|-------------------------------------|-----------------------------|
| 30-1 | 銅鍍金龍文面繫(40点) | 遼代 | 銅製 | 縦120cm、横80cm | 赤峰市大営子駙馬墓出土 |
| 30-2 | 銅鍍金唐草文馬首飾り(12点) | 遼代 | 銅製 | 縦120cm、横80cm | 赤峰市大営子駙馬墓出土 |
| 30-3 | 銅鍍金龍文胸繫(37点) | 遼代 | 銅製 | 縦120cm、横80cm | 赤峰市大営子駙馬墓出土 |
| 30-4 | 銀鍍金龍文鞍飾り(16点) | 遼代 | 銀製 | 縦120cm、横160cm | 赤峰市大営子駙馬墓出土 |
| 30-5 | 銅鍍金龍文尻懸(44点) | 遼代 | 銅製 | 縦120cm、横80cm | 赤峰市大営子駙馬墓出土 |
| 31 | 銅鍍金冠 | 遼代 | 銅製 | 高さ31.5cm、幅31.4cm、径19.5cm | 赤峰市出土 |
| 32-1 | 黄金のマスク | 遼代 | 金製 | 縦21.7cm、横18.8cm、厚さ0.06cm | 通遼市ナイマン旗遼陳国公主墓出土 |
| 32-2 | 銀鍍金冠 | 遼代 | 銀製 | 直径19.5cm、高さ31.5cm | 通遼市ナイマン旗遼陳国公主墓出土 |
| 32-3 | 金花銀製靴 | 遼代 | 銀製 | 高さ31.5cm、底部の長さ30.4cm | 通遼市ナイマン旗遼陳国公主墓出土 |
| 33 | 動物形玉佩 | 遼代 | 玉製 | 全体の長さ4.8cm | 通遼市ナイマン旗遼陳国公主墓出土 |
| 34 | 瑪瑙・水晶製環珞(首飾り) | 遼代 | 瑪瑙、水晶 | 全長78cm | 赤峰市アルホルチン旗耶律羽之墓出土 |
| 35 | 銅鍍金押腰 | 遼代 | 銅製 | 長さ53cm、幅20.5cm | 赤峰市出土 |
| 36 | 双面人頭形金花銀飾り | 遼代 | 銀製 | 高さ8.2cm | 赤峰市大営子駙馬墓出土 |
| 37 | 金花銀唾壺 | 遼代 | 銀製 | 高さ14cm、口径18cm | 赤峰市アルホルチン旗耶律羽之墓出土 |
| 38 | 万歳否金花銀硯箱 | 遼代 | 銀製 | 長さ18.4cm、高さ7.6cm | 赤峰市アルホルチン旗耶律羽之墓出土 |
| 39-1 | 銅鍍金鹿形飾り | 遼代 | 銅製 | 高さ24.3cm、幅30.5cm | 赤峰市アルホルチン旗耶律羽之墓出土 |
| 39-2 | 銅鍍金門神飾り | 遼代 | 銅製 | 高さ40.8cm、幅23.6cm | 赤峰市アルホルチン旗耶律羽之墓出土 |
| 40 | 契丹文字銅印 | 遼代 | 銅製 | 高さ1.3cm、1辺の長さ6.8cm | シリョングル盟ドロン県開場出土 |
| 41 | 錯銀鉄製矛 | 遼代 | 鉄製 | 長さ39cm、幅6cm | 赤峰市大営子駙馬墓出土 |
| 42 | 鑄鐵 | | 骨、鉄製 | 長さ10.8cm | 赤峰市大営子駙馬墓出土 |
| 43-1 | 龍首陶鶏冠壺 | 遼代 | 陶製 | 高さ28.5cm、底径7.5cm | 通遼市出土 |
| 43-2 | 緑釉銀化鶏冠壺 | 遼代 | 陶製 | 高さ24.5cm、口径5cm | 通遼市二林場出土 |
| 43-3 | 白磁鶏冠壺 | 遼代 | 磁器 | 高さ23.5cm、口径4.1cm | 赤峰市大営子駙馬墓出土 |
| 44 | 三彩硯 | 遼代 | 磁器 | 高さ8cm、口径23cm | 赤峰市バーリン左旗四方城出土 |
| 45 | 菩薩頭像 | 遼代 | 陶製 | 高さ45cm、幅21cm | フフホト市白塔村出土 |
| 46 | 七仏金張りの舎利木塔 | 遼代 | 木製 | 高さ22~23.8cm | 赤峰市バーリン右旗遼慶州釈迦佛舍利塔相輪木堂出土 |
| 47 | 彩繪漢白玉釈迦涅槃彫像 | 遼代 | 石製 | 高さ60cm、幅33cm | 赤峰市バーリン右旗遼慶州釈迦佛舍利塔相輪木堂出土 |
| II 一代の天驕〜モンゴル帝国の勃興 | | | | | |
| 48-1 | 伝チンギス・ハーンの戦開用鞍 | | 木、銅製 | 長さ56cm、幅30cm、高さ29cm | |
| 48-2 | 伝チンギス・ハーンの狩猟用鞍 | | 木、銅製 | 長さ59cm、高さ29cm | |
| 49 | チンギス・ハーン聖旨銀牌(複製) | | 銀製 | 長さ22cm、幅7cm | |
| 50 | チンギス・ハーン陵に祭られているスルデ(エンブレム) | | 鉄製 | 全高40cm、幅4cm | |
| 51-1 | 監国公主の印鑑 | 元代 | 銅製 | 高さ6.3cm、1辺の長さ10.8cm | オラウンチャブ市武川県東土城五家村で収集 |
| 51-2 | 管女直侍衛親軍万戸府印 | 元代 | 銅製 | 高さ8cm、1辺の長さ8cm | オラウンチャブ市出土 |
| 52 | 至正辛卯銘銅銃(複製) | | 銅製 | 長さ43cm、口径5.3cm | |
| 53-1 | 金製龍文簪 | 元代 | 金製 | 長さ15.5cm | オラウンチャブ市チャハル右翼前旗出土 |
| 53-2 | 金製牡丹文簪 | 元代 | 金製 | 長さ14.8cm | オラウンチャブ市チャハル右翼前旗出土 |
| 54-1 | 金製龍形飾り | 元代 | 金製 | 長さ26cm | 赤峰市オーハン旗出土 |
| 54-2 | 金製迦陵頻迦冠 | 元代 | 金製 | 高さ4.1cm、直径4.5cm | オラウンチャブ市チャハル右翼前旗出土 |
| 55 | 金製単耳杯 | 元代 | 金製 | 高さ5cm、口径11.8cm | オラウンチャブ市興和県五股泉出土 |
| 56 | 金製高足杯 | 元代 | 金製 | 高さ14.3cm、口径H.2cm | オラウンチャブ市出土 |
| 57 | 金製蓮華形托 | 西夏 | 金製 | 台：高さ4.5cm、直径12cm、杯：高さ3.5cm、口径10.6cm | バヤンノール市臨河区五星郷高油房出土 |
| 58 | 包金馬鞍飾り(金張りの鞍金具) | 元代 | 金製 | 前輪の高さ20.8cm、後輪の高さ11cm | シリョングル盟饒黄旗出土 |
| 59 | 銅製重鎧 | | 銅製 | 長さ135cm | 赤峰市オンニュード旗出土 |
| 60 | 狩猟文岩画 | 元代 | 石製 | 高さ105cm、幅65cm | アラシヤン盟アラシヤン右旗曼徳拉山で収集 |
| 61 | 至元通行宝鈔紙幣 | 元代 | 紙 | 長辺30.5cm、短辺22.4cm | アラシヤン盟エジュネ旗ハラ・ホト遺跡出土 |
| 62 | 姑姑冠 | 元代 | 木、白樺樹皮、銅製 | 高さ34cm、底径9cm | オラウンチャブ市四子王旗元代淨州路古城出土 |
| 63 | ナシジ織り長衣 | 元代 | 絹 | 長さ142cm、袖を広げた幅246cm | 包頭市ダルハン=モ-リヤンガン連合旗大蘇吉輝明水墓出土 |
| 64 | 銀製玉壺春瓶 | 元代 | 銀製 | 高さ27.5cm、口径7.8cm | オルドス市ジュンガル旗黒岱溝出土 |
| 65 | 三彩香炉 | 元代 | 陶製 | 高さ50cm、径28cm、口径24.3cm | トクト県東勝衛故城出土 |
| 66 | 鈞窯鋪空帯甌簾耳瓶 | 元代 | 磁器 | 高さ58cm | フフホト市郊区太平庄白塔村出土 |
| 67 | 青花大盤 | 元代 | 磁器 | 高さ7.3cm、径42.3cm | フフホト市トクト県で収集 |
| 68 | 銀錠 | 元代 | 銀製 | 長さ13cm、幅9.5cm | フフホト市で収集 |
| 69 | 石彫臥獅 | 元代 | 石製 | 高さ31cm、底部の長さ52cm | 北京市元大都遺跡出土 |
| 70 | 漢白玉騎首 | | 石製 | 高さ29.5cm、長さ82.5cm | シリョングル盟正藍旗元上都遺跡出土 |
| 71 | イスラーム教徒の石棺 | | | 高さ53cm、長さ150cm、幅50cm | 赤峰市寧城県出土 |
| 72 | 十字形銅杖飾り | 元代 | 銅製 | 高さ15cm、幅12cm | フフホト市で収集 |
| 73 | 景教墓誌 | 元代 | 磁器 | 長さ46.5cm、幅39cm、厚さ6cm | 赤峰市松山区出土 |
| 74 | 銅鍍金菩薩座像 | 元代 | 銅製 | 高さ38cm | アラシヤン盟エジュネ旗ハラ・ホト遺跡出土 |
| 75-1 | 灰陶駝駝車 | 元代 | 陶製 | 高さ14.8cm、長さ36cm、幅16cm | フフホト市で収集 |
| 75-2 | 灰陶駝駝(袋を背に負う駝駝像) | 元代 | 陶製 | 高さ30cm、長さ28cm、幅14cm | フフホト市で収集 |
| 75-3 | 鞍のついている馬の立像 | 元代 | 陶製 | 高さ28cm、長さ33.5cm、幅14cm | フフホト市で収集 |
| 75-4 | 灰陶駝駝(袋を背に付けた馬の像) | 元代 | 陶器 | 高さ28cm、長さ33.5cm、幅14cm | フフホト市で収集 |
| 75-5 | 灰陶胡人俑 | 元代 | 陶製 | 高さ26cm | フフホト市で収集 |
| 75-6 | 灰陶盅碗舞女俑(碗を持って踊る女性像) | 元代 | 陶製 | 高さ27.8cm | フフホト市で収集 |
| 75-7 | 灰陶揮臂男俑(腕を振る男の像) | 元代 | 陶製 | 高さ27.2cm | フフホト市で収集 |
| 75-8 | 灰陶高髻女俑(髪を高くたばねた女性像) | 元代 | 陶製 | 高さ24.8cm | フフホト市で収集 |
| 75-9 | 灰陶結髻男俑(おさげを結った男性像) | 元代 | 陶製 | 高さ27.5cm | フフホト市で収集 |
| 75-10 | 灰陶漢装男俑(漢民族の衣装を着る男性像) | 元代 | 陶製 | 高さ30cm | フフホト市で収集 |
| 76 | 銅使者献果品彫像(果物を献上する使者の銅像) | 元代 | 銅製 | 高さ33.5cm、幅11.5cm | 包頭市で収集 |
| 77 | 銅武士彫像(兵士の銅像) | 元代 | 銅製 | 剣を掲げる兵士：高さ26.2cm | 包頭市で収集 |
| III 明・清時代のモンゴル | | | | | |
| 78 | 金製宝杵文冠飾り | 明代 | 金製 | 長さ7.5cm、幅6cm | 赤峰市オーハン旗出土 |
| 79 | オルドス右翼中旗ジャサク令牌 | 清代 | 木製、銀製 | 全長26.5cm、牌の長さ16.5cm、幅10.5cm | シリョングル盟で収集 |
| 80 | 象牙雕瓏朝珠 | 清代 | 象牙製 | 全長121cm | 通遼市ホルチン右翼前旗郡王府の遺品 |

| 資料名 | 年代 | 材質 | 法量 | 出土地点(表記のあるものはすべて中国内モンゴル自治区) |
|-------------------------|----|----------|--------------------------|-----------------------------------|
| 81 孔雀羽織綿袍 | 清代 | 織子、孔雀の羽 | 長さ145cm、両袖を広げた幅230cm | シリールンゴル盟ウジュムチン右翼親王府の遺品 |
| 82 銀鍍金翠鳥羽飾り風冠 | 清朝 | 銀、かわせみの羽 | 高さ15cm、冠の径18cm | フフホト市で収集 |
| 83 金製龍紋盒 | 清代 | 金製 | 高さ9.3cm、長さ23.5cm、幅16cm | 赤峰市バーリン右旗巴彥爾灯蘇木栄恵公主墓出土 |
| 84 鍍金龍鳳文食盒 | 清代 | 木、漆 | 高さ17.6cm、腹部径42.5cm | |
| 85 オルドス右翼中旗ジャサク銀印、龍文印盒 | 清代 | 銀、木製 | 印の高さ11cm、一辺の長さ10.5cm | オルドス市右翼中旗貝勒府の遺品 |
| 86 龍が彫ってある王座 | 清代 | 木、鹿角製 | 高さ1144cm、長さ114cm、幅100cm | アラシャン盟ホシヨト旗親王府の遺品 |
| 87 鍍金龍文佩刀 | 清代 | 金、鉄、皮製 | 長さ90cm、幅6.5cm | フフホト市で収集 |
| 88 ルビー装飾の親王の帽子 | 清代 | 狐の皮、ルビー | 高さ17cm、直径32cm | シリールンゴル盟で収集 |
| 89 冊封風文宝ロク盒 | 清代 | 木製 | 長さ46.5cm、幅35.5cm | フフホト市で収集 |
| 90-1 木鍍銅錐乳桶 | 清代 | 銅、木製 | 高さ45cm、口径40cm | シリールンゴル盟アバガ旗で収集 |
| 90-2 紫銅乳桶 | 清代 | 銅、木製 | 高さ30cm、口径14.1cm | シリールンゴル盟アバガ旗で収集 |
| 91 双面四紋奶豆腐型 | 清代 | 木製 | 長さ22.8cm、幅6.6cm | シリールンゴル盟正鑾白旗で収集 |
| 92 岩羊(パラル羊)角長柄勺 | 清代 | 岩羊の角 | 長さ63.5cm、幅15cm | フフホト市で収集 |
| 93-1 銅製東布壺 | 清代 | 銅製 | 高さ48.7cm、底径20.3cm | フフホト市で収集 |
| 93-2 銅製方形東布壺 | 清代 | 銅製 | 高さ35cm | フフホト市で収集 |
| 93-3 描金紫漆東布壺 | 清代 | 木製 | 高さ57.6cm、口径8.7cm | フフホト市で収集 |
| 94 龍文木胎銀碗 | 清代 | 木、銀製 | 高さ6cm、口径13.4cm | シリールンゴル盟アバガ旗で収集 |
| 95 牛角杯 | 清代 | 角、銀製 | 高さ8.8~9.2cm | フフホト市で収集 |
| 96 鯊魚皮鞘多用蒙古器具 | 清代 | 銀、木、骨製 | 鞘の長さ34cm、刀の長さ26cm | オラウンチャブ市四子王旗郡王府の遺品 |
| 97 バルガ・モンゴル族の女性の服装 | 清代 | 絹、銀、宝石 | 上着の長さ136cm、両袖を広げた長さ214cm | ツルンボイル市ホーチン・バルガ旗で収集 |
| 98 ホルチン・モンゴルの女性の服装 | 清代 | 絹、銀、サンゴ | 上着の長さ137cm、両袖を広げた長さ168cm | 遼寧市ホルチン左翼中旗で収集 |
| 99 チャハル・モンゴルの女性の服装 | 清代 | 絹、銀、真珠 | 上着の長さ120cm、両袖を広げた長さ204cm | オラウンチャブ市チャハル右翼中旗で収集 |
| 100 オルドス・モンゴルの女性の服装 | 清代 | 絹、銀、サンゴ | 上着の長さ124cm、両袖を広げた長さ180cm | オルドス右翼中旗郡王府の遺物 |
| 101 ハルハ・モンゴルの女性の服装と頭飾り | 清代 | 絹、銀、サンゴ | 長さ62cm、幅32cm、高さ5.9cm | フフホト市で収集 |
| 102 面、法冠、法服 | 清代 | 銅、布 | 服の長さ130cm、両袖を広げた幅150cm | フフホト市で収集 |
| 103 神鼓と撥 | 清代 | 木、皮 | 太鼓の直径64cm、撥の長さ51cm | フルンボイル市ホーチン=バルガ旗の老シャーマンの伝世品 |
| 104 馬頭形の鞭 | 清代 | 木、鉄製 | 長さ83.5cm | フルンボイル市ホーチン=バルガ旗の老シャーマンの伝世品 |
| 105 鍍金鑲宝モンゴル刀 | 清代 | 銀、木、銅 | 長さ38.2cm | アラシャン盟で収集 |
| 106-1 銅造釈迦牟尼像 | 清代 | 銅製 | 高さ33cm、台座の長さ25cm | 包頭市で収集 |
| 106-2 銅鍍金長寿佛像 | 清代 | 銅製 | 高さ18cm、台座の長さ11.5cm、幅7cm | フフホト市で収集 |
| 106-3 銅鍍金四臂観音像 | 清代 | 銅製 | 高さ18.5cm、台座の長さ11cm | フフホト市で収集 |
| 106-4 銀鍍金明王像 | 清代 | 銅製 | 高さ21cm、台座の長さ10cm | フフホト市の清代の寺院で収集 |
| 107 獅紐活仏銅印 | 清代 | 銅製 | 高さ12.5cm、印の一辺の長さ9cm | シリールンゴル盟ドロン県で収集 |
| 108 甘珠爾経 | 清代 | 紙、木 | 高さ20cm、長さ50cm、幅25cm | 赤峰市で収集 |
| 109 紫銅大法号 | 清代 | 銅製 | 長さ225cm、口径20.5cm | フフホト市清寧照寺の所蔵品 |
| 110 龍口小法号 | 清代 | 銅製 | 長さ39cm、口径7.4cm | シリールンゴル盟貝子廟で収集 |
| 111 小太鼓 | 清代 | 木、皮 | 高さ8.3cm、直径12.3cm | シリールンゴル盟貝子廟で収集 |
| 112 銅鍍金壺水壺 | 清代 | 銅、宝石 | 高さ78cm、腹径29cm、底径26cm | フフホト市大月で収集 |
| 113 鍍金鑲宝乃翁銀冠 | 清代 | 銀、宝石 | 高さ50.5cm、直径33cm | シリールンゴル盟で収集 |
| 114 祭服用龍袍・黄緞チャム靴 | 清代 | 織子 | 上着の長さ134cm、両袖を広げた幅193cm | フフホト市で収集 |
| 115 大威徳金剛の面 | 清代 | 紙製 | 高さ80cm、幅62cm | フフホト市で収集 |
| 116 木彫り彩色上絵モンゴル将棋(シャタル) | 清代 | 木、皮製 | 将棋盤の長さ50.5cm、幅50cm | オラウンチャブ市で収集 |
| 117 龍紋彫刻馬頭琴(モリン・ホール) | 清朝 | 木、皮製 | 高さ112cm、底部幅28.5cm | 遼寧市で収集 |
| 118 モンゴル箏(ヤトガ) | 清代 | 木製 | 高さ12.5cm、長さ166cm、幅2.1cm | シリールンゴル盟で収集 |
| 119 蒙医針灸銅像 | 清代 | 銅製 | 全高67.5cm、像の高さ60.5cm | フフホト市で収集 |
| 120 鹿皮薬袋(薬匙と手術器具付き) | 清代 | 皮、銀製 | 全長107cm、幅27cm | フルンボイル市ホーチン・バルガ旗の代々モンゴル医をしている家で収集 |

【展示平面図】



ii 近くて懐かしい昭和展

【会 期】平成22年7月17日（土）～8月30日（月）

会期日数45日、展示日数39日

【主 催】山梨県立博物館、UTY テレビ山梨、近くて懐かしい昭和展
実行委員会

【企画制作】東映

【協 力】北名古屋市歴史民俗資料館

【協 賛】よっちゃん食品工業株式会社、株式会社桔梗屋

【後 援】朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【会 場】企画展示室

【入場者数】29,454人

【担 当】学芸員 小畑茂雄、丸尾依子

【概 要】

夏休み期間中の児童・生徒とその家族を主な対象とし、高度経済成長時代のわが国の暮らしや文化を学んでいただくとともに、その親、祖父母世代との交流を図る場を提供することを目的として開催した。

また、大量消費時代へと突入した我が国の当時の文化に光を当て、改めて現代の私たちにとっての「昭和」を再考し、失われてしまった当時の文化を掘り起こし、低成長時代を迎えた私たちの地域形成を考えるうえでの材料を提供することも目的とした。

関連事業として、回想法に着目して昭和の風景やモノの記憶を呼び覚ますイベントを数多く開催した。また、「私の昭和」写真募集事業を事前に実施し、県民からの多数の応募のなかから、約170点のなつかしい昭和の写真を展示した。そのほか、ロビーにミゼット、キャブライトといった昭和の町を疾走した自動車や、ちゃぶだいやお櫃、冷蔵庫などの家財道具の展示についても、多くの県民の方々からの展示協力によった。

【関連イベント】

■特別記念講演会 「昭和とおもちゃのあゆみ」

- ・日 時 平成22年8月1日（日） 午後2時～3時30分
- ・会 場 山梨県総合教育センター 大研修室（当館となり）
- ・講 師 北原照久氏（河口湖北原ミュージアム 館長）

■特別記念講演会 「昭和のキオクの宝箱」

- ・日 時 平成22年8月8日（日） 午後1時30分～3時
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 市橋芳則氏（北名古屋市歴史民俗資料館 学芸員）

■テレビ山梨 地デジ普及イベント

- ・日 時 平成22年7月31日（土）、8月1日（日） 午前11時～、午後1時～、いずれも約30分
- ・会 場 エントランスロビー 特設ステージ
- ・出 演 UTY地デジ推進大使 小田切いくみ、地デジカ ほか

■昭和の町並み探検隊

- ・日 時 平成22年7月24日（土）、8月7日（土） 午後2時から約1時間
- ・会 場 企画展示室
- ・講 師 林陽一郎氏（山梨郷土研究会 会員）



展覧会ちらし

■駄菓子屋さんであそぼう！ 紙芝居さんがやって来ます！

- ・日 時 平成22年7月25日（日）、8月22日（日）
午前10時30分から午後3時
- ・会 場 体験学習室ほか
- ・出 演 小倉功声氏



展示風景

■かいじあむ講座「昭和30年代の山梨の画像をみる」

- ・日 時 平成22年8月15日（日） 午後1時30分～3時
- ・会 場 生涯学習室
- ・講 師 小畑 茂雄（当館学芸員）

■鉄道模型公開運転大会

- ・日 時 平成22年8月21日（土）、22日（日） 午前9時～午後5時
- ・会 場 エントランスロビー 特設会場

■ギャラリートーク

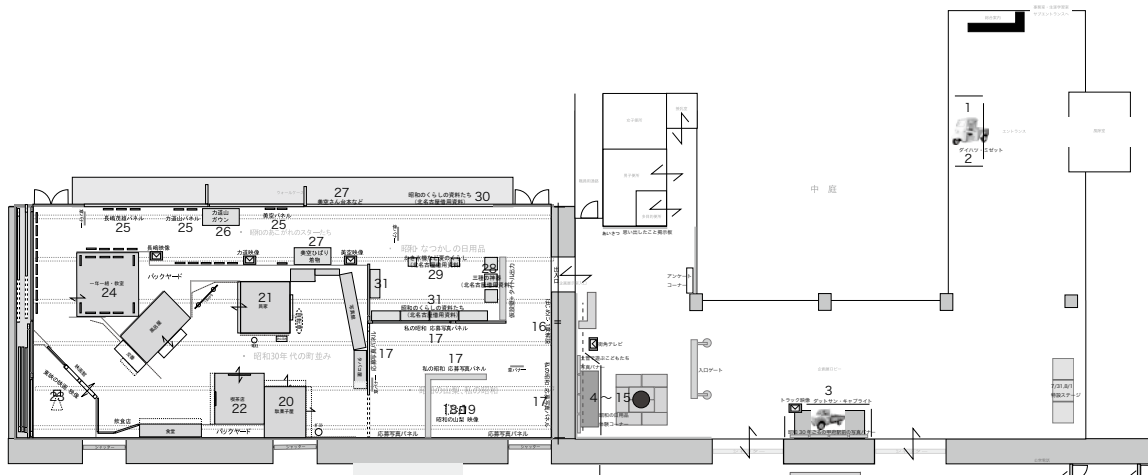
- ・日 時 平成22年7月17日（土）、31日（土）、8月15日（日）、28日（土）
午後3時から約30分
- ・講 師 小畑茂雄（当館学芸員）

※ この他の日程は、展示交流員によるガイドツアーを毎日開催。

【出品資料一覧】

| 展示コーナー | 資料名 | 年代 | 点数 | 所蔵 |
|------------------|----------------------------|-------------|-----|-------------------------------|
| ロビー展示(無料ゾーン) | | | | |
| 1・2 | ダイハツ・ミゼット | 昭和35年(1960) | 2 | 個人 |
| 3 | ダットサン・キャブライト | 昭和35年(1960) | 1 | 個人 |
| 4 | 昭和の生活道具(ちゃぶ台) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 5 | 昭和の生活道具(お茶碗) | 昭和 | 4 | 個人 |
| 6 | 昭和の生活道具(お櫃) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 7 | 昭和の生活道具(茶筆筒) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 8 | 昭和の生活道具(白黒テレビ) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 9 | 昭和の生活道具(電気洗濯機) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 10 | 昭和の生活道具(時計) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 11 | 昭和の生活道具(扇風機) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 12 | 昭和の生活道具(魔法瓶) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 13 | 昭和の生活道具(真空管ラジオ) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 14 | 昭和の生活道具(手動洗濯機) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 15 | 昭和の生活道具(蓄音機) | 昭和 | 1 | 個人 |
| 1. 昭和の山梨、私の昭和 | | | | |
| 16 | 昭和の山梨を描いた絵 | 昭和 | 14 | 個人 |
| 17 | 昭和の山梨を撮した写真 | 昭和 | 168 | 個人 |
| 18 | 昭和の山梨の映像(1) | 昭和 | 1 | テレビ山梨 |
| 19 | 昭和の山梨の映像(2) | 昭和 | 1 | 山梨県立図書館 |
| 2. 昭和の町並み再現 | | | | |
| 20 | 昭和の町並みセット・生活資料(駄菓子屋さん) | 昭和 | 1式 | 東映 |
| 21 | 昭和の町並みセット・生活資料(お茶の間) | 昭和 | 1式 | 東映 |
| 22 | 昭和の町並みセット・生活資料(喫茶店) | 昭和 | 1式 | 東映 |
| 23 | 昭和の町並みセット・映画映像(映画館) | 昭和 | 1式 | 東映 |
| 24 | 教室一熊谷元一写真展 ピッカピカの1年生一 | 昭和 | 1式 | 個人 |
| 3. 昭和のあこがれのスターたち | | | | |
| 25 | スターたちの肖像(長嶋茂雄・力道山・美空ひばり写真) | 昭和 | 3式 | 東京読売巨人軍・リキエンタープライズ・ひばりプロダクション |
| 26 | ゆかりの品(力道山) | 昭和 | 1式 | リキエンタープライズ |
| 27 | ゆかりの品(美空ひばり) | 昭和 | 1式 | ひばりプロダクション |
| 4. 昭和・なつかしの日用品 | | | | |
| 28 | 三種の神器 | 昭和 | 3 | 北名古屋歴史民俗資料館 |
| 29 | 日本の夏の日用品 | 昭和 | 1式 | 北名古屋歴史民俗資料館 |
| 30 | ちゃぶ台と食事の日用品 | 昭和 | 1式 | 北名古屋歴史民俗資料館 |
| 31 | 子どもたちのあそび | 昭和 | 1式 | 北名古屋歴史民俗資料館 |

【展示平面図】



iii 開館5周年記念特別展 甲斐源氏—列島を駆ける武士団—

【会 期】平成22年10月9日（土）から同年12月6日（月）まで
会期59日、展示日数51日

【主 催】山梨県立博物館、NHK甲府放送局、財団法人自治総合センター

【後 援】朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【協 力】社団法人やまなし観光推進機構、山梨県中小企業団体中央会

【会 場】企画展示室

【入場者数】12,553人

【担 当】学芸員 西川広平、近藤暁子

【概 要】

平安時代後期、東北地方で繰り広げられた後三年合戦において、兄 源義家を助けて活躍した武将 源義光（新羅三郎）。その子孫である甲斐源氏は、義光の権威と甲斐国で育まれた実力をもとにして源平合戦で活躍し、やがて鎌倉・室町時代の名門の武家として広く全国に展開することになった。本企画展では、彼らのルーツと山梨内外における足跡をたどり、小笠原流礼法など、今もなお日本人の生活文化の中に受け継がれている彼らの伝統を紹介した。

【関連イベント】

■開館5周年記念講演会「甲斐源氏の世界」

- ・主 催 山梨県立博物館、山梨郷土研究会、武田氏研究会
- ・講 師 小笠原敬承斎 氏（小笠原流礼法宗家）
野 口 実 氏（京都女子大学教授）
守 屋 正 彦 氏（筑波大学教授）

パネルディスカッションの内容は54頁参照

- ・日 時 平成22年10月30日（土）午後1時より午後5時まで
- ・場 所 山梨県総合教育センター 大研修室

■かいじあむ講座「鎌倉武士の名門 甲斐源氏」

- ・講 師 西川広平（学芸員）



展覧会ちらし

- ・日 時 平成22年10月23日（土）午前10時から午前11時まで
- ・場 所 生涯学習室

■かいじあむ古文書講座「甲斐源氏ゆかりの古文書を読む」

- ・講 師 西川広平（学芸員）
- ・日 時 平成22年11月13日（土）
午後1時30分から午後3時まで
- ・場 所 生涯学習室



展示風景

■やまなし再発見講座「甲斐源氏と山梨」

- ・主 催 山梨県立博物館、山梨県生涯学習推進センター
- ・講 師 平山 優（副主幹）、海老沼真治（学芸員）、西川広平（同）、近藤暁子（同）
- ・日 時 平成22年10月7日（木）、14日（木）、21日（木）、28日（木）
午後2時から午後4時まで、合計4回開催
- ・場 所 山梨県生涯学習推進センター

■笛吹市民講座「甲斐源氏—列島を駆ける武士団—」

- ・主 催 山梨県立博物館、笛吹市教育委員会
- ・講 師 近藤暁子（学芸員）、西川広平（同）
- ・日 時 平成22年11月25日（木）、12月2日（木）午後1時30分から午後3時まで
- ・場 所 生涯学習室、体験学習室

■かいじあむ子ども工房「甲斐源氏の大鎧をつくる」

- ・日 時 平成22年10月24日（日）、11月28日（土）午前10時30分から午後3時まで
- ・場 所 体験学習室

■体験！小笠原流礼法

- ・講 師 吉澤菱久 氏（小笠原流礼法宗家本部総師範）
- ・日 時 平成22年11月7日（日）午後1時30分から午後3時まで
- ・場 所 生涯学習室

■ゆかりの地ツアー「甲斐源氏の足跡を追う」

- ・日 時 平成22年10月23日（土）安田義定ゆかりの地バスツアー
11月23日（火・祝）南部氏ゆかりの地バスツアー

■学芸員によるギャラリー・トーク

- ・日 時 平成22年10月9日（土）、16日（土）、17日（日）、23日（土）、31日（日）
11月6日（土）、7日（日）、13日（土）、14日（日）、21日（日）、27日（土）
12月4日（土）、5日（日）
午後3時から午後4時まで

※ その他の開館日にも展示交流員によるガイドツアーを実施

午後3時から午後3時30分まで

【出品資料一覧】

●国宝 ◎重要文化財 ○県指定文化財 ◇市町村指定文化財

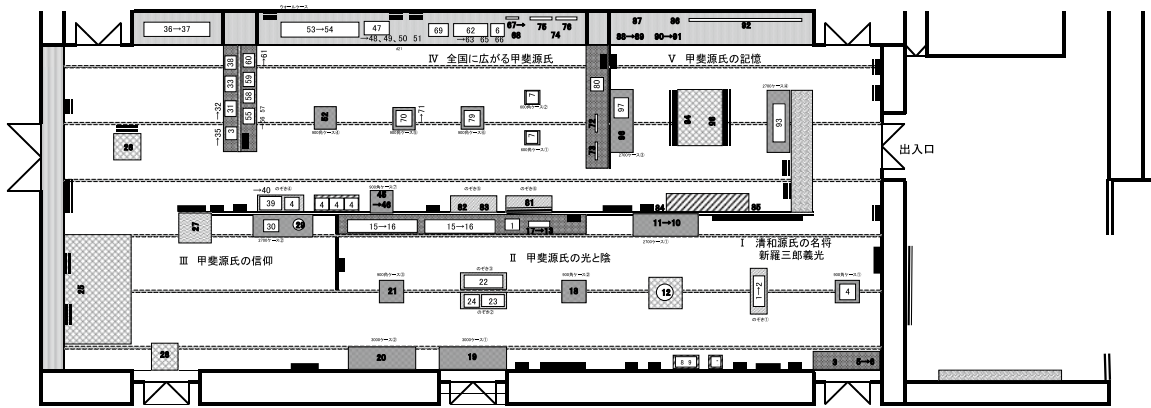
| 番号 | 指定 | 資料名 | 員数 | 所蔵者 | 材質技法 | 時代(世紀・制作年) | 展示期間 |
|--------------------|----|----------------|----|----------|------|-----------------|---------------------|
| 第I章 清和源氏の名将 新羅三郎義光 | | | | | | | |
| 1 | ◎ | 後三年合戦絵巻 巻上 | 一巻 | 東京国立博物館 | 紙本著色 | 南北朝時代 1347年 | H22.10.9～11.19 巻替あり |
| 2 | | 後三年軍記 巻下 模本 | 一巻 | 東京国立博物館 | 紙本著色 | 明治時代 19世紀 | H22.11.20～12.6 |
| 3 | ◇ | 八幡太郎義家・新羅三郎義光像 | 二幅 | 秋田県 天徳寺 | 絹本著色 | 戦国・江戸時代 16～17世紀 | |
| 4 | | 小椋韋威鎧 兜・大袖付復元品 | 一領 | 山梨県立博物館 | | 現代 | |
| 5 | | 新羅明神像 | 一幅 | 滋賀県 園城寺 | 絹本著色 | 室町時代 14～15世紀 | H22.10.9～11.8 |
| 6 | | 新羅明神像 | 一幅 | 大津市歴史博物館 | 絹本著色 | 南北朝時代 14世紀 | H22.11.10～12.6 |

第Ⅱ編 事業・諸活動

| 番号 | 指定 | 資料名 | 員数 | 所蔵者 | 材質技法 | 時代(世紀・制作年) | 展示期間 |
|-----------------------|----|---------------------|----------|----------------|--------------|-----------------|---------------------|
| 第Ⅱ章 甲斐源氏の光と陰 | | | | | | | |
| 7 | | 今昔物語集 卷二十五 | 一冊 | 東京大学文学部 | 紙本墨書 | 江戸時代 | |
| 8 | | 武田石高遺跡・武田西瑠遺跡出土品 | 二〇点 | ひたちなか市教育委員会 | 土師器・須恵器 | 平安時代 8～10世紀 | |
| 9 | | 武田東畑遺跡出土品 | 一六点 | 蕪崎市教育委員会 | 土師器・陶磁器・水晶 | 平安・鎌倉時代 12～13世紀 | |
| 10 | ◇ | 源義光・加賀美遠光・武田信玄坐像 | 三軀 | 山梨県 大聖寺 | 木造 玉眼 彩色 | 江戸時代 17世紀 | H22.11.10～12.6 |
| 11 | ◇ | 源義光・加賀美遠光・武田信玄像 | 三面 | 山梨県 大聖寺 | 絹本着色 | 江戸時代 | H22.10.9～11.8 |
| 12 | ○ | 銅鐘 | 一口 | 山梨県 放光寺 | 銅製鑄造 | 平安・鎌倉時代 1191年 | |
| 13 | | 新刊 吾妻鏡 卷第一 | 一冊 | 山梨県立博物館 | 版本 | 江戸時代 1626年 | H22.11.1～12.6 |
| 14 | | 平家物語絵本 第五 | 一冊 | 東京都 明星大学 | 紙本着色 金砂子 | 江戸時代 | H22.10.9～11.8 |
| | | 平家物語絵本 第十一 | 一冊 | 東京都 明星大学 | 紙本着色 金砂子 | 江戸時代 | H22.11.10～12.6 |
| 15 | | 源平合戦図屏風 | 六曲 一双 | 山梨県立博物館 | 紙本金地著色 | 江戸時代 17世紀 | H22.10.9～11.8 |
| 16 | | 曾我物語図屏風 | 六曲 一双 | 山梨県立博物館 | 紙本金地著色 | 江戸時代 17世紀 | H22.11.10～12.6 |
| 17 | ◇ | 大般若波羅蜜多經 卷二百二十 | 一卷 | 滋賀県 柳瀬在地 | 紙本墨書 | 平安時代 1188年 | H22.10.9～10.31 |
| 18 | ○ | 銅製経筒及び付属品 | 一〇点 | 山梨県 秋山富士夫氏 | 銅製 鉄製 陶製 | 鎌倉時代 1197年 | |
| 19 | ○ | 源頼朝坐像 | 一軀 | 山梨県 善光寺 | 木造 玉眼(欠失) 彩色 | 鎌倉時代 13～14世紀 | |
| 20 | ◇ | 源実朝坐像 | 一軀 | 山梨県 善光寺 | 木造 玉眼 彩色 | 鎌倉時代 13～14世紀 | |
| 21 | ◎ | 阿弥陀如来坐像 | 一軀 | 東京都 百草八幡神社 | 銅製 一部彩色 | 鎌倉時代 1250年 | |
| 22 | ◎ | 大般若波羅蜜多經 卷四十 | 一冊 | 山梨県 法善寺 | 紙本墨書 | 鎌倉時代 1254年 | H22.10.9～11.8 |
| | ◎ | 大般若波羅蜜多經 卷百九十四 | 一冊 | 山梨県 法善寺 | 紙本墨書 | 鎌倉時代 1254年 | H22.11.10～12.6 |
| 23 | | 六条八幡宮造管注文 | 一通 | 千葉県 国立歴史民俗博物館 | 紙本墨書 | 鎌倉時代 1275年 | H22.10.9～10.18 |
| 24 | ○ | 関東下知状(大善寺文書) | 一通 | 山梨県 大善寺 | 紙本墨書 | 鎌倉時代 1326年 | |
| 第Ⅲ章 甲斐源氏の信仰 | | | | | | | |
| 25 | ◎ | 阿弥陀如来及兩脇侍像 | 三軀 | 山梨県 願成寺 | 木造 漆箔 | 平安時代 12世紀 | |
| 26 | ◎ | 不動明王坐像 | 一軀 | 山梨県 大聖寺 | 木造 彩色 | 平安時代 11世紀 | |
| 27 | ◇ | 毘沙門天立像 | 一軀 | 山梨県 放光寺 | 木造 彩色 | 平安・鎌倉時代 12～13世紀 | |
| 28 | ◇ | 多聞天立像 | 一軀 | 山梨県 大福寺 | 木造 彩色 | 平安時代 12世紀 | |
| 29 | ○ | 阿弥陀三尊像懸仏 | 一面 | 山梨県 法善寺 | 銅製鍍金 一部彩色 | 鎌倉時代 1290年 | |
| 30 | ○ | 僧形八幡神像 | 一面 | 山梨県 法善寺 | 板絵著色 | 室町時代 1461年 | |
| 31 | | 曼荼羅本尊 日蓮筆 | 一幅 | 山梨県 妙了寺 | 紙本墨書 | 鎌倉時代 1280年 | H22.10.9～11.8 |
| 32 | | 曼荼羅本尊 日蓮筆 | 一幅 | 山梨県 本遠寺 | 紙本墨書 | 鎌倉時代 13世紀 | H22.11.10～12.6 |
| 33 | | 日蓮聖人像(波木井御影) | 一面 | 山梨県 久遠寺 | 紙本着色 | 室町時代 16世紀 | |
| 34 | ○ | 大円禪師像 | 一幅 | 山梨県 松泉寺 | 絹本着色 | 南北朝時代 1393年 | H22.10.9～11.8 |
| 35 | ◇ | 不動明王像 龍湫周沢筆 | 一幅 | 山梨県 一蓮寺 | 絹本墨画 | 南北朝時代 14世紀 | H22.11.10～12.6 |
| 36 | ◎ | 遊行上人絵 卷第八 | 一卷 | 山形県 光明寺 | 紙本着色 | 桃山時代 1594年 | H22.10.9～11.8 卷替あり |
| 37 | ○ | 遊行上人縁起絵(一遍上人縁起絵)卷第八 | 一卷 | 神奈川県 清浄光寺(遊行寺) | 紙本着色 | 室町・江戸時代 15～17世紀 | H22.11.10～12.6 卷替あり |
| 38 | ○ | 一蓮寺過去帳 僧帳 | 一冊 | 山梨県 一蓮寺 | 紙本墨書 | 室町・江戸時代 15～17世紀 | |
| 第Ⅳ章 全国に広がる甲斐源氏 | | | | | | | |
| 39 | ● | 関東御教書案(東寺百合文書) | 一通 | 京都府立総合資料館 | 紙本墨書 | 鎌倉時代 1274、1275年 | H22.10.9～11.8 |
| 40 | ● | 関東御教書案(東寺百合文書) | 一通 | 京都府立総合資料館 | 紙本墨書 | 鎌倉時代 1275、1276年 | H22.11.12～12.6 |
| 41 | ○ | 武田信武施行状(大善寺文書) | 一通 | 山梨県 大善寺 | 紙本墨書 | 南北朝時代 1357年 | |
| 42 | | 武田信賢禁制(妙興寺文書) | 一通 | 福井県 妙興寺 | 紙本墨書 | 室町時代 1455年 | H22.10.9～11.8 |
| 43 | | 武田国信禁制(妙興寺文書) | 一通 | 福井県 妙興寺 | 紙本墨書 | 室町時代 1483年 | H22.11.10～12.6 |
| 44 | | 武田信豊書状(本境寺文書) | 一通 | 福井県 本境寺 | 紙本墨書 | 戦国時代 1550年 | |
| 45 | ○ | 武田信高像 | 一幅 | 福井県 龍泉寺 | 絹本着色 | 戦国時代 16世紀 | H22.10.9～11.8 |
| 46 | ○ | 武田信方像 | 一幅 | 福井県 龍泉寺 | 絹本着色 | 江戸時代 1603年 | H22.11.10～12.6 |
| 47 | | 小笠原長基自筆讓状(小笠原家文書) | 一通 | 東京大学史料編纂所 | 紙本墨書 | 南北朝時代 1383年 | H22.10.9～10.22 |
| 48 | | 足利義詮御判御教書(小笠原家文書) | 一通 | 東京大学史料編纂所 | 紙本墨書 | 南北朝時代 1356年 | H22.10.23～11.5 |
| 49 | | 足利義持御内書(小笠原家文書) | 一通 | 東京大学史料編纂所 | 紙本墨書 | 室町時代 1418年 | H22.10.23～11.5 |
| 50 | ○ | 小笠原長秀書下(市河家文書) | 一通 | 山梨県立博物館 | 紙本墨書 | 室町時代 1400年 | H22.11.6～12.6 |
| 51 | ○ | 小笠原長秀書下(市河家文書) | 一通 | 山梨県立博物館 | 紙本墨書 | 室町時代 1400年 | H22.11.6～12.6 |
| 52 | ○ | 阿弥陀如来及兩脇侍像 | 三軀 | 長野県 大雄寺 | 銅造鍍金 | 鎌倉時代 13世紀 | |
| 53 | ● | 一遍聖絵 卷第四 | 一卷 | 神奈川県 清浄光寺(遊行寺) | 絹本着色 | 鎌倉時代 1299年 | H22.10.27～11.8 |

| 番号 | 指定 | 資料名 | 員数 | 所蔵者 | 材質技法 | 時代(世紀・制作年) | 展示期間 |
|--------------------|----|------------------------|-----|-----------------------|------------|-----------------|----------------------------------|
| | | 一遍聖絵 巻第四(複製品) | 一卷 | 長野県立歴史館 | | | H22.10.9~10.25 H22.11.10~12.6 |
| 54 | | 一遍聖絵 巻第五(複製品) | 一卷 | 長野県立歴史館 | | | H22.10.9~10.25 H22.11.10~12.6 |
| 55 | | 三好長慶像 模本 | 一幅 | 東京大学史料編纂所 | 紙本着色 | 近代 | H22.10.9~10.22 |
| 56 | ○ | 三好長輝(之長)像 | 一幅 | 徳島県 見性寺 | 絹本着色 | 戦国時代 1526年 | H22.10.23~12.6 |
| 57 | ○ | 三好長基(元長)像 | 一幅 | 徳島県 見性寺 | 絹本着色 | 戦国時代 1533年 | H22.10.23~12.6 |
| 58 | ◇ | 三好元長寄進状(見性寺文書) | 一通 | 藍住町教育委員会 | 紙本墨書 | 戦国時代 1527年 | |
| 59 | ◇ | 三好千熊丸・千満丸寄進状(見性寺文書) | 一通 | 藍住町教育委員会 | 紙本墨書 | 戦国時代 1532年 | |
| 60 | ◇ | 小笠原長時書状(本山寺文書) | 一通 | 大阪府 本山寺 | 紙本墨書 | 戦国時代 1561年 | H22.10.9~11.8 |
| 61 | ◇ | 小笠原貞虎書状(本山寺文書) | 一通 | 大阪府 本山寺 | 紙本墨書 | 戦国時代 1561年 | H22.11.10~12.6 |
| 62 | ◎ | 南部時長・師行・政長陳状案(根城南部家文書) | 一通 | 東京都 南部光徹氏 | 紙本墨書 | 南北朝時代 1333年 | H22.10.9~11.8 |
| 63 | ◎ | 後醍醐天皇繪旨(根城南部家文書) | 一通 | 東京都 南部光徹氏 | 紙本墨書 | 南北朝時代 1334年 | H22.11.10~12.6 |
| 64 | ◎ | 浅利清連注進状(根城南部家文書) | 一通 | 東京都 南部光徹氏 | 紙本墨書 | 南北朝時代 1338年 | H22.10.9~11.8 |
| 65 | ◎ | 南部政長議状(根城南部家文書) | 一通 | 東京都 南部光徹氏 | 紙本墨書 | 南北朝時代 1350年 | H22.11.10~12.6 |
| 66 | ◎ | 南部政長議状(根城南部家文書) | 一通 | 東京都 南部光徹氏 | 紙本墨書 | 南北朝時代 1350年 | H22.11.10~12.6 |
| 67 | | 北畠顯家御教書(盛岡藩南部家文書) | 一通 | 盛岡市中央公民館 | 紙本墨書 | 南北朝時代 1335年 | H22.10.9~11.8 |
| 68 | | 足利直義御教書(盛岡藩南部家文書) | 一通 | 盛岡市中央公民館 | 紙本墨書 | 南北朝時代 1346年 | H22.11.10~12.6 |
| 69 | | 南部家歴代当主像 | 一卷 | 盛岡市中央公民館 | 紙本着色 | 江戸時代 18世紀 | |
| 70 | ● | 白糸威褰取鑑 兜・大袖付 | 一領 | 青森県 櫛引八幡宮 | | 南北朝時代 14世紀 | H22.10.9~11.8 |
| 71 | ◎ | 白糸威肩赤胴丸 兜・大袖付 | 一領 | 青森県 櫛引八幡宮 | | 室町時代 1417年 | H22.11.10~12.6 |
| 72 | | 太刀 無銘(伝一文字) | 一振 | 岩手県立博物館 | 鉄製 | 鎌倉時代 | |
| 73 | ○ | 太刀 銘備州長船幸光 | 一振 | 青森県 櫛引八幡宮 | 鉄製 | 南北朝時代 1382年 | |
| 74 | | 世平弓 | 一張 | 東京都 南部光徹氏 | 木製 漆塗 | 室町時代 | |
| 75 | | 光明点題目大幡 | 一旗 | 東京都 南部光徹氏 | 絹製 | 江戸時代 | |
| 76 | | 七面天女示現陣中守護之大幡 | 一旗 | 東京都 南部光徹氏 | 絹製 | 江戸時代 | |
| 77 | | 家紋散蒔絵薬箱 | 一合 | 盛岡市中央公民館 | 木製 漆塗 | 江戸時代 | |
| 78 | | 家紋散蒔絵刀架 | 一基 | 盛岡市中央公民館 | 木製 漆塗 | 江戸時代 | |
| 79 | | 本小札白糸威二枚胴具足 | 一領 | 岩手県立博物館 | | 江戸時代 17世紀 | |
| 80 | | 南部家定紋散陣羽織 | 一領 | 盛岡市中央公民館 | 絹製 | 江戸時代 18~19世紀 | |
| 81 | ◎ | 勝山館跡出土品 | 八三点 | 上ノ国町教育委員会 | 陶磁器 骨格製品など | 室町・戦国時代 15~16世紀 | |
| 82 | | 新刊 吾妻鏡 巻第四 | 一冊 | 山梨県立博物館 | 版本 | 江戸時代 1626年 | |
| 83 | | 新羅之記録 写本(近藤家資料) | 一冊 | 北海道開拓記念館 | 紙本墨書 | 江戸時代 | |
| 第V章 甲斐源氏の記憶 | | | | | | | |
| 84 | | 清和源氏武田流甲斐国主系図 | 一卷 | 奈良県 柳沢文庫 | 紙本墨書 | 江戸時代 18世紀 | |
| 85 | ◇ | 甲斐源氏系図 | 一卷 | 山梨県 大聖寺 | 紙本墨書 | 江戸時代 17世紀 | |
| 86 | | 武田元光像(犬追物検見之像)(複製品) | 一幅 | 福井県立若狭歴史民俗資料館 | | | |
| 87 | | 加賀美遠光・小笠原長清・小笠原貞宗像 | 二幅 | 福井県 開善寺 | 絹本着色 | 江戸時代 | |
| 88 | | 小笠原流(水鳥流)故実伝書 | 一卷 | 山梨県立博物館 | 紙本墨書 彩色 | 江戸時代 1682年 | H22.10.9~11.8 |
| 89 | | 四季扶物之事 | 一卷 | 山梨県立博物館 | 紙本墨書 彩色 | 江戸時代 1626年 | H22.11.10~12.6 |
| 90 | | 加賀美流打毬諸具之巻(八戸藩南部家文書) | 一卷 | 八戸市博物館 | 紙本墨書 | 江戸時代 1828年 | H22.11.10~12.6 |
| 91 | | 加賀美流犬追物(八戸藩南部家文書) | 一卷 | 八戸市博物館 | 紙本墨書 | 江戸時代 1828年 | H22.10.9~11.8 |
| 92 | | 犬追物図(八戸藩南部家文書) | 一鋪 | 八戸市博物館 | 紙本着色 | 江戸時代 19世紀 | |
| 93 | ○ | 赤地御紋散錦打毬装束 | 一領 | 盛岡市中央公民館 | 絹製 | 江戸時代 18~19世紀 | |
| 94 | ○ | 小倉藩相伝 小笠原流流鏑馬 | | 福岡県 流鏑馬武徳会 宗家 源長統 | | 現代 | |
| 95 | ○ | 加賀美流騎馬打毬 | | 青森県 長者山新羅神社 同 八戸騎馬打毬会 | | 現代 | |
| 96 | ○ | 一戸城跡出土馬焼印 | 二点 | 一戸町教育委員会 | 鉄製 | 戦国時代 16世紀 | |
| 97 | | 木崎野牧図(盛岡藩南部家文書) | 一鋪 | 盛岡市中央公民館 | 紙本墨書 彩色 | 江戸時代 | |

【展示平面図】



②シンボル展

i 実在した山本菅助

【会 期】平成22年6月5日（土）から同年7月5日（月）まで
会期日数31日、公開日数27日

【主 催】山梨県立博物館

【入場者数】4,651人

【担 当】学芸員 海老沼真治、副主幹 平山 優

【概 要】

山本菅助に関する新発見の古文書「真下家所蔵文書」や、新収蔵資料「市河家文書」の山本菅助関係資料を中心として、明らかとなった事実や、古文書を伝えた山本家の歴史を通して、武田信玄の家臣として実在した「山本菅助」の実像を紹介した。

【関連イベント】

■シンポジウム「山本菅助再考」

- ・日 時 平成22年6月27日（日）午後1時～午後4時30分
- ・会 場 山梨県総合教育センター 大研修室
内容は54ページ参照

■ギャラリートーク

- ・日 時 期間中毎日開催（平成22年6月19日、27日をのぞく）

■「かんすけ君」がやってくる！

- ・日 時 期間中毎週土曜日 午後3時～午後3時30分
- ・場 所 博物館ロビー周辺
- ・協 力 NHK甲府放送局

【出品資料一覧】

○県指定文化財 ◇市町村指定文化財

| No. | 資料名 | 員数 | 指定 | 年代 | 月日 | 形態 | 法量(縦×横cm) | 所蔵先 |
|------------------|-------------------|----|----|-------------|-------|-------|-----------|----------|
| 序章 実在か、架空か | | | | | | | | |
| 1 | 田中義成「甲陽軍鑑考」 | 1点 | | 明治24年(1891) | | 図書 | | 個人 |
| 2 | 奥野高広「武田信玄」 | 1点 | | 昭和34年(1959) | | 図書 | | 個人 |
| 3 | 甲陽軍鑑 | 1冊 | | 江戸時代 | | 縦巻 | 26.6×19.9 | 山梨県立博物館 |
| 4 | 甲越武勇伝 山本勘介晴幸入道道鬼斎 | 1点 | | 江戸時代 | | 木版多色摺 | 16.0×11.0 | 山梨県立博物館 |
| 第1章 市河家文書の中の山本菅助 | | | | | | | | |
| 5 | 武田晴信書状(市河藤若宛) | 1点 | ○ | 弘治3年(1557) | 6月23日 | 縦紙 | 28.0×40.8 | 山梨県立博物館 |
| 6 | 武田晴信書状写(市河藤若宛) | 1点 | ○ | 弘治3年(1557) | 6月15日 | 縦紙 | 32.1×38.8 | 山梨県立博物館 |
| 7 | 武田晴信感状(三井助七郎宛) | 1点 | | 弘治3年(1557) | 3月10日 | 切紙 | 19.3×46.3 | 個人(当館寄託) |
| 8 | 武田晴信感状(三井助七郎宛) | 1点 | | 弘治3年(1557) | 7月11日 | 切紙 | 19.4×40.4 | 個人(当館寄託) |
| 第2章 真下家所蔵文書の発見 | | | | | | | | |
| 9 | 武田晴信判物(山本菅介宛) | 1点 | | 天文17年(1548) | 卯月吉日 | 折紙 | 30.3×46.5 | 個人 |
| 10 | 武田晴信書状(山本菅助宛) | 1点 | | 戦国時代 | 卯月20日 | 折紙 | 29.7×45.5 | 個人 |
| 11 | 武田家朱印状(山本菅助宛) | 1点 | | 永禄11年(1568) | 6月7日 | 折紙 | 30.1×43.7 | 個人 |



展覧会ちらし



展示風景

| No. | 資料名 | 具数 | 指定 | 年代 | 月日 | 形態 | 法量(縦×横cm) | 所蔵先 |
|------------------------|----------------------|-----|--------|--------------|-----------------------|----------------|-------------------------------------|---------------|
| 12 | 武田家朱印状(山本十左衛門尉宛) | 1点 | | 天正4年(1576) | 5月12日 | 縦紙 | 31.5×41.4 | 個人 |
| 13 | 結城秀康判物(山本平一宛) | 1点 | | 江戸時代初期 | 6月26日 | 縦紙 | 34.4×46.5 | 個人 |
| 14 | 徳川家朱印状(山本十左衛門宛) | 1点 | | 天正10年(1582) | 9月5日 | 切紙(元折紙) | 15.6×44.4 | 個人 |
| 15 | 徳川家朱印状(山本十左衛門宛) | 1点 | | 天正11年(1583) | 閏正月14日 | 縦紙 | 33.2×51.0 | 個人 |
| 16 | 武田晴信感状(内田清三宛) | 1点 | | 天文16年(1547) | 8月11日 | 切紙 | 18.6×45.7 | 個人 |
| 17 | 勝山古記 | 1冊 | | 江戸時代 | | 縦帳 | 27.5×19.0 | 個人 |
| 18 | 武田晴信判物(大須賀久兵衛尉宛) | 1点 | | 天文22年(1553) | 9月21日 | 折紙 | 30.9×47.8 | 個人 |
| 19 | 武田晴信自筆書状(長坂虎房・日向虎頭宛) | 1点 | | 戦国時代 | 卯月13日 | 縦紙 | 29.6×41.8 | 長野市立博物館 |
| 20 | 武田家朱印状(初鹿野伝右衛門尉宛) | 1点 | ◇ | 天正4年(1576) | 5月12日 | 縦紙 | 31.8×41.6 | 個人 |
| 21 | 甲斐国志 卷九十六、百九 | 2冊 | | 江戸時代 | | 縦帳 | 26.7×18.4 | 山梨県立博物館 |
| 22 | 徳川家朱印状 | 3点 | ○ ○ | 天正10年(1582) | 8月5日 12月5日 9月5日 | 折紙 縦紙 折紙 | 31.9×46.7 31.5×43.4 31.0×43.5 | 山梨県立博物館 |
| 23 | 武田晴信判物写他 | 4点 | | 天文17年(1548)他 | | 卷子 | 35.0×138.0 | 個人 |
| 第3章 江戸時代の山本菅助 | | | | | | | | |
| 24 | 大須賀康高黒印状(山本十右衛門宛) | 1点 | | 天正10年(1582) | 6月22日 | 折紙 | 29.6×48.9 | 個人 |
| 25 | 天正壬午起請文 | 1点 | | 江戸時代 | | 卷子 | | 恵林寺(信玄公宝物館保管) |
| 26 | 道鬼ヨリ某迄四代相統仕候覚 | 1点 | | 江戸時代(17世紀後半) | | 卷子 | 32.4×45.7 | 個人 |
| 27 | 山本家由緒書控 | 1点 | | 江戸時代(17世紀後半) | | 折紙紙背 | 30.6×43.0 | 個人 |
| 28 | 御証文之覚 | 1点 | | 江戸時代(17世紀後半) | | 継紙 | 31.7×129.6 | 個人 |
| 29 | 五左衛門覚書(山本菅助宛) | 1点 | | 延宝3年ヨ(1675) | 10月29日 | 継紙 | 27.8×61.8 | 個人 |
| 30 | 佐川田山三郎書状(山本三郎右衛門宛) | 1点 | | 寛永10年(1633) | 5月8日 | 切継紙(元折紙) | | 個人 |
| 31 | 佐川田山三郎書状(平岡二郎右衛門宛) | 1点 | | 寛永10年(1633) | 5月8日 | 切継紙(元折紙) | | 個人 |
| 32 | 日向盛庵書状(山本三郎右衛門宛) | 1点 | | 寛永10年(1633) | 6月21日 | 切継紙(元折紙) | | 個人 |
| 33 | 永井尚政書状(平岡次郎右衛門宛) | 1点 | | 寛永10年(1633) | 6月21日 | 折紙 | 32.9×45.2 | 個人 |
| 34 | 武田信玄百回忌奉加帳 | 1点 | | 寛文12年(1672) | | 折本 | | 恵林寺(信玄公宝物館保管) |
| 35 | 天野長重書状(山本菅助宛) | 1点 | | 貞享元年ヨ(1684) | 11月7日 | 切紙 | 16.9×47.7 | 個人 |
| 36 | 高崎藩士家格・家筋並びに名字断絶者一覽 | 1点 | | 江戸時代 | | 縦帳 | 25.4×35.5 | 個人 |
| 37 | 平岡二郎右衛門和由像 | 1点 | ◇ | 江戸時代 | | 木造 | | 浄居寺 |
| 38 | 武田信貞書状(永井甲斐守宛) | 1点 | | 江戸時代(17世紀後半) | 6月17日 | 縦紙 | 35.1×48.8 | 個人 |
| 39 | 松平輝貞書状(山本菅助宛) | 1点 | | 元禄5年(1692) | 3月10日 | 小切紙 | 15.6×23.7 | 個人 |
| 40 | 土浦城古土居新土居郭切間数之覚 | 1点 | | 江戸時代 | | 切紙 | 19.1×43.4 | 個人 |
| 41 | 松平輝貞判物(山本十左衛門宛) | 1点 | | 江戸時代(17世紀後半) | 9月8日 | 切継紙 | | 個人 |
| 42 | 高崎城大意 | 1点 | | 江戸時代 | | 縦帳 | 27.9×35.5 | 個人 |
| 43 | 山本菅助晴貞所用の甲冑 | 1点 | | 江戸時代 | | 甲冑 | | 個人 |
| 44 | 山本家の旗指物類 | 5点 | | 江戸時代 | | 旗 | | 個人 |
| 45 | 山本菅助正幸、晴方等旗印 | 1冊 | | 江戸時代 | | 縦帳 | 25.4×15.5 | 個人 |
| 46 | 百足の蔵書印 | 1冊 | | 江戸時代 | | 縦帳 | 28.0×35.7 | 個人 |
| 第4章 『甲陽軍鑑』と山本菅助 | | | | | | | | |
| 47 | 近藤忠重書状(山本三郎右衛門宛) | 1点 | | 江戸時代(寛永3～9頃) | 3月21日 | 横帳 | 15.6×41.4 | 個人 |
| 48 | 横山外記殿へ口上之覚(児玉勘左衛門宛) | 1点 | | 江戸時代 | | 縦紙 | 32.4×55.0 | 個人 |
| 49 | 小幡景憲印可状(山本菅助宛) | 1点 | | 万治3年(1660) | 8月吉日 | 折紙 | 45.7×64.5 | 個人 |
| 50 | 小幡景憲書状(山本勘助宛) | 1点 | | 江戸時代(1662以前) | 8月14日 | 縦紙 | 32.3×45.7 | 個人 |
| 51 | 縄張櫓古図 山本菅助作 | 5点 | | 宝暦4年～(1754) | | | | 個人 |
| 52 | 江戸藩邸御用取次年中行事勅方覚書 | 1点 | | 江戸時代 | | 縦帳 | 23.6×30.3 | 高崎市立図書館 |
| 53 | 甲陽軍鑑(無刊記十一行本) | 23冊 | | 江戸時代 | | 縦帳 | 26.6×19.0 | 山梨県立博物館 |
| 54 | 山本勘助像 | 1点 | | 江戸時代 | | 紙本著色 | 54.5×33.0 | 山梨県立博物館 |
| 55 | 刺繍摩利支天像 | 1点 | | 江戸時代 | | 紙本刺繍 | 33.4×19.3 | 個人 |

【展示平面図】



ii 特別公開 新指定重要文化財 法然上人絵伝

【会 期】平成22年9月18日（土）から同年9月26日（日）まで
会期日数9日 展示日数8日

【主 催】山梨県立博物館

【入場者数】1,442名

【担当者名】学芸員 井澤英理子

【概 要】

県立博物館所蔵の「法然上人絵伝」は、掛軸形式の法然上人絵伝の現存最古のひとつであり、典拠や画面構成の独自性が高く、甲斐さらには関東における真宗の教線拡大を物語る貴重な絵画資料である。新たに国指定重要文化財に指定されたため（官報公示、平成22年6月29日付）、改めて県民にお披露目を行った。法然上人絵伝を読み解くとともに、旧蔵者である万福寺と、初期の浄土真宗における大画面掛幅の活用についても紹介した。また描き込まれた約70場面の拡大画像を壁面に投影し、「絵解き」を試みた。



展覧会ちらし

【関連イベント】

■ギャラリートーク

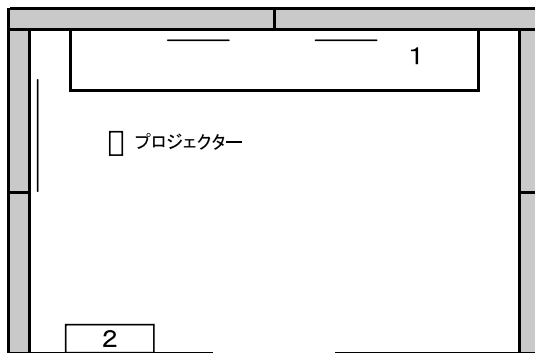
・日 時 平成22年9月18日（土）午後3時～

【出品資料】

◎重要文化財

| | 指定 | 作品名 | 員数 | 材質技法 | 寸法 (cm) | 制作期 | 所蔵者 | 備考 |
|---|----|-----------|----|------|---------------|--------|---------|--------|
| 1 | ◎ | 法然上人絵伝 | 二幅 | 絹本着色 | 縦153.7×横110.5 | 鎌倉時代末期 | 山梨県立博物館 | 万福寺旧蔵品 |
| 2 | ◎ | 法然上人絵伝 軸木 | 二幅 | 木 | | 鎌倉時代末期 | 山梨県立博物館 | 万福寺旧蔵品 |

【展示平面図】



展示風景

iii 甲府道祖神祭り —江戸時代の甲府城下活性化プロジェクト—

【会 期】平成22年12月15日（水）から平成23年1月31日（月）まで
会期日数48日 展示日数35日

【主 催】山梨県立博物館

【後 援】甲府商工会議所

【入場者数】3,344人

【担当者名】学芸員 高橋 修、海老沼真治

【概 要】

江戸時代の甲府城下町では、町全体を浮世絵等が描かれた幕で囲いこむという全国でも独自の祭礼を毎年小正月に開催していた。こうした珍しい行事がいつ頃、何故、行われるようになったのか、最新の調査・研究成果を基に、その謎に迫った。

また、甲府商工会議所と連携を図り、地域連携の強化に努めながら広く一般に甲府城下の文化を紹介するよう努めた。



展覧会ちらし

【関連イベント】

■かいじあむのお正月

- ・日 時 平成23年1月2日（日）から同年1月4日（火）まで
午前10時30分～午後3時

■収蔵品ゆかりの地ツアー -道祖神祭礼幕絵が飾られていた甲府城下を歩く-（県民参画事業）

- ・日 時 平成23年1月15日（土）午後1時～午後6時まで

■かいじあむ検定（県民参画事業）

- ・日 時 平成23年1月4日（水）、10日（月・祝）
午前10時30分～午後3時

■かいじあむ子ども工房「幕絵を作ろう」

- ・日 時 平成23年1月23日（日）午前10時30分～午後3時

■学芸員による展示解説

- ・日 時 平成23年1月8日（土）、16日（日）
午後3時から30分程度



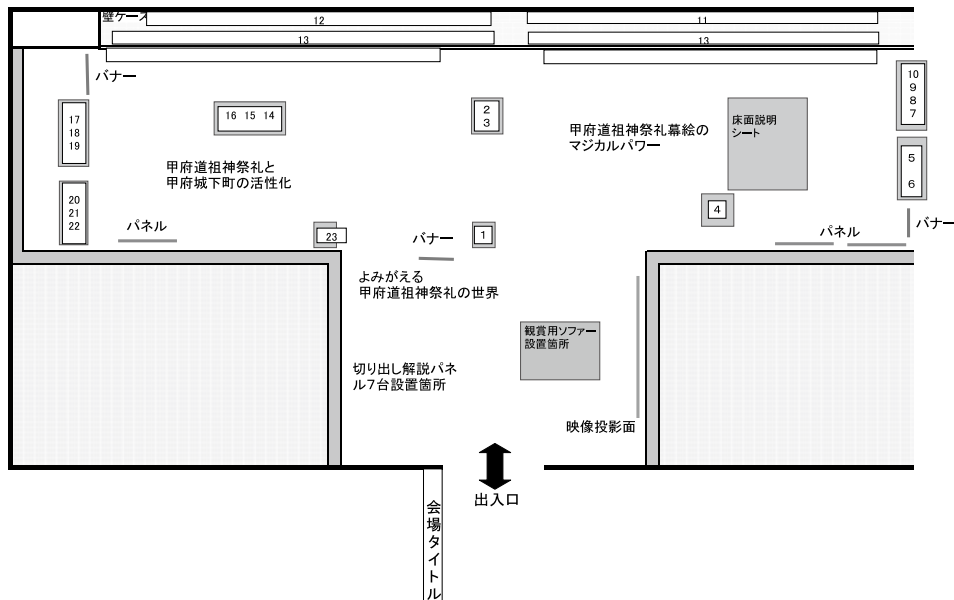
展示風景

○県指定文化財

【出品資料一覧】

| 番号 | 資料名 | 法量 | 員数 | 年代 | 所蔵 | 指定 |
|---------------------|-------------------------------|--------------|-----|--------------|---------|----|
| よみがえる甲府道祖神祭りの世界 | | | | | | |
| 1 | 『甲府買物独案内』 | 10.0×18.7 | 1冊 | 明治5年(1872) | 山梨県立博物館 | |
| 2 | 『甲府道祖神祭礼永代帳』(甲州文庫) | 15.1×20.0 | 1冊 | 18世紀末～19世紀初頃 | 山梨県立博物館 | |
| 3 | 『道祖神祭礼祝儀并諸入用控』(甲州文庫) | 13.0×30.5 | 1冊 | 文政3年(1820) | 山梨県立博物館 | |
| 道祖神祭礼幕絵のマジカルパワー | | | | | | |
| 4 | 『甲府城下絵図』(頼生文庫) | 50.0×55.2 | 1舗 | 嘉永2年(1849) | 山梨県立博物館 | |
| 5 | 『甲州道中記』(若尾資料) | 24.3×16.6 | 1冊 | 大正4年(1915)写 | 山梨県立博物館 | |
| 6 | 『甲斐廻手振』(若尾資料) | 27.5×19.5 | 1冊 | 大正5年(1916)写 | 山梨県立博物館 | |
| 7 | 一勇斉国芳筆「正木稲荷之略図」(甲州文庫) | 36.5×73.5 | 3枚 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | |
| 8 | 「緑町家数間数改帳」(甲州文庫) | 13.8×36.2 | 1冊 | 享和3年(1803) | 山梨県立博物館 | |
| 9 | 『甲府買物独案内』(甲州文庫) | 10.0×18.7 | 1冊 | 嘉永7年(1854) | 山梨県立博物館 | |
| 10 | 『甲府買物独案内』(甲州文庫) | 10.0×18.7 | 1冊 | 明治5年(1872) | 山梨県立博物館 | |
| 11 | 初代歌川広重筆「甲府道祖神祭幕絵 東都名所 目黒不動之瀧」 | 163.0×1060.2 | 1枚 | 天保12年(1841) | 山梨県立博物館 | ○ |
| 12 | 二代歌川広重筆「甲府道祖神祭幕絵 東都名所 洲崎汐干狩」 | 163.0×1084.2 | 1枚 | 元治元年(1860)頃 | 山梨県立博物館 | ○ |
| 13 | 伝歌川広重筆「東海道五十三次画稿」 | 27.7×81.0 | 39枚 | 江戸時代 | 個人蔵 | |
| 14 | 『甲陽軍鑑』(甲州文庫) | 26.4×18.8 | 1冊 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | |
| 15 | 『甲陽武備集覽』 | 23.7×16.8 | 1冊 | 万治2年(1659) | 山梨県立博物館 | |
| 16 | 「幕一流之書」(福島家資料) | 17.0×197.5 | 1巻 | 江戸時代 | 個人蔵 | |
| 道祖神祭りで甲府城下の元気を取り戻せ！ | | | | | | |
| 17 | 『裏見寒話』 | 26.0×18.5 | 1冊 | | 山梨県立博物館 | |
| 18 | 『甲府御用留帳』(頼生文庫) | 25.4×16.5 | 1冊 | 寛政4年(1792) | 山梨県立博物館 | |
| 19 | 「道祖神祭礼旧式悪例改方に付願書」(甲州文庫) | 27.5×91.0 | 1枚 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | |
| 20 | 『世直鑑』(若尾資料) | 24.3×16.5 | 1冊 | 大正6年(1917)写 | 山梨県立博物館 | |
| 21 | 「天保騒動絵図」(辻家資料) | 78.2×53.8 | 1舗 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | |
| 22 | 「甲州騒立一件」(内藤家資料) | 26.5×17.0 | 1冊 | 江戸時代 | 山梨県立博物館 | |
| 23 | 「峡中新聞」第4号(大木家資料) | 22.6×15.0 | 1冊 | 明治5年(1872) | 山梨県立博物館 | |

【展示平面図】



③やまなし研究広場

【会 期】平成23年2月11日（金）から同年3月13日（日）まで

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【担 当】学芸員 網倉邦生、植月 学

【趣 旨】

「やまなし研究広場」とは山梨県に係わる各地の調査・研究成果やコレクションを募集する県民参加の展示会である。本事業を実施することで、県立博物館の利用促進とともに、地域研究団体との交流を深め、相互協力体制の構築を図り、また、こうした交流の機会をととして山梨県内における調査・研究活動の振興に寄与することを目指した。

【応募】

一般から応募を受け付けるにあたり、山梨の歴史・文化に係わる調査・研究成果を対象とした「私の研究」部門、様々なコレクションを展示する「私のコレクション」部門の2部門を設けた。

平成22年5月に県内博物館・研究団体・市町村教育委員会・県内大学・県内図書館・教育事務所に募集要項等を配布し、県立博物館のホームページにて募集を呼びかけた。締め切りは平成22年9月7日（火）とした。

【審査会の実施】

- ・日 時 平成22年9月27日（月）
- ・場 所 県立博物館
- ・審査員 みんなでつくる博物館協議会委員（第II編第9章（2）③参照）
- ・審査結果 応募件数23件の内、16件の採用を決定。

【内 容】

展示にあたっては、採用された16件を「口承」・「時・和算」・「信仰」・「様々な研究」・「様々なコレクション」の5つの分野に分けた。本展をととして、山梨の新たな魅力とともに、山梨県の多様な歴史と文化を研究し、資料を収集しようと、日々努力を続けている方々の活動を紹介した。

あわせて小中学生の研究成果を募集した、第3回「ふるさと山梨」郷土学習コンクール受賞作品も展示した。

【関連イベント】

■解説ツアー

- ・日 時 平成23年2月13日（日）、27日、3月13日（日）午後2時から1時間程度
- ・内 容 出品者が展示内容を解説する

■水晶研磨の実演

- ・日 時 平成23年3月6日（日）午後2時から午後4時まで
- ・演 者 NPO法人山梨水晶会議

【出品資料一覧】

| 出品番号 | 募集の種別 | 展示の種別 | 出品者 | 名称 |
|------|----------|-----------|-----------------------------|-----------------------------------|
| 1 | 私の研究 | 口承 | 松村雅子 | 八ヶ岳むかしはなし |
| 2 | 私のコレクション | 時・和算 | 相川源治 | そろばんのコレクション |
| 3 | 私の研究 | 時・和算 | 藤原義久 | 現在の時刻制度のはじまり |
| 4 | 私のコレクション | 時・和算 | 藤原義久 | 時計のコレクション |
| 5 | 私のコレクション | 様々なコレクション | 三沢一也 | 絵葉書、観光案内チラシ・パンフレットのコレクション |
| 6 | 私のコレクション | 様々なコレクション | 小林一也 | ミニチュアカーのコレクション |
| 7 | 私の研究 | 口承 | 山梨県立大学やまなし地域女性史「聞き書き」プロジェクト | 『「聞き書き」証言集 伝えたい 山梨の女性たち』—「女医」を中心に |
| 8 | 私のコレクション | 様々なコレクション | 植松光宏 | マッチラベルのコレクション |
| 9 | 私の研究 | 信仰 | 原田隆史・冨塚恵介 | 幕末の三ツ峠の信仰 |
| 10 | 私の研究 | 信仰 | 藤巻勝 | 甲斐国三十三ヶ所霊場 |
| 11 | 私の研究 | 時・和算 | 芦澤登 | 算木について |



展示会ちらし

| 出品番号 | 募集の種別 | 展示の種別 | 出品者 | 名称 |
|------|----------|-------|------------------------|-----------------|
| 12 | 私の研究 | 口承 | 山梨平和ミュージアム | 戦争体験の収集と継承 |
| 13 | 私の研究 | 様々な研究 | 特定非営利活動法人「山梨水晶会議」代表宮川守 | 県民の宝-『百瀬コレクション』 |
| 14 | 私の研究 | 様々な研究 | 河西崇 | 近世甲府における武家地の研究 |
| 15 | 私の研究 | 様々な研究 | 奥山昭 | 『中牧合戦録』について |
| 16 | 私のコレクション | 様々な研究 | 樋口静 | 藤村記念館の模型 |

(3) 展覧会関係刊行物

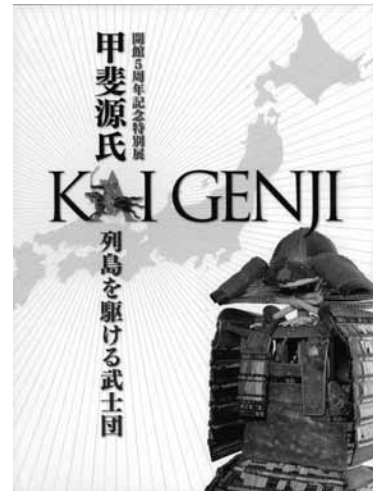
| | 名 称 | 発行年月日 | 体 裁 |
|---|--------------------------------------|-------------|-----------------------|
| 1 | 『チンギス・ハーンとモンゴルの至宝展』図録 | 平成20年 | A4版変形 130頁（発行 東映株式会社） |
| 2 | 『近くて懐かしい昭和あそこ』（昭和展図録） | 平成11年4月20日 | B5版 50頁（発行 東映株式会社） |
| 3 | 『甲斐源氏-列島を駆ける武士団-』図録 | 平成22年10月9日 | A4版変形 176頁 |
| 4 | 『実在した山本菅助』展リーフレット | 平成22年6月5日 | A4版 8頁 |
| 5 | 『甲府道祖神祭り-江戸時代の甲府城下町活性化プロジェクト』展リーフレット | 平成22年12月15日 | A4版 4頁 |



1



2



3



4



5

第5章 企画交流事業

(1) 生涯学習サービス事業

① 講演会・講座・シンポジウム等

■ 講演会

| 開催年月日 | 講演者 | タイトル | 開催場所 | 参加者数(人) |
|---------------|------------------------|---------------|-----------|---------|
| 平成22年5月23日(日) | 白石典之(新潟大学教授) | 「チングス・カンの考古学」 | 県立博物館 | 120 |
| 8月1日(日) | 北原照久(河口湖北原ミュージアム館長) | 「コレクションと夢の実現」 | 県総合教育センター | 92 |
| 8月8日(日) | 市橋芳則(北名古屋市歴史民俗資料館 学芸員) | 「昭和のキョクの宝箱」 | 県立博物館 | 30 |

■ 講座

| 開催年月日 | 講演者 | タイトル | 開催場所 | 参加者数(人) |
|---------------|--------------|--|---------------|---------|
| 平成22年5月16日(日) | 平川 南(当館館長) | 「館長トーク【特集】新発見 東海道・東山道と甲斐国」 | 県立博物館 | 96 |
| 7月18日(日) | 平川 南(当館館長) | 「館長トーク 墨書土器の世界」 | 県立博物館 | 62 |
| 9月19日(日) | 平川 南(当館館長) | 「館長トーク 墨書土器の世界」 | 県立博物館 | 67 |
| 11月21日(日) | 平川 南(当館館長) | 「館長トーク 古代地方社会のしくみ-行政」 | 県立博物館 | 64 |
| 平成23年1月16日(日) | 平川 南(当館館長) | 「館長トーク 古代地方社会のしくみ-財政」 | 県立博物館 | 65 |
| 3月20日(日) | 平川 南(当館館長) | 「館長トーク 古代地方社会のしくみ-軍事」 | 県立博物館 | 41 |
| 平成22年4月11日(日) | 海老沼真治(当館学芸員) | 「甲州寺子屋・かいじあむ講座 実在した山本菅助」 | 恩賜林記念館 | 57 |
| 5月9日(日) | 植月 学(当館学芸員) | 「かいじあむ講座 武田の騎馬隊はポニーだった? -モンゴルの馬と山梨の馬-」 | 県立博物館 | 39 |
| 8月15日(日) | 小畑 茂雄(当館学芸員) | 「かいじあむ講座 昭和30年代の山梨の画像をみる」 | 県立博物館 | 15 |
| 10月23日(土) | 西川 広平(学芸員) | 「かいじあむ講座 鎌倉武士の名門 甲斐源氏」 | 県立博物館 | 90 |
| 平成22年4月10日(土) | 高橋 修(当館学芸員) | 「かいじあむ古文書講座 はじめての古文書1」 | 県立博物館 | 91 |
| 5月9日(土) | 高橋 修(当館学芸員) | 「かいじあむ古文書講座 はじめての古文書2」 | 県立博物館 | 93 |
| 6月12日(土) | 海老沼真治(当館学芸員) | 「かいじあむ古文書講座 山本菅助展の展示資料を読む1」 | 県立博物館 | 113 |
| 7月10日(土) | 海老沼真治(当館学芸員) | 「かいじあむ古文書講座 山本菅助展の展示資料を読む2」 | 県立博物館 | 101 |
| 8月14日(土) | 平山 優(当館副主幹) | 「かいじあむ古文書講座 武田家の文書を読む1」 | 県立博物館 | 74 |
| 9月11日(土) | 平山 優(当館副主幹) | 「かいじあむ古文書講座 武田家の文書を読む2」 | 県立博物館 | 96 |
| 10月9日(土) | 宮澤富美恵(当館職員) | 「かいじあむ古文書講座 甲州文庫の古文書を読む1」 | 県立博物館 | 89 |
| 11月13日(土) | 西川 広平(当館学芸員) | 「かいじあむ古文書講座 甲斐源氏の古文書を読む」 | 県立博物館 | 73 |
| 平成23年1月8日(土) | 宮澤富美恵(当館職員) | 「かいじあむ古文書講座 甲州文庫の古文書を読む2」 | 県立博物館 | 72 |
| 2月12日(土) | 小畑 茂雄(当館職員) | 「かいじあむ古文書講座 明治の古文書を読む1」 | 県立博物館 | 59 |
| 3月12日(土) | 小畑 茂雄(当館職員) | 「かいじあむ古文書講座 明治の古文書を読む2」 | 県立博物館 | 54 |
| 平成22年4月10日(土) | - | 「古文書相談1」 | 県立博物館 | 3 |
| 5月8日(土) | - | 「古文書相談2」 | 南アルプス市ふるさと伝承館 | 9 |
| 6月13日(土) | - | 「古文書相談3」 | 県立博物館 | 3 |
| 7月10日(土) | - | 「古文書相談4」 | 甲府市遊亀公民館 | 4 |
| 8月14日(土) | - | 「古文書相談5」 | 県立博物館 | 2 |
| 9月11日(土) | - | 「古文書相談6」 | ミュージアム都留 | 1 |
| 10月9日(土) | - | 「古文書相談7」 | 県立博物館 | 3 |
| 11月13日(土) | - | 「古文書相談8」 | 身延町総合文化会館 | 7 |
| 平成23年1月8日(土) | - | 「古文書相談9」 | 甲斐市敷島総合文化会館 | 6 |
| 2月12日(土) | - | 「古文書相談10」 | 県立博物館 | 8 |

■ シンポジウム・共催セミナー

| 開催年月日 | 内容 | 開催場所 | 参加者数(人) |
|---------------|---|-----------|---------|
| 平成22年6月27日(日) | 山梨県立博物館、武田氏研究会、山梨郷土研究会主催シンポジウム「山本菅助再考」 海老沼真治(当館学芸員)「真下家所蔵文書の伝来と山本氏の系譜」 丸島和洋(慶応義塾大学文学部講師)「武田家臣山本菅助とその子息」 柴 裕之(東洋大学文学部講師)「徳川家康に仕えた山本氏」 平山 優(当館副主幹)「山本菅助一族とその時代-乱世から太平の世へ」 司会:黒田基樹(駿河大学法文学部准教授) | 県総合教育センター | 230 |
| 10月30日(土) | 山梨県立博物館、武田氏研究会、山梨郷土研究会主催 山梨県立博物館開館5周年記念講演会「甲斐源氏の世界」 小笠原敬承斎(小笠原流礼法宗家)「礼法のこころとかたち」 野口 実(京都女子大学教授)「東国武士団の中の甲斐源氏」 守屋正彦(筑波大学教授)「甲斐源氏、その誇り高き文化について」 パネルディスカッション 司会:平川 南(当館館長) パネラー:野口 実、守屋正彦、秋山 敬(武田氏研究会会長)、 近藤暁子(当館学芸員) | 県総合教育センター | 188 |

やまなし再発見講座・かいじあむ講座（山梨県生涯学習推進センターと共催）

| | | | | |
|----------------------|--------------|-----------------------|-------------|-------|
| 平成22年9月2日(木) | 網倉邦生(当館主査) | 「山梨の史跡について」 | 県生涯学習推進センター | 90 |
| 9月9日(木) | 井澤英理子(当館学芸員) | 「山梨の仏教絵画について」 | 県生涯学習推進センター | 90 |
| 9月16日(木) | 高橋 修(当館学芸員) | 「江戸時代の甲斐国絵図の見どころ」 | 県生涯学習推進センター | 90 |
| 9月30日(木) | 丸尾依子(当館学芸員) | 「山梨県内に伝来する雨乞いの仏像」 | 県生涯学習推進センター | 90 |
| 10月7日(木) | 平山 優(当館副主幹) | 「小笠原氏の歴史—その苦難に満ちた道のり」 | 県生涯学習推進センター | 90 |
| 10月14日(木) | 海老沼真治(当館学芸員) | 「甲斐源氏と山梨—武田氏をめぐって—」 | 県生涯学習推進センター | 90 |
| 10月21日(木) | 西川広平(当館学芸員) | 「甲斐源氏と山梨—北奥の覇者 南部氏—」 | 県生涯学習推進センター | 90 |
| 10月28日(木) | 近藤暁子(当館学芸員) | 「甲斐源氏と山梨—その信仰と美術—」 | 県生涯学習推進センター | 90 |
| 講演会・講座・シンポジウム等参加者数合計 | | | | 2,937 |

②体験プログラム

| 日 時 | 内 容 | 開 催 場 所 | 参加者 人 |
|---------------|---|---------|--------|
| 平成22年4月17日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 25 |
| 5月15日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 30 |
| 6月19日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 12 |
| 7月17日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 11 |
| 8月21日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 13 |
| 9月18日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 11 |
| 10月16日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 0 |
| 11月20日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 26 |
| 12月18日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 9 |
| 平成23年1月15日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 22 |
| 2月19日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 9 |
| 3月19日(土) | 「ボランティアによるお庭の見どころガイド」 | 県立博物館庭 | 7 |
| 平成22年4月25日(日) | かいじあむ子ども工房「ゲルを作ってみよう！」 | 県立博物館 | 24 |
| 5月23日(日) | かいじあむ子ども工房「ゲルを作ってみよう！」 | 県立博物館 | 62 |
| 6月27日(日) | かいじあむ子ども工房「鳴くセミを作ってあそぼう！」 | 県立博物館 | 69 |
| 7月25日(日) | かいじあむ子ども工房「駄菓子屋さんであそぼう！」 | 県立博物館 | 300 |
| 8月22日(日) | かいじあむ子ども工房「駄菓子屋さんであそぼう！」 | 県立博物館 | 300 |
| 9月26日(日) | かいじあむ子ども工房「牛乳パックの小物入れを作ろう！」 | 県立博物館 | 20 |
| 10月24日(日) | かいじあむ子ども工房「甲斐源氏の大鎧をつくる」 | 県立博物館 | 30 |
| 11月28日(日) | かいじあむ子ども工房「甲斐源氏の大鎧をつくる」 | 県立博物館 | 20 |
| 平成23年1月23日(日) | かいじあむ子ども工房「幕絵を作ろう」 | 県立博物館 | 13 |
| 2月12日(土) | かいじあむ子ども工房「たこを作ろう」 | 県立博物館 | 30 |
| 3月20日(日) | かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ろう」 | 県立博物館 | 22 |
| 3月27日(日) | かいじあむ子ども工房「立体浮世絵を作ろう」 | 県立博物館 | 20 |
| 平成22年4月17日(土) | 「モンゴルデー」 | 県立博物館 | 247 |
| 4月24日(土) | 「モンゴルデー」 | 県立博物館 | 188 |
| 4月29日(木) | 「モンゴルのお菓子『ガンビル』を作って食べよう！」 | 県立博物館 | 110 |
| 5月1日(土) | 「モンゴルデー」 | 県立博物館 | 256 |
| 5月2日(日)～ | 「モンゴルデー」・「かいじあむ子どもまつり」 | 県立博物館 | 3,305 |
| 5月5日(水) | | | |
| 5月8日(土) | 「モンゴルデー」 | 県立博物館 | 345 |
| 5月15日(土) | 「モンゴルデー」・「モンゴルコンサート」 | 県立博物館 | 846 |
| 5月22日(土) | 「モンゴルデー」 | 県立博物館 | 215 |
| 5月22日(土)・ | 「映画チャンドマニーモンゴルホームの源流へ—上映会」 | 県立博物館 | 363 |
| 23日(日) | | | |
| 5月29日(土) | 「モンゴルデー」 | 県立博物館 | 393 |
| 5月30日(土) | 「映画チャンドマニーモンゴルホームの源流へ—上映会」 | 県立博物館 | 294 |
| 6月27日(日) | 「合唱団コーラル21による博物館コンサート」※協力：合唱団コーラル21 | 県立博物館 | 58 |
| 8月14日(土)～ | 「かいじあむの夏祭り」 | 県立博物館 | 1,370 |
| 8月15日(日) | | | |
| 8月21日(土) | 「バックヤードツアー」 | 県立博物館 | 14 |
| 8月21日(土)・ | 「鉄道模型走行展示会」 | 県立博物館 | 700 |
| 22日(日) | | | |
| 10月10日(日) | 「県立博物館ハーモニカコンサート」※演奏：金子 敬 | 県立博物館 | 52 |
| 11月7日(日) | 「体験！小笠原流礼法」※講師：吉澤愛久(小笠原流礼法宗家総師範)・渡邊愛久 | 県立博物館 | 49 |
| 11月20日(土) | 「合唱団コーラル21による博物館コンサート」※協力：合唱団コーラル21 | 県立博物館 | 41 |
| 11月20日(土)～ | 「かいじあむの秋まつり」 | 県立博物館 | 316 |
| 11月21日(日) | | | |
| 11月28日(日) | 「かいじあむの収穫祭」 | 県立博物館庭 | 42 |
| 12月5日(日) | 「かいじあむの収穫祭(芋煮会)」 | 県立博物館庭 | 50 |
| 平成23年1月2日(日)～ | 「かいじあむのお正月」 | 県立博物館 | 582 |
| 4日(火) | | | |
| 1月15日(土) | 「まゆ玉だんごを作ろう！」 | 県立博物館 | 40 |
| 2月20日(日) | 「甲斐りょうじんによる県立博物館コンサート 甲斐国を歌い・語り・奏でる」 ※演奏：甲斐りょうじん | 県立博物館 | 75 |
| 3月6日(日) | 「水晶研磨の実演」※実演：佐野敏幸(山梨水晶会議) | 県立博物館 | 85 |
| 体験プログラム参加者数合計 | | | 11,121 |

③その他

平成22年4月3日(土)から毎週土曜日、展示交流員が常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」を定期的実施。また同年7月4日(日)から毎週日曜日、展示交流員が体験型展示を案内する「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」を定期的実施。

(2) 博学連携

①かいじあむティーチャーズクラブ

i 会員の状況

学校の教職員が入会しやすくなるように、入会手続きの簡略化及び活動内容の範囲を広げたことで会員数が大幅に増加した。会員数は2,151名（平成23年3月末）で、前年度実績56名を約40倍と大きく上回る事となった。また、平成22年度同クラブ会員による当館利用数は528名、さらに総合教育センターの研修当日に利用した教職員（ティーチャーズクラブの会員を含む）686名を合わせると1,214人の教職員が視察に訪れている。

ii 会員数

| 校 種 | 会員数（人） |
|----------|--------|
| 小学校 | 741 |
| 中学校 | 331 |
| 高等学校 | 953 |
| 教育庁 | 76 |
| 総合教育センター | 33 |
| 市町村他 | 17 |
| 総 計 | 2,151 |

iii 活動実績

- ・平成22年6月10日（木） 第1回研究会 実践研究の進め方の提案等
- ・ 8月12日（木） 夏季研修会 展示の教材化について
- ・ 8月18日（水） 夏季研修会 展示の教材化について
- ・平成23年2月24日（木） 第2回研究会 実践研究発表、意見交換等
- ・ 3月25日（金） 『博物館活用事例集⑦』 発行

②授業の一環としての博物館利用

■授業の一環としての博物館利用一覧

| 来館日時 | 学 校 名 | 人数（人） | | 来館日時 | 学 校 名 | 人数（人） | |
|----------|----------------|-------|----|----------|----------------|-------|----|
| | | 児童・生徒 | 引率 | | | 児童・生徒 | 引率 |
| 4月14日（水） | 増穂中学校 | 5 | 0 | 5月28日（金） | 玉穂南小学校 | 35 | 2 |
| 4月15日（木） | 須玉中学校 | 47 | 6 | 5月28日（金） | 忍野小学校 | 110 | 5 |
| 4月21日（水） | 玉穂中学校（班別行動） | 6 | 0 | 6月3日（木） | 開成中学校 | 32 | 2 |
| 5月7日（金） | 谷村第一小学校 | 76 | 4 | 6月4日（金） | 開成高校 | 46 | 2 |
| 5月8日（土） | 日本航空高校 | 50 | 2 | 6月9日（水） | 目黒区立第四中学校 | 87 | 11 |
| 5月8日（土） | 湯田高校 | 32 | 3 | 6月16日（水） | 笛吹高校 | 150 | 8 |
| 5月12日（水） | 笛川中学校 | 54 | 5 | 6月16日（水） | 笛吹高校 | 151 | 8 |
| 5月12日（水） | 双葉中学校（班別行動） | 11 | 0 | 6月17日（木） | かえで支援学校（高等部） | 39 | 15 |
| 5月13日（木） | 白根御勅使中学校（班別行動） | 6 | 0 | 6月19日（土） | 御坂西小学校 | 3 | 0 |
| 5月14日（金） | 小立小学校 | 72 | 5 | 6月19日（土） | 塩山高校 | 4 | 1 |
| 5月14日（金） | 牧丘第三小学校 | 24 | 6 | 6月21日（月） | 御坂西小学校 | 3 | 0 |
| 5月14日（金） | 櫛形中学校（班別行動） | 7 | 0 | 6月23日（水） | 狛江市立緑野小・第一小学校 | 23 | 19 |
| 5月14日（金） | 御徒町台東中学校 | 124 | 8 | 6月23日（水） | 笛吹高校 | 150 | 8 |
| 5月14日（金） | 三村小学校 | 53 | 3 | 6月23日（水） | 笛吹高校 | 151 | 8 |
| 5月14日（金） | 田富中学校 | 37 | 1 | 6月23日（水） | 目黒区立第3中学校 | 66 | 16 |
| 5月14日（金） | 韮崎西中学校 | 37 | 2 | 6月24日（木） | 都留児童相談所 | 12 | 8 |
| 5月14日（金） | 石和コスモス教室 | 10 | 4 | 6月30日（水） | 目黒中央中学校 | 141 | 20 |
| 5月14日（金） | 身延高校 | 8 | 2 | 7月8日（木） | かえで支援学校（高等部） | 6 | 2 |
| 5月15日（土） | 長坂中学校 | 70 | 5 | 7月9日（金） | 墨田区特別支援学校（高等部） | 48 | 19 |
| 5月19日（水） | 白根巨摩中学校 | 11 | 0 | 7月9日（金） | 盲学校(小学部) | 5 | 6 |
| 5月20日（木） | 秋山中学校 | 18 | 3 | 7月9日（金） | 甲府東高校 | 6 | 3 |
| 5月20日（木） | 春日居小学校 | 68 | 4 | 7月14日（水） | 大月東中学校 | 87 | 8 |
| 5月20日（木） | 勝山小学校 | 28 | 3 | 7月16日（金） | 甲西中学校 | 5 | 3 |
| 5月21日（金） | 山梨大学附属中学校 | 14 | 1 | 7月16日（金） | 中央高校 | 237 | 23 |
| 5月26日（水） | 山梨大学附属小学校 | 97 | 13 | 7月21日（水） | 日下部小学校 | 79 | 4 |
| 5月26日（水） | 都留第一中学校 | 95 | 7 | 7月23日（金） | 和洋国府台女子中学校 | 63 | 5 |
| 5月26日（水） | 甲西中学校（班別行動） | 22 | 1 | 7月29日（木） | 笛吹高校 | 36 | 0 |
| 5月27日（木） | 丹波中学校 | 4 | 3 | 8月9日（月） | 甲斐市立竜王南児童館 | 30 | 3 |
| 5月27日（木） | 若草中学校（班別行動） | 6 | 0 | 8月9日（月） | エルアールアイ児童館 | 13 | 5 |
| 5月27日（木） | 敷島中学校（班別行動） | 11 | 0 | 9月3日（金） | 久那土小学校 | 10 | 2 |

| 来館日時 | 学 校 名 | 人数(人) | | 来館日時 | 学 校 名 | 人数(人) | |
|-----------|----------------|-------|----|-----------|--------------|-------|--------|
| | | 児童・生徒 | 引率 | | | 児童・生徒 | 引率 |
| 9月9日(木) | 石田小学校 | 80 | 6 | 10月25日(月) | 日川高校 | 11 | 5 |
| 9月10日(金) | ふじざくら支援学校(高等部) | 11 | 9 | 10月28日(木) | 甲府東小学校 | 63 | 4 |
| 9月22日(水) | 宮谷小学校 | 6 | 3 | 10月28日(木) | かえで支援学校(中等部) | 18 | 9 |
| 9月22日(水) | 山中湖東小学校 | 21 | 3 | 10月29日(金) | 櫛形中央保育所 | 65 | 3 |
| 9月22日(水) | 石和高校(短期留学生) | 41 | 7 | 11月1日(月) | 韮崎北西小学校 | 56 | 4 |
| 9月24日(金) | 中央児童相談所 | 20 | 8 | 11月4日(木) | 長坂小学校 | 30 | 2 |
| 9月29日(水) | 大国小学校 | 105 | 6 | 11月5日(金) | 三富小学校 | 27 | 3 |
| 9月30日(木) | 大嵐小学校 | 17 | 5 | 11月5日(金) | 大河内小学校 | 14 | 2 |
| 9月30日(木) | 山梨学院附属小学校 | 65 | 7 | 11月5日(金) | 韮崎北東小学校 | 91 | 6 |
| 10月1日(金) | 岩手小学校 | 17 | 4 | 11月5日(金) | 穂坂小学校 | 20 | 2 |
| 10月1日(金) | 貫川小学校 | 62 | 4 | 11月8日(月) | 櫛形北小学校 | 52 | 3 |
| 10月4日(月) | 日下部小学校 | 66 | 4 | 11月10日(水) | 山梨高校 | 222 | 13 |
| 10月6日(水) | 朝日小学校 | 49 | 4 | 11月10日(水) | 韮崎東中学校 | 96 | 5 |
| 10月6日(水) | 大鶴小学校 | 14 | 2 | 11月10日(水) | 韮崎東中学校 | 95 | 4 |
| 10月7日(木) | 池田小学校 | 104 | 6 | 11月11日(木) | 竜王西小学校 | 48 | 3 |
| 10月7日(木) | 玉諸小学校 | 102 | 6 | 11月12日(金) | 敷島北小学校 | 44 | 3 |
| 10月8日(金) | 西原小学校 | 10 | 5 | 11月15日(月) | 豊小学校 | 58 | 3 |
| 10月8日(金) | 日野春小学校 | 17 | 3 | 11月18日(木) | 甘利小学校 | 96 | 5 |
| 10月8日(金) | 島田小学校 | 17 | 2 | 11月18日(木) | 甲府湯田高校 | 36 | 2 |
| 10月8日(金) | 旭小学校 | 19 | 3 | 11月25日(木) | 韮崎西中学校 | 28 | 2 |
| 10月8日(金) | 欄原小学校 | 16 | 4 | 11月25日(木) | 鳥沢小学校 | 34 | 2 |
| 10月9日(土) | 御坂西小学校 | 6 | 0 | 11月25日(木) | 湯田小学校(特別支援) | 3 | 2 |
| 10月10日(日) | 御坂西小学校 | 2 | 0 | 11月26日(金) | 一宮西小学校 | 75 | 79 |
| 10月13日(水) | 原・西島・静川小連合 | 27 | 6 | 12月1日(木) | 大月東小学校 | 52 | 5 |
| 10月13日(水) | 湯田小学校 | 35 | 4 | 12月2日(木) | 一宮北小学校 | 20 | 2 |
| 10月13日(水) | 富士川小・琢美小連合 | 39 | 4 | 12月3日(金) | 小笠原小学校 | 105 | 4 |
| 10月13日(水) | 四方津小学校 | 42 | 3 | 12月8日(水) | 富士河口湖高校 | 80 | 4 |
| 10月13日(水) | 塩山南小学校 | 69 | 7 | 12月8日(水) | 富士河口湖高校 | 80 | 4 |
| 10月14日(木) | 増穂小学校 | 110 | 6 | 12月9日(木) | 下山小学校 | 13 | 2 |
| 10月14日(木) | 舞鶴小学校 | 58 | 3 | 12月9日(木) | 富士河口湖高校 | 80 | 4 |
| 10月14日(木) | 吉田小学校 | 119 | 5 | 12月9日(木) | 富士河口湖高校 | 33 | 3 |
| 10月14日(木) | 館山市那古小学校 | 5 | 1 | 12月9日(木) | 小泉小学校 | 15 | 3 |
| 10月14日(木) | 駿台甲府小学校 | 71 | 5 | 12月15日(水) | 猿橋小学校 | 52 | 3 |
| 10月15日(金) | 下吉田第二小学校 | 105 | 5 | 12月15日(水) | 八幡小学校 | 21 | 2 |
| 10月15日(金) | 伊勢小学校 | 70 | 5 | 12月22日(水) | 日下部小学校 | 70 | 4 |
| 10月15日(金) | 富士小学校(3年) | 40 | 5 | 1月13日(木) | 甲府湯田高校 | 37 | 1 |
| 10月15日(金) | 富士小学校(4年) | 31 | 3 | 1月20日(木) | 白根源小学校 | 24 | 3 |
| 10月15日(金) | 玉幡小学校 | 59 | 3 | 2月3日(木) | 春日居小学校 | 89 | 4 |
| 10月15日(金) | 沢松小学校 | 8 | 3 | 2月9日(水) | 増穂商業高校 | 119 | 9 |
| 10月15日(金) | 八幡小学校 | 51 | 6 | 2月23日(水) | 明野小学校 | 40 | 3 |
| 10月20日(水) | 八王子特別支援学校(高等部) | 51 | 23 | 3月2日(水) | 早川南小学校 | 7 | 2 |
| 10月21日(木) | 須玉小学校 | 65 | 7 | 小 計 | | 7,271 | 753 |
| 10月22日(金) | 西条小学校 | 76 | 5 | 総 計 | | 8,024 | |
| 10月25日(月) | 甲運小学校 | 123 | 8 | 総 計 145校 | | | 8,024人 |

③出前授業

■出前授業実施一覧

| 実施日 | 事業名 | 学校名(会場) | 内 容 | 担当職員 | 人数 |
|---------------|--------------------------|--------------------|--|------|-----|
| 平成22年4月25日(日) | 八日町自治会 | ホテル甲斐路 | 「江戸時代の八日町ー高札場を中心にー」 | 高橋 修 | 40 |
| 4月16日(金) | 職員研修所 | 職員研修所 | 「山梨県の歴史」 | 平山 優 | 89 |
| 4月17日(土) | 県立考古博物館協会 | 県立考古博物館 | 「武田氏研究の最前線ー山本菅助関係文書を読み解くー」 | 平山 優 | 50 |
| 4月27日(火) | 中北地区教育委員会連合会 | 北巨摩合同庁舎 | 「中世の巨摩」 | 平山 優 | 92 |
| 5月14日(金) | ノートルダム清心女子大学 | ノートルダム清心女子大学 | 博物館学Ⅱ「史資料の保存修復と研究の実践について」 | 高橋 修 | 48 |
| 5月19日(水) | 県立塩山高等学校 | 県立塩山高等学校 | 総合的な学習の時間「地域を知る」 | 丸尾依子 | 57 |
| 6月2日(水) | 県立塩山高校 | 県立塩山高等学校 | 総合的な学習の時間「日本を知る」 | 高橋 修 | 2 |
| 6月9日(水) | 県立北杜高校 | 県立北杜高等学校 | 総合的な学習の時間「北の柱に生きる」 | 高橋 修 | 80 |
| 6月9日(水) | 県立笛吹高等学校 | 県立笛吹高等学校 | 総合的な学習の時間 | 丸尾依子 | 301 |
| 6月30日(水) | やまなし観光推進機構 | 山梨県立博物館 | おもてなしタクシー研修 | 高橋 修 | 24 |
| 6月17日(木) | 甲府商工会議所青年部 | 小島精肉店 | 甲州文化と馬の関わり | 植月 学 | 17 |
| 7月9日(金) | ことぶき勸学院東山梨分校 | 山梨県立博物館 | 山梨の歴史 | 高橋 修 | 34 |
| 7月4日(日) | 山梨県考古学協会 | 甲府市総合市民会館 | 山梨県考古学協会2010年度地域大会「甲府城下町遺跡出土遺物からみた江戸期の食生活」 | 植月 学 | 170 |
| 7月29日(木) | 東京都中央区立郷土天文館施設ボランティア養成講座 | 中央区郷土天文館「タイムドーム明石」 | 博物館の展示とボランティアについて | 丸尾依子 | 30 |
| 8月21日(土) | 新城市教育委員会 | 鳳来開発センター | 武田の残照を求めて | 平山 優 | 130 |
| 8月28日(土) | 山梨英和大学 | 山梨英和大学 | メイプルコレクション | 平山 優 | 10 |
| 9月11日(土) | 山梨学院ともまび講座 | 岡谷市生涯学習活動センター | 現代社会と祭り | 丸尾依子 | 80 |
| 10月16日(金) | ノートルダム清心女子大学 | ノートルダム清心女子大学 | 視聴覚教育論「ジオラマについてーメディア選択と展示構成ー」 | 高橋 修 | 35 |
| 10月26日(火) | 山梨県生涯学習推進センター | 県立男女共同参画推進センター | 山梨学講座「甲斐国という大地を捉える」 | 高橋 修 | 30 |

第Ⅱ編 事業・諸活動

| 実施日 | 事業名 | 学校名(会場) | 内 容 | 担当職員 | 人数 |
|--------------|---------------------------|--------------------|-------------------------------------|---------------|-------|
| 10月31日(日) | 甲府城下町を語る会 | 甲府市北公民館 | 甲府城下と板垣退助 | 高橋 修 | 70 |
| 10月31日(日) | 松戸市立博物館 | 松戸市立博物館 | 貝塚からさぐる縄文人のくらし | 植月 学 | 70 |
| 11月9日(金) | ことぶき勤学院西八代分校 | 山梨県立博物館 | 山梨の歴史 | 高橋 修 | 27 |
| 11月19日(金) | 山梨県生涯学習推進センター | 県立男女共同参画推進センター | 山梨学講座シンポジウム「開発と自然との共生」 | 高橋 修 | 40 |
| 11月19日(金) | 山梨学院生涯学習センター | 山梨学院大学 | 甲州博徒の群像 | 高橋 修 | 50 |
| 11月26日(金) | 学びのひろばふえふき | 富士見小学校 | 歴史紙芝居・ペーパークラフト | 中込美香・ 小山泰子 | 15 |
| 11月5日(金) | 都留文科大学 山梨の魅力メッセージ事業 | 都留文科大学 | 山梨の歴史(近代) | 小畑茂雄 | 100 |
| 11月12日(金) | 北杜高校 | 北杜高校 | 総合的な学習の時間 「山本菅助と北巨摩」 | 海老沼真治 | 40 |
| 11月19日(金) | 関東理科教育研究発表会 | 山梨県総合教育センター | ニホンオオカミと人の関わり | 植月 学 | 204 |
| 11月21日(日) | 明治大学日本先史文化研究所 北区飛鳥山博物館 | 北区飛鳥山博物館 | 低地の貝塚における活動形態 | 植月 学 | 80 |
| 12月2日(木) | 笛吹市教育委員会 | 山梨県立博物館 | 笛吹市民講座「甲斐源氏-列島を駆ける武士団-」 | 西川広平 | 20 |
| 12月4日(土) | 観光振興課 | 山梨県立博物館 | ボランティア講座「甲斐源氏-列島を駆ける武士団-」 | 西川広平 | 20 |
| 12月13日(月) | 甲府市 | 甲府市役所 | 甲府市職員研修「甲府城下グルメ紀行-江戸時代の食文化-」 | 高橋 修 | 30 |
| 平成23年1月7日(金) | 学びのひろばふえふき | 富士見小学校 | 歴史紙芝居・ペーパークラフト | 中込美香・ 野田 恵 | 12 |
| 1月16日(日) | 安中市教育委員会 | 安中市学習の森 ふるさと学習館 | 企画展「中世の西上州」関連講座「山本菅助と山本菅助一真下家文書を読む」 | 平山 優 | 91 |
| 1月22日(月) | 甲斐市教育委員会 | 敷島総合文化会館 | 甲斐市歴史講座「古文書の読み方」 | 高橋 修 | 35 |
| 1月23日(日) | 笛吹市教育委員会 | 学びの杜みさか | 笛吹市市民講座シリーズ笛吹学「笛吹市の絵画について」 | 井澤英理子 | 25 |
| 2月9日(水) | 千葉家美術館・博物館職員等研修会 | 千葉県立中央博物館 | 「地域文化振興・連携と博物館」 | 高橋 修 | 40 |
| 2月19日(土) | 甲斐市教育委員会 | 敷島総合文化会館 | 甲斐市歴史講座「古文書の読み方」 | 高橋 修 | 35 |
| 2月23日(水) | 山梨県タクシー協会 | 山梨県立博物館 | 山梨おもてなしタクシードライバー研修「山梨県内基礎編」 | 高橋 修 | 35 |
| 2月16日(水) | 笛吹市教育委員会 | 山梨県立博物館 | 「山梨の仏像」 | 近藤暁子 | 19 |
| 2月23日(水) | 笛吹市教育委員会 | 大善寺、放光寺 | 「山梨の仏像 現地視察」 | 近藤暁子 | 19 |
| 2月27日(日) | 笛吹市教育委員会 | 学びの杜みさか | 「笛吹市の仏像」 | 近藤暁子 | 34 |
| 2月19日(土) | 大泉会総会 | 新宿ワシントンホテル | 「八ヶ岳山麓の戦国時代」 | 海老沼真治 | 40 |
| 2月24日(木) | 愛知県立博物館協会保存分科会講座 | 名古屋立博物館 | 「愛知県立博物館協会保存分科会講座」 | 香名貴彦 | 50 |
| 3月2日(水) | 山梨県タクシー協会 | 山梨県立博物館 | 山梨おもてなしタクシードライバー研修「山梨県内基礎編」 | 高橋 修 | 18 |
| 3月3日(木) | 山梨県タクシー協会 | 山梨県立博物館 | 山梨おもてなしタクシードライバー研修「山梨県内基礎編」 | 高橋 修 | 18 |
| 3月5日(土) | 甲斐市教育委員会 | 敷島総合文化会館 | 甲斐市歴史講座「古文書の読み方」 | 高橋 修 | 37 |
| 3月26日(土) | 山梨郷土研究会・甲府市教育委員会 | 藤村記念館 | 研究例会・藤村学校「共同研究の成果と課題」 | 西川広平 | 27 |
| 総 計 | | | | | 2,620 |

④職場体験

■職場体験実施一覧

| 実施日 | 学校名 | 学年 | 人数(人) |
|-------------------------------|---------|----|-------|
| 平成22年7月24日(土)から同年7月25日(日)まで | 山梨高等学校 | 2年 | 5 |
| 平成22年7月28日(水)から同年7月30日(金)まで | 城西高等学校 | 2年 | 1 |
| 平成22年7月29日(木)から同年7月30日(金)まで | 甲府北東中学校 | 2年 | 3 |
| 平成22年7月30日(金) | 甲府南中学校 | 2年 | 2 |
| 平成22年8月4日(水)から同年8月5日(木)まで | 甲府北東中学校 | 2年 | 2 |
| 平成22年8月4日(水)から同年8月5日(木)まで | 山梨南中学校 | 2年 | 1 |
| 平成22年8月4日(水)から同年8月5日(木)まで | 城南中学校 | 2年 | 5 |
| 平成22年10月21日(木) | 押原中学校 | 2年 | 5 |
| 平成22年11月10日(木)から同年11月11日(木)まで | 御坂中学校 | 2年 | 3 |
| 平成22年11月11日(木)から同年11月12日(金)まで | 浅川中学校 | 2年 | 4 |
| 平成22年11月25日(木)から同年11月26日(金)まで | 笛吹高等学校 | 1年 | 2 |
| 小 計(中学校) | | | 25 |
| 小 計(高等学校) | | | 8 |
| 総 計 | | | 33 |

⑤「未来の山梨を描こう！」募集

| | 応募学校数 | 応募人数 |
|-----|-------|------|
| 小学校 | 37 | 185 |
| 中学校 | 7 | 19 |
| 合計 | 44 | 204 |

⑥子ども学芸員事業

本年、開館5周年を迎え、県民参画型博物館という側面をより一層充実させ、大人から子どもまで県民全体の文化に対する意識向上を図るために、「子ども学芸員事業」を実施した。来館した子どもたちにレポートを課し、合格した児童・生徒を「子ども学芸員」に任命するというもの。「子ども学芸員」となった子には招待状を渡し、家庭・地域の人に山梨の魅力を伝えるという役割を課す。今年度は1,620名を認定し、現在までのところ、昨年度試行の611名と合わせて2,231名が初級に認定されている。

■子ども学芸員認定状況（3月末現在）

| 日付 | 学校名 | 学年 | 人数 | 常設展 | 企画展 | 備考 |
|---------------|-----------------|------|--------|-----|-----|----------|
| 平成22年5月12日（水） | 笹川中学校 | 1 | 54 | ○ | | |
| 5月14日（金） | 三村小学校 | 6 | 53 | ○ | | |
| 5月20日（木） | 秋山中学校 | 1 | 18 | ○ | ○ | モンゴル展 |
| 5月20日（木） | 春日居小学校 | 1 | 68 | ○ | ○ | モンゴル展 |
| 5月28日（金） | 玉穂南小学校 | 6 | 35 | ○ | ○ | モンゴル展 |
| 9月10日（金） | ふじざくら支援学校（高等部） | 2 | 11 | ○ | | |
| 9月22日（水） | 宮谷小学校 | 3, 4 | 6 | ○ | | |
| 9月29日（水） | 大国小学校 | 6 | 105 | ○ | | |
| 9月30日（木） | 大嵐小学校 | 1~4 | 17 | ○ | | |
| 10月4日（月） | 日下部小学校 | 2 | 66 | ○ | | |
| 10月7日（木） | 池田小学校 | 3 | 104 | ○ | | |
| 10月7日（木） | 玉諸小学校 | 1 | 102 | ○ | | |
| 10月8日（金） | 西原小学校 | 3,4 | 5 | ○ | | |
| 10月13日（水） | 塩山南小学校 | 4 | 69 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 10月14日（木） | 駿台甲府小学校 | 4 | 71 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 10月15日（金） | 伊勢小学校 | 6 | 70 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 10月15日（金） | 富士小学校（3年） | 3 | 40 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 10月15日（金） | 富士小学校（4年） | 4 | 31 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 10月15日（金） | 玉幡小学校 | 3 | 59 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 10月15日（金） | 八幡小学校 | 1, 2 | 51 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 10月15日（金） | 沢松小学校 | 3, 4 | 8 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 10月21日（木） | 須玉小学校 | 6 | 65 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 10月25日（月） | 甲運小学校 | 1, 2 | 123 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 11月5日（金） | 大河内小学校 | 4 | 14 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 11月8日（月） | 櫛形北小学校 | 6 | 52 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 11月11日（木） | 竜王西小学校 | 4 | 48 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 11月12日（金） | 敷島北小学校 | 5 | 44 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 11月15日（金） | 豊小学校 | 3 | 58 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 11月26日（金） | 一宮西小学校 | 6 | 75 | ○ | ○ | 甲斐源氏展 |
| 12月22日（水） | 日下部小学校 | 6 | 70 | ○ | ○ | 甲府道祖神祭り展 |
| 平成23年2月1日（水） | 押し葉標本作品展 | | 18 | | | |
| 2月1日（水） | ふるさと山梨郷土学習コンクール | | 10 | | | |
| 認定数 | | | 1,620名 | | | |

※ 押し葉標本作品展の優秀作品を「甲府道祖神祭り」展の開催期間中の平成22年12月15日（水）から同年1月31日（月）まで当館ロビーに展示。

※ ふるさと山梨郷土学習コンクール優秀作品を「やまなし研究広場」展の開催期間中の平成23年2月11日（金）から同年3月13日（日）まで当館ロビーに展示

⑦大学教育との連携

i 学芸員実習

【期間】平成22年8月4日（水）から同年8月14日（土）まで（計10日間）

【受け入れ人数】9名（男3名、女6名）

【実習生所属大学】

- ・山梨県内：都留文科大学 2名、帝京科学大学 1名、山梨英和大学 3名
- ・山梨県外：京都府立大学 2名、東京農業大学 1名

【実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員の行う調査研究・展示・資料保存などの各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業についての講義・実習
- ・日常的な学芸業務の実習（展示室の開閉、展示室・資料の点検）
- ・博物館職員との意見交換会

ii 大学非常勤講師の受託

| 担当職員 | 大学名 | 期間 |
|-------|----------------|-------------------------------|
| 井澤英理子 | 山梨英和大学（博物館実習） | 平成22年4月1日（木）から平成23年3月31日（木）まで |
| 沓名貴彦 | 帝京科学大学（博物館各論Ⅰ） | 平成22年4月1日（木）から平成23年3月31日（木）まで |

| 担当職員 | 大学名 | 期間 |
|-------|-----------------|-------------------------------|
| 高橋 修 | 山梨県立大学（日本の歴史Ⅰ） | 平成22年4月1日(木)から同年9月30日(木)まで |
| 西川 広平 | 中央大学（日本史学基礎演習Ⅱ） | 平成22年4月1日(木)から平成23年3月31日(木)まで |

⑧発行物

| 名 称 | 発 刊 日 | 体 裁 |
|--|------------|------|
| 『博物館活用事例集⑦山梨県立博物館を活用したティ―チャーズクラブの先生による学習活動事例集』 | 平成23年3月25日 | 簡易印刷 |

※県内の小中高特別支援学校全校に配布した。

(3) 博物館同士のネットワーク

①ミュージアム甲斐・ネットワーク

i ミュージアム甲斐・ネットワーク会議

■平成22年度第1回会議

日時：平成22年6月17日（木）

場所：県立博物館

内容：

- ・ミュージアム甲斐ネットワーク事業広報について
- ・夏休み自由研究プロジェクト・自由研究なんでも質問箱について
- ・「ふるさと山梨」の活用
- ・「やまなし研究広場」について
- ・研修会 木部 徹・島田 要（情報保存研究会会員）「文化財の長期保存のための容器についてー小環境形成による保管状態の改善ー」

■平成22年度第2回会議

日時：平成22年11月12日（金）

場所：県立博物館

内容：

- ・ミュージアム甲斐ネットワークの広報ーホームページの活用について
- ・研修会 近藤圭司（やまなし観光推進機構）「着地型旅行について」

ii 博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

| 開 催 日 時 | 開催場所 | 参加者数 人 | 参加館数 館 |
|---------------|---------|--------|--------|
| 平成22年7月16日（月） | アイメッセ山梨 | 797 | 29 |

②縄文王国山梨

今年度の事業としては、スタンプラリーの他、平成23年1月29日（土）に釈迦堂遺跡博物館において実施された巡回イベント「縄文王国やまなし in しゃかどう!!!」（参加者数120名）に参加した。

(4) 広 報

年4回の「かいじあむ通信 Kai（交い）」の発行や、常設展チラシ・ポスター・パンフレット、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、県政だより「ふれあい」、県教育委員会広報誌「教育やまなし」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送等の各種媒体を用いて広報に努めてきた。

今後とも広報活動の充実に努め、県立博物館のPRを積極的に実施する。

■各種だより、リーフレット類一覧

上述のとおり、広報には各種媒体を用いてきたが、多岐にわたるため、紙媒体で県立博物館が主体となって作成したものを中心に掲載する。

| 誌 名 | 発行期日 |
|-------------------------|----------|
| 「かいじあむ通信 Kai（交い）」夏休み特別号 | 平成22年6月 |
| 「かいじあむ通信 Kai（交い）」第18号 | 平成22年6月 |
| 「かいじあむ通信 Kai（交い）」第19号 | 平成22年9月 |
| 「かいじあむ通信 Kai（交い）」第20号 | 平成22年12月 |
| 「かいじあむ通信 Kai（交い）」第21号 | 平成23年3月 |

第6章 施設の整備・管理

(1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めるため職員を対象に実施している。

・防災訓練

| | 開催日時 | 内 容 |
|-----|---------------|--|
| 第1回 | 平成22年9月17日（金） | <ul style="list-style-type: none"> ・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練 ・避難経路・消防設備等の確認 ・消火器による消火訓練及び消火栓放水訓練 ・燻煙装置による避難体験 |
| 第2回 | 平成23年3月23日（水） | <ul style="list-style-type: none"> ・火災を想定した企画展示室からの避難訓練 |

・その他の訓練

| 開催日時 | 内 容 |
|---------------|---|
| 平成22年9月17日（金） | <ul style="list-style-type: none"> ・普通救命講習受講 |

(2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

| | 生涯学習室 | | 交流室 | |
|-----|--------|---------|--------|--------|
| | 利用人数 人 | 利用金額 円 | 利用人数 人 | 利用金額 円 |
| 4月 | 150 | 1,800 | | |
| 5月 | 333 | 28,680 | | |
| 6月 | 175 | 28,260 | | |
| 7月 | 229 | 14,700 | | |
| 8月 | 96 | 6,420 | 36 | 1,540 |
| 9月 | 118 | 8,480 | | |
| 10月 | 125 | 3,600 | | |
| 11月 | 185 | 4,980 | | |
| 12月 | 211 | 13,030 | | |
| 1月 | 80 | 6,980 | | |
| 2月 | 153 | 8,800 | 1 | 330 |
| 3月 | 185 | 16,800 | | |
| 計 | 2,040 | 142,530 | 37 | 1,870 |

第7章 情報の発信と公開

(1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示を通して利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集、整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

■利用時間

午前9時から午後5時まで

(書庫内資料の請求、複写申込は午後4時30分まで)

(即日閲覧資料の請求は、午後3時まで)

入室は無料。

■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末(2台)により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。

ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

■資料閲覧

- ・ 図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類や歴史に関する書籍、郷土研究についての資料、山梨県史や県内の市町村史誌類、逐次刊行物など約2,500冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・ 歴史資料等のうち「甲州文庫」の画像データは資料閲覧室内の端末で閲覧できる。
- ・ 収蔵資料のうち、即日閲覧対象資料(古文書、古記録、版木等)、「甲州文庫」及び古文書のデジタル・マイクロフィルムは即日閲覧可能である。
- ・ 即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧する。

■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、博物館職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査研究の成果に基づき回答している。

■コピーサービス(有料)

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、甲州文庫等のマイクロ・デジタル化資料の複写サービスを行っている。

■展示関連資料紹介

当館で開催する企画展、シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連資料の紹介コーナーを設けている。

■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史の調べ方や自然観察の本、幼児のための絵本などを揃えている。

■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース(3台)では、歴史、文化財に関するビデオ、DVDなどを視聴することができる。

■平成22年度資料閲覧室利用状況

| 月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 累計 |
|--------|-----------|-------|------|-------|-------|------|------|------|-------|------|-------|------|--------|
| 入室者 | 275人 | 440人 | 335人 | 453人 | 1018人 | 199人 | 298人 | 362人 | 151人 | 222人 | 184人 | 123人 | 4060人 |
| ビデオ利用 | 97件 | 190件 | 110件 | 243件 | 457件 | 89件 | 140件 | 133件 | 71件 | 100件 | 83件 | 37件 | 1750件 |
| レファレンス | レファレンス | 20件 | 12件 | 24件 | 33件 | 25件 | 17件 | 15件 | 24件 | 11件 | 20件 | 24件 | 235件 |
| | 利用相談 | 18件 | 18件 | 38件 | 30件 | 32件 | 13件 | 24件 | 16件 | 17件 | 32件 | 12件 | 262件 |
| | 小計 | 38件 | 30件 | 62件 | 63件 | 57件 | 30件 | 39件 | 40件 | 28件 | 52件 | 36件 | 497件 |
| 複写 | 件数 | 44件 | 31件 | 47件 | 62件 | 48件 | 26件 | 33件 | 41件 | 29件 | 33件 | 32件 | 444件 |
| | 電子式 | 791枚 | 249枚 | 590枚 | 353枚 | 459枚 | 211枚 | 318枚 | 475枚 | 521枚 | 1618枚 | 515枚 | 6371枚 |
| | マイクロ、デジタル | 639枚 | 86枚 | 577枚 | 670枚 | 507枚 | 230枚 | 67枚 | 867枚 | 136枚 | 110枚 | 384枚 | 4369枚 |
| | 小計 | 1430枚 | 335枚 | 1167枚 | 1023枚 | 966枚 | 441枚 | 385枚 | 1342枚 | 657枚 | 1728枚 | 899枚 | 10740枚 |



展示関連資料紹介「近くて懐かしい昭和展」

期間：平成22年7月17日（土）から同年8月30日（月）まで

(2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。

このシステムは、以下の4つのシステムから構成される。

■活動支援システム

活動支援システムは、博物館の管理運営を支援するシステムである。チケット発券や来館者数管理のシステム化や自動化、団体・施設の予約管理等の支援を行う。また、これらの情報をグループウェアにより共有化し、効率的な運営の補助を行う。

■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料、図書資料等に関する各種情報を一元的に管理するためのシステムである。資料の受入情報から収蔵情報、付随する資料のメディアファイル類も、一元的に管理が可能となる。そして、データベースから常設展示情報端末への資料情報連携を行う展示システムも含まれる。

■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報検索や地域インデックスにおける各種県内情報等の発信がある。館外では、博物館ホームページにおける情報発信や、その中での収蔵資料・図書情報検索がある。

■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。そして、インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内におけるセキュリティは、山梨県情報セキュリティに準じている。

(3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より現ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等を公開しているほか、随時ページの増設、更新を行っている。

【ホームページの主な更新履歴】

平成23年2月16日 高精細画像のページを開設

2月24日 アクセス数40万を突破。

「収蔵資料案内」ページの更新:収蔵資料・図書の検索を行うことができるページを、随時更新している。

検索可能件数(平成23年3月現在) ・収蔵資料 83,082件

・図書類 35,107件

PC向けURL: <http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL: <http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

アクセス件数(アクセスカウンタによる数値)

| 年 月 | 件数/月 | 1日平均 | 昨年度件数 |
|----------|--------|------|--------|
| 平成22年 4月 | 7,340 | 245 | 6,696 |
| 5月 | 7,603 | 245 | 7,249 |
| 6月 | 6,609 | 220 | 6,515 |
| 7月 | 8,312 | 268 | 7,577 |
| 8月 | 9,894 | 319 | 7,535 |
| 9月 | 6,137 | 205 | 5,798 |
| 10月 | 7,760 | 250 | 6,053 |
| 11月 | 6,379 | 213 | 5,736 |
| 12月 | 4,503 | 145 | 5,508 |
| 平成23年 1月 | 5,558 | 179 | 6,969 |
| 2月 | 5,607 | 200 | 8,938 |
| 3月 | 6,421 | 207 | 8,875 |
| 合 計 | 82,123 | 225 | 83,449 |

第8章 県民参画

(1) NPOとの連携

平成22年度に実施したNPOとの連携事業の一覧は次のとおりである。

まず、かいじあむ検定については企画展・シンボル展ごとに実施し、より展示会の見どころについて楽しんでいただくクイズ形式のものが定着化している。クイズの難易度も易しくし、気軽に参加し易い形式としたため、参加者も一定数を確保している。

わいわいミュージアム・エバリュエーションツアーの詳細は第I編第2章を参照。

収蔵品ゆかりの地ツアーについては、利用者を県立博物館から県内各地へ誘導できるよう工夫を行った。特に「甲斐源氏」展に関連した2回分のツアーについては社団法人 やまなし観光推進機構と協働することで、歴史バスツアーを実現させた。企画展観覧後に、参加者をバスで現地へと運び、ゆかりの地をウォーキングいただくという形式は、県内外の利用者に好評であった。また、甲府道祖神ゆかりの地をめぐるツアーについては甲府商工会議所と連携を図り、江戸時代当時の祭礼の様子を実際に城下町で再現するという新しい試みを実施し得た。

NPOを介して当館と様々な団体が連携を図ることで、従来にない試みを実践するという事業方式はその効果の高さから、今後、当館の事業活動の主流となっていくと考えられる。

① かいじあむ検定

| 実施日 | 事業名 | 開催場所 | 参加者数(人) |
|----------------|--------------------------------|-------|---------|
| 平成22年10月10日(日) | シルエットクイズ このシルエットはだれかな? | 県立博物館 | 204 |
| 平成23年1月4日(火) | シンボル展「甲府道祖神祭り」が2倍楽しくなるチャレンジクイズ | 県立博物館 | 129 |
| 1月10日(月) | シンボル展「甲府道祖神祭り」が2倍楽しくなるチャレンジクイズ | 県立博物館 | 125 |
| 2月20日(日) | 「やまなし研究広場」が2倍楽しくなるチャレンジクイズ | 県立博物館 | 69 |
| 参加者数合計 | | | 527 |

② わいわいミュージアム・エバリュエーションツアー

| 実施日 | 事業名 | 開催場所 | 参加者数(人) |
|--------------|--------|-------|---------|
| 平成22年8月8日(日) | 通信簿ツアー | 県立博物館 | 158 |
| 8月18日(水) | 通信簿ツアー | 県立博物館 | 30 |
| 参加者数合計 | | | 188 |

③ 収蔵品ゆかりの地ツアー

| 実施日 | 事業名 | 開催場所 | 参加者数(人) |
|----------------|------------------|---------|---------|
| 平成22年10月23日(土) | 安田義定ゆかりの地バスツアー | 山梨市・甲州市 | 43 |
| 11月23日(火) | 南部氏ゆかりの地バスツアー | 南部町 | 42 |
| 平成23年1月15日(土) | 甲府道祖神祭り展ゆかりの地ツアー | 甲府市 | 56 |
| 参加者数合計 | | | 141 |

※委託先のNPOについては、平成22年7月22日(木)に県民参画事業実施先NPO審査会を開催し、その結果、各事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



平成22年8月9日(日)実施の「通信簿ツアー」の様子。学芸員実習生と共に実施することが定着化し、協働してツアー当日の運営・集計を行っている。



平成23年1月15日(土)実施の收藏品ゆかりの地ツアーの様子。甲府道祖神祭礼幕絵の複製品(甲府商工会議所作成)を実際に城下であった場所に飾り、江戸時代当時の風情を再現した

(2) 博物館協力会(ボランティア)との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館協力員によるものである。会員数は若干の変動があるが、概ね70名ほどの協力員が館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力員の主たる活動は次のとおりである。

- ・来館者の鑑賞・学習のための助言及び相談
- ・来館者の誘導・案内、及び体験型展示の利用の補助
- ・館蔵の図書、資料、写真などの整理
- ・ミュージアムショップの運営
- ・館が行うイベントなどの補助や畠など野外施設の管理

■平成22年度の協力会の主な活動

平成22年6月19日(日) 協力会総会(平成21年度事業・決算報告、22年度事業計画・予算の決定)

7月16日(土) 親睦会開催

9月17日(金) 接遇研修

9月29日(水) 協力会研修旅行(甲斐源氏ゆかりの地 茨城県ひたちなか市方面)

11月27日(土) 協力会・やまなし観光推進機構による加賀美氏・小笠原氏ゆかりの地(櫛形方面)ツアー

12月8日(水) 茶話会開催

平成23年3月13日(日) 茶話会開催

同日 協力会研修旅行「講演会 富士への想い」参加
(於 岡田紅陽写真美術館・小池邦夫絵手紙美術館)

その他、常時実施したのは次の活動である。

- ・ショップ運営…ミュージアムショップ当番
- ・資料整理補助…「上條氏収集資料」約4247点の整理については、資料専用封筒詰め、ナンバリング、目録のパソコン入力等の作業で協力を得た。



平成22年9月29日(水)に実施された研修旅行の様子。武田氏発祥の地である茨城県ひたちなか市の「武田氏館」を訪問した。



協力会会員によっていただいた県立博物館エントランスロビーの正月飾り。正月になると、年ごとに異なる飾り物で来館者をお迎えすることが定着している。

第9章 組織・人員

(1) 職員の資質向上

① 職員参加研修一覧

| 氏名 | 研修名 | 主催 | 場所 | 期間 | 研修内容 |
|------|----------|------------------------|------------------------|--|--|
| 植月 学 | 生物環境調査課程 | (独)国立文化財機構 奈良文化財研究所 | (独)国立文化財機構 奈良文化財研究所 | 平成23年2月15日(火) ～18日(金)、 2月21日(月) ～23日(水) | 環境考古学の基幹を形成する生物環境分野の最新の研究法と、その成果についての専門的知識と技術の研修 |

② 展示交流員研修一覧

| 日時 | 内容 |
|---------------------------------|--|
| 平成22年6月23日(水)から 同年6月26日(土)まで | 体験イベント「寺子屋ひろば」の実演研修 |
| 平成22年9月17日(金) | ①自衛消防訓練ならびにAED操作を主とした救急救命法講習を行い、安全・安心の確保に努めることなど幅広い研修を実施 ②接遇研修を実施 |



平成22年7月から始まった「寺子屋ひろば」の様子。毎週日曜日に展示交流員が利用者により深く体験型展示を楽しんでいただけるよう、様々なイベントを実施している。



平成22年9月17日(金)に実施した接遇研修の様子。利用者をあたたかくお迎えするために、基本的なあいさつの仕方を練習しているところ。

(2) 第三者委員会

① 山梨県立博物館運営委員会

i 運営委員会委員名簿

| 氏名 | 勤務先・役職等 |
|-------|--|
| 小澤 龍一 | 元(財)やまなし文化学習協会生涯学習センター所長 みんなでつくる博物館協議会委員長 |
| 清雲 俊元 | 山梨郷土研究会理事長 資料・情報委員会委員長 |
| 五味 文彦 | 放送大学教授 |
| 萩原 三雄 | (財)帝京大学 山梨文化財研究所所長 |
| 古屋 栄和 | 社会福祉法人山梨県社会福祉協議会会長 |
| 守屋 正彦 | 筑波大学教授 |
| 早川 源 | 地域シンクタンク 山梨総合研究所 専務理事 |

※平成23年3月25日(金)に早川 源氏が古屋栄和氏の後任として委員に委嘱された。

ii 運営委員会の検討状況

■第17回運営委員会

日時：平成22年6月2日（水）

検討内容：

- ・企画交流事業の強化について
- ・平成23年度以降の企画展について
- ・平成23年度以降の調査研究事業について

■第18回運営委員会

日時：平成22年11月26日（金）

検討内容：

- ・博学連携及び地域連携の強化について
- ・平成23年度以降の企画展について
- ・文化財の取り扱いに関する安全確保について

■第19回運営委員会

日時：平成23年3月25日（金）

検討内容：

- ・開館5周年を終えての博物館評価について
- ・平成24年度の企画展について
- ・利用者状況等の報告について

② 山梨県立博物館資料・情報委員会

第Ⅱ編第3章（1）で詳述。

③ みんなでつくる博物館協議会

i みんなつくる委員名簿

| 氏名 | 勤務先・役職等 |
|-------|---------------------------|
| 数野 妙子 | 笛吹市立富士見小学校教諭 |
| 土橋 一彦 | 甲府市校長会事務局長 |
| 植松 光宏 | なまよみ文庫館長 |
| 小澤 龍一 | 元財団法人山梨文化学習協会生涯学習推進センター所長 |
| 出澤 忠利 | 株式会社印傳屋上原勇七総務部長 |
| 齋藤 康彦 | 山梨郷土研究会理事 |
| 谷口 一夫 | 甲斐黄金村湯之奥金山博物館長 |
| 新海 一男 | 山梨県中小企業団体中央会専務理事 |
| 三枝 正文 | 山梨県農業協同中央会専務理事 |
| 八田 知子 | 石和温泉観光協会副理事 |
| 早川 源 | 地域シンクタンク山梨総合研究所専務理事 |
| 丹沢 良治 | 株式会社タンザワ代表取締役 |
| 長沢 宏昌 | 石和温泉活性化研究会副理事長 |
| 山本 育夫 | 特定非営利活動法人つなぐ理事長 |
| 渡辺 昭夫 | 富士河口湖温泉組合組合長 |
| 高久幾久子 | 四菱まちづくり総合研究室代表 |

* 平成23年2月23日（水）に丹沢良治氏が早川 源氏の後任として委員に委嘱された。

ii みんつく検討状況

■平成22年度第1回みんつく協議会

日時：平成22年7月16日（金）

検討内容：

- ・県民研究ひろばについて
- ・笛吹市との連携の取り組みについて

■やまなし研究ひろば審査会

日時：平成22年9月27日（月）

検討内容：

- ・やまなし研究ひろばへの採用可否について検討

■平成22年度第2回みんつく協議会

日時：平成23年2月23日（水）

検討内容：

- ・県立博物館の実績及び評価について

第10章 外部支援と連携

(1) 外部支援

■外部資金を得た調査研究

第Ⅱ編第2章(1)で詳述

(2) 外部との連携

■笛吹市と県立博物館との連携にかかる協定の締結

笛吹市では笛吹市に伝わる数多くの文化財を保護し、将来に伝えることを誓うため、市制5周年を記念して平成21年に「甲斐国千年の都 笛吹市」宣言を行った。

山梨県立博物館は平成22年度に開館5周年年度目という記念年度を迎えたことから、今後、より地域に根差した博物館を実現させるために、「甲斐国千年の都 笛吹市」宣言に協力し、笛吹市と協定を結ぶこととした。協定の内容は、相互の発展・活性化に資することができるよう学校教育、生涯学習、文化振興、観光振興等の各種事業における連携についてである。

協定書の調印式は笛吹市制施行6周年記念式典の場において実施し、笛吹市長 荻野正直、山梨県立博物館長 平川 南の両名が調印した。

なお、今回の協定書の締結については、自治体と博物館連携のモデルケースとして行ったものであるが、上記に掲げる連携事業等について、今後、県内各市町村から要請があれば、協定の有無に関わらず広く実施することとしたい。

- ・協定書締結日：平成22年10月12日（火）（笛吹市制祭）
- ・場所：笛吹市石和町 スコレーセンター
- ・連携事項：
 - (1)学校教育の振興に関すること
 - (2)生涯学習の振興に関すること
 - (3)文化の振興に関すること
 - (4)観光の振興に関すること
 - (5)その他、笛吹市と県立博物館とで合意された事項

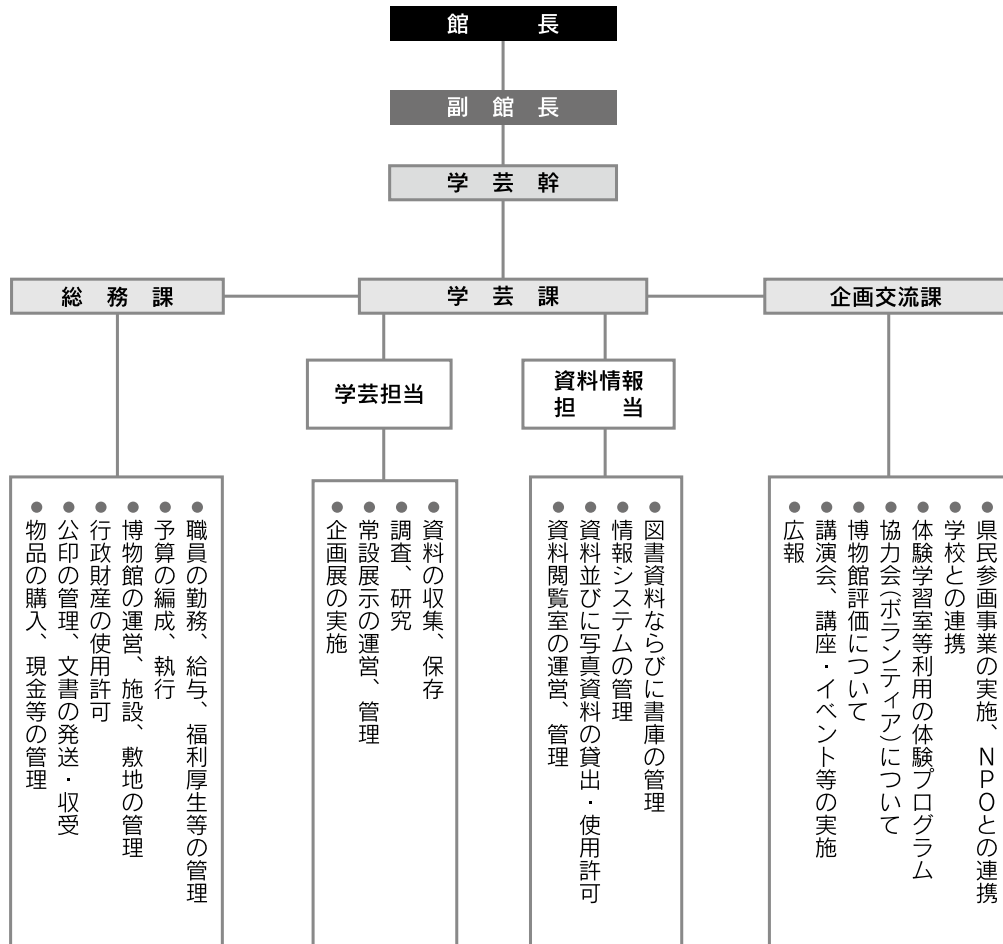


協定書の調印式の様子

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿

■組織図



関係委員会

運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

みんなで作る博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会

第Ⅰ編第1章(1)及び第Ⅱ編第9章(2)参照

●博物館職員(H23. 3. 31現在)

| | |
|-------|-------|
| 館長 | 平川南 |
| 副館長 | 三枝仁也 |
| 総務課 | |
| 課長 | 高山敏行 |
| 副主査 | 内藤由貴 |
| 主事 | 堀込亜希子 |
| 主任業務員 | 白倉政富 |
| 非常勤嘱託 | 山口美弥 |
| 非常勤嘱託 | 名取美穂 |
| 非常勤嘱託 | 野田恵 |
| 非常勤嘱託 | 黒羽るり子 |
| 非常勤嘱託 | 宮澤真央 |
| 非常勤嘱託 | 岡田昌也 |
| 非常勤嘱託 | 伊藤茜 |
| 非常勤嘱託 | 飯沼美奈子 |
| 非常勤嘱託 | 小幡理美 |
| 非常勤嘱託 | 小山泰子 |
| 非常勤嘱託 | 早川美保 |
| 非常勤嘱託 | 五味聖子 |
| 非常勤嘱託 | 古屋恵里佳 |
| 非常勤嘱託 | 数野勝彦 |
| 非常勤嘱託 | 長田征也 |
| 非常勤嘱託 | 片山敬子 |
| 非常勤嘱託 | 古屋みどり |
| 非常勤嘱託 | 吉澤むつみ |

学芸課

| | | |
|-----|-------|-----|
| 課長 | 中山誠二 | 考古学 |
| 学芸員 | 井澤英理子 | 美術 |
| 学芸員 | 西川広平 | 歴史 |
| 学芸員 | 植月学 | 古環境 |
| 学芸員 | 近藤暁子 | 美術 |
| 学芸員 | 海老沼真治 | 歴史 |

資料情報担当

| | | |
|-------|-------|------|
| 副主幹 | 外川豊子 | |
| 副主幹 | 平山優 | |
| 学芸員 | 沓名貴彦 | 保存科学 |
| 学芸員 | 小畑茂雄 | 歴史 |
| 非常勤嘱託 | 小澤史葉 | |
| 非常勤嘱託 | 宮澤富美恵 | |

企画交流課

| | | |
|----------|------|----------|
| 課長 | 中山誠二 | 考古学 |
| | | (学芸課長兼務) |
| 学芸員 | 高橋修 | 歴史 |
| 主査・教育主事 | 天野享 | |
| 副主査・教育主事 | 中込美香 | |
| 学芸員 | 網倉邦生 | 考古学 |
| 学芸員 | 丸尾依子 | 民俗 |
| 非常勤嘱託 | 村松 | |

2 平成22年度予算額


単位：千円

| 事業名 | 予算額 | 事業内容 |
|----------|---------|------------------------------|
| 博物館事業費 | 79,091 | 企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費 |
| 歴史資料等収集費 | 17,060 | 歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備 |
| 博物館運営費 | 217,863 | 施設管理、常設展示機器管理、非常勤職員人件費 |
| 合計 | 314,014 | |

※ 職員給与費を除く。

3 年間日誌

■主な出来事及び新聞記事から抄

| | | |
|-------------|--|---|
| 平成22年4月 | 県立博物館収蔵「市河家文書」県指定有形文化財に（平成22年4月9日付「毎日新聞」ほか） | |
| 同年6月4日（金） | 「県立博物館学芸員、静岡の史料館で確認 『菅助』子孫の文書に『勘助』出家後の名前 同一人物の可能性」（「山梨日日新聞」） | |
| 同年7月4日（日） | 体験イベント「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」を定期的に開始（平成22年7月20日付「山梨日日新聞」） | |
| 同年8月20日（金） | 「懐かしの昭和展」来場2万人を突破 |  |
| 同年9月18日（土） | 「国の重要文化財掛け軸 『法然上人絵伝』を公開」（平成22年9月8日付「日本経済新聞」） | |
| 同年9月10日（金） | 「博物館、美術館、フルーツ公園… 県施設を外部評価」（平成22年9月9日付「山梨日日新聞」） | 平成22年8月20日「懐かしの昭和展」来場2万人を記念して、県立博物館副館長 三枝仁也から記念品を渡される御家族連れの皆さん。 |
| 同年10月9日（土） | 「県立博物5周年 きょうから『甲斐源氏』展」（「産経新聞」ほか） | |
| 同年11月19日（金） | 「県立博物に韓国の研究者日韓資料を比較分析」（「山梨日日新聞」） | |

4 外国人の利用実績

| 来館年月日 | 来館者 | 人数 |
|----------------|---------------------------|----|
| 平成22年5月8日（土） | 日本航空高校海外留学生研修（モンゴル、タイ、中国） | 50 |
| 平成22年9月22日（水） | 石和高校姉妹校交流団（オーストラリア） | 12 |
| 平成22年9月24日（金） | JICAエジプト人研修生研修受け入れ | 5 |
| 平成22年10月25日（月） | 日川高校短期留学生研修（イギリス） | 16 |
| 平成22年11月1日（月） | 甲州市・アメリカ合衆国エイムズ市友好親善訪問団 | 26 |
| 平成23年3月14日（月） | 中国四川省友好訪問団 | 6 |

平成22年度 山梨県立博物館年報

発行日 2012(平成24)年3月5日
編集・発行 山梨県立博物館
〒406-0801
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055 (261) 2631
印刷 株式会社 少国民社
